

埼玉県臨床研修病院

ガイドブック2023



医療の場で働くことを目指す
あなたをサポートします



Welcome to SAITAMA



埼玉県の医師確保における現状

本県の75歳以上の高齢者人口は、急速に増加し、いわゆる団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年以降も増え続けると推計されています。

こうした急速な高齢化の進展により、医療や介護の需要は大幅に増大することが見込まれ、医師の確保は県の最重要課題の一つになっています。

高度医療を提供する、魅力ある医療機関

埼玉県内には、現在344の病院があります。(令和4年4月1日現在)

このガイドブックで紹介する臨床研修病院をはじめ、各地域ごとに、救命救急センター、周産期母子医療センター、地域医療支援病院、災害拠点病院など高度医療を提供する中核的な医療機関が整備されています。

「埼玉県総合医局機構」が医師をバックアップ

埼玉県では、埼玉県医師会、県内医療機関、大学などとともに「埼玉県総合医局機構」を創設し、医師の確保・派遣と、キャリアステージに応じた医師支援に取り組んでいます。

また、さいたま新都心にある「埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター」では、高機能のシミュレータ機器などを備えた高度な教育・研修環境を医療従事者の皆さまに提供するとともに、各種教育研修会を開催しています。

埼玉県の臨床研修は人気上昇中

「人口が多く経験できる症例数が豊富」「上級医の先生方の指導が手厚い」などの理由から、出身地を問わず「埼玉」はとても魅力的な県だということが全国に知られるようになっていきます。

令和4年度のマッチング結果は、医師臨床研修マッチング制度を開始した平成15年度からの増加数、伸び率ともに全国1位であり、埼玉県の臨床研修は人気上昇中です。多くの先輩が選んでいる埼玉県で、医師としての第一歩を踏み出してみませんか。

埼玉県臨床研修病院 ガイドブック 2023

■ 埼玉県総合医局機構～ KOBATON.med ～ P 01

■ 基幹型臨床研修病院（保健医療圏別）

| | | |
|-------------|-----------------------|------|
| 【南部保健医療圏】 | 1 川口市立医療センター | P 05 |
| | 2 済生会川口総合病院 | P 07 |
| | 3 埼玉協同病院 | P 09 |
| | 4 戸田中央総合病院 | P 11 |
| 【南西部保健医療圏】 | 5 TMG あさか医療センター | P 13 |
| | 6 国立病院機構 埼玉病院 | P 15 |
| | 7 新座志木中央総合病院 | P 17 |
| 【東部保健医療圏】 | 8 春日部市立医療センター | P 19 |
| | 9 秀和総合病院 | P 21 |
| | 10 春日部中央総合病院 | P 23 |
| | 11 越谷市立病院 | P 25 |
| | 12 獨協医科大学埼玉医療センター | P 27 |
| | 13 草加市立病院 | P 29 |
| | 14 みさと健和病院 | P 31 |
| | 15 三郷中央総合病院 | P 33 |
| 【さいたま保健医療圏】 | 16 埼玉メディカルセンター | P 35 |
| | 17 さいたま市立病院 | P 37 |
| | 18 さいたま赤十字病院 | P 39 |
| | 19 自治医科大学附属さいたま医療センター | P 41 |
| | 20 彩の国東大宮メディカルセンター | P 43 |
| | 21 さいたま市民医療センター | P 45 |
| 【県央保健医療圏】 | 22 上尾中央総合病院 | P 47 |
| | 23 北里大学メディカルセンター | P 49 |
| 【川越比企保健医療圏】 | 24 小川赤十字病院 | P 51 |
| | 25 関越病院 | P 53 |
| | 26 埼玉医科大学病院 | P 55 |
| | 27 埼玉医科大学総合医療センター | P 57 |
| 【西部保健医療圏】 | 28 国立病院機構 西埼玉中央病院 | P 59 |
| | 29 埼玉石心会病院 | P 61 |
| | 30 埼玉医科大学国際医療センター | P 63 |
| 【利根保健医療圏】 | 31 行田総合病院 | P 65 |
| | 32 羽生総合病院 | P 67 |
| | 33 済生会加須病院 | P 69 |
| | 34 新久喜総合病院 | P 71 |
| 【北部保健医療圏】 | 35 熊谷総合病院 | P 73 |
| | 36 深谷赤十字病院 | P 75 |

■ 防衛省訓令に基づく臨床研修病院

| | |
|-----------|-----------|
| 【西部保健医療圏】 | 防衛医科大学校病院 |
|-----------|-----------|

※このガイドブックは、主として医学生の方に埼玉県内の臨床研修病院（防衛医科大学校病院を除く。）を紹介するため、各病院から提供のあった情報を基に作成したものです。

※このガイドブックの「病院の概要」にある指導医とは、厚生労働省「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会を修了した者です。

※各病院ページの「卒後臨床研修評価機構認定病院」については、令和4年12月1日時点の認定状況を掲載しています。

埼玉県総合医局機構



平成 25 年 12 月に創設された埼玉県総合医局機構は、「医師の確保・派遣」と「医師の支援」を二本柱として、県医師会や県内の医療機関等と一体となって総合的な取組を行うことにより県内全域の医療水準の向上を目指しています。

「医師の確保・派遣」のための取組

「臨床・後期研修医研修資金」貸与事業

産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す研修医の皆さんを支援!



| | 臨床研修医研修資金 | 後期研修医研修資金 |
|--------|--|--|
| 対象者 | 埼玉県内の臨床研修病院の臨床研修医 | 埼玉県内の周産期母子医療センター又は救命救急センターにおいて、産科、小児科又は救急医療に係る後期研修を受講している後期研修医 |
| 貸与金額 | 月額 10 万円以内 | 月額 20 万円以内 |
| 貸与期間 | 2 年以内 | 3 年以内 |
| 返還免除条件 | 埼玉県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで貸与期間の 1.5 倍勤務すること | |

「交流会」「病院見学会」事業

県内医療機関の雰囲気などが味わえます!

県内医療関係者と交流する機会を提供するため、「埼玉県総合医局機構交流会」を開催しています。交流会には、県内医療機関で勤務する研修医などが参加し、県の医療現場の現状や県内で勤務する魅力などについて意見交換をしています。

また、医学生の皆さんに県内病院の魅力をより深く実感していただくための病院見学会を実施しています。



「医師の支援」のための取組

「女性医師の支援」事業 埼玉県の女性医師を応援!

埼玉県女性医師支援センターを運営し、女性医師等が産休や育休から復職する際の相談等に対応しています。また、短時間勤務等のために代替医師の雇用等を行った病院に経費を助成しています。

埼玉県女性医師支援センター

埼玉県さいたま市浦和区仲町 3-5-1 県民健康センター内
【相談窓口受付時間】 平日 9:00 ~ 17:00 【電話相談窓口受付時間】 平日 9:00 ~ 17:00
【TEL】 048-815-7115 【FAX】 048-815-7175 【電子メール】 info@saitama-joi.jp



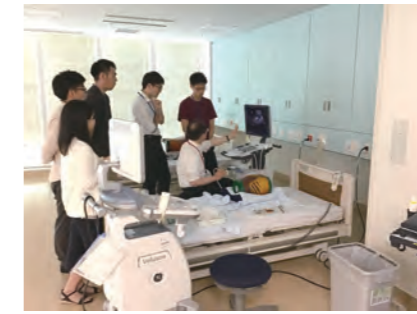
地域医療教育センター 県内の医師のスキルアップをサポートします!

さいたま新都心にある「地域医療教育センター」は、医療手技トレーニング用の機器を各種取り揃えたシミュレーションセンターです。埼玉県が事務局を担っており、県内医師のスキルアップを目的として、各種研修会を開催しています。研修会は、特定の病院や大学に偏らずに、県内勤務の臨床研修医ならどなたでも参加できます。

センターが開催する臨床研修医向け研修会

医療手技ハンズオンセミナー

超音波検査、CV穿刺、内視鏡、など様々な手技のハンズオンセミナーを定期的で開催しています。



日本救急医学会 ICLS

日本内科学会 JMECC

各学会認定ディレクターによるコースを定期的で開催しています。

また、受講者だけでなく、指導者側(アシスタント)も募集しますので、インストラクター資格を目指す方にもオススメです。



産科・小児科・救急科の魅力学ぶ研修

特に医師が不足している産科・小児科・救急科について、各分野の第一線で活躍している医師を講師に招き、各科の魅力を伝えていただきます。

また、シミュレータを利用して各科の患者対応の模擬体験を行います。



その他のセンター主催研修

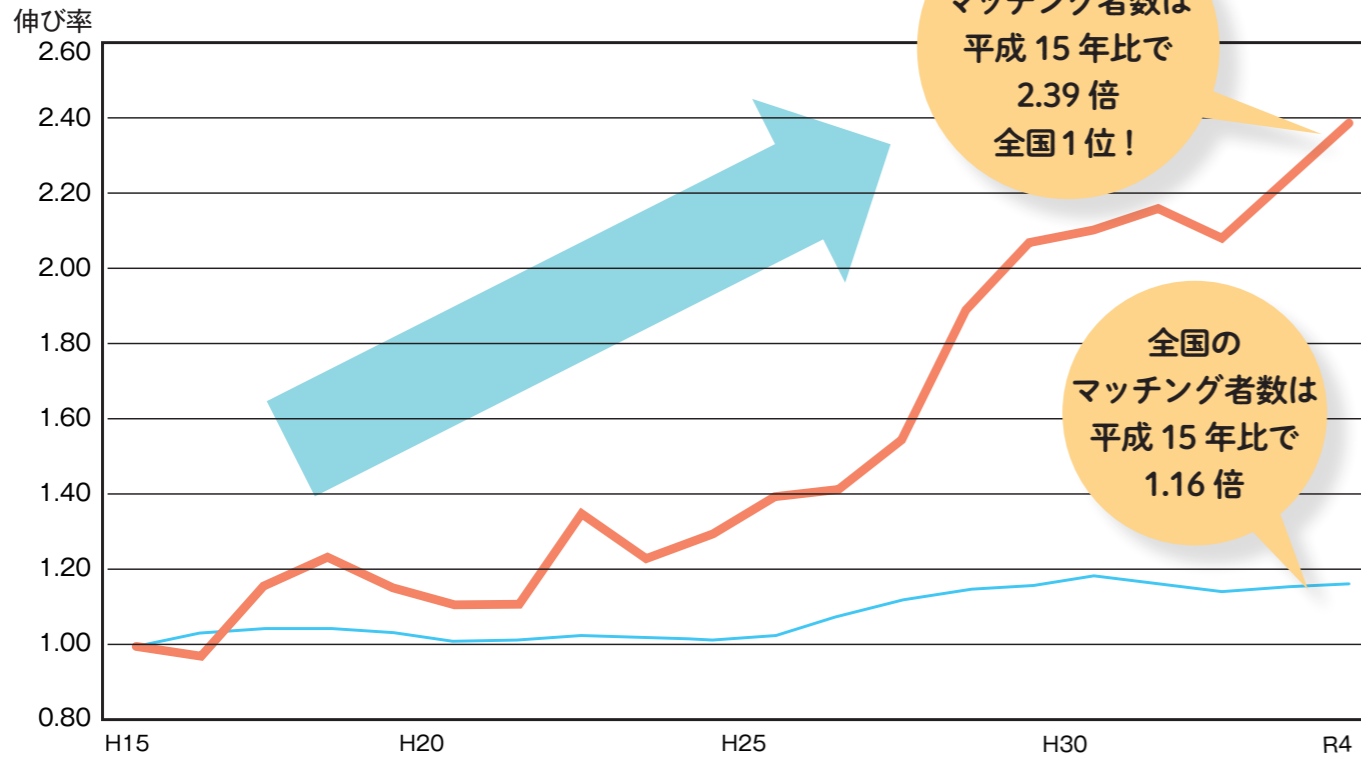
- ・1次救命処置研修 (BLS)
- ・小児2次救命処置研修 (PALS)
- ・小児救命処置研修 (PEARS)
- ・母体救命研修 (J-CIMELS)
- ・医療安全研修 (チームSTEPPS)
- ・新型コロナウイルス感染症関連研修
- ・在宅医療研修



埼玉県での臨床研修

医師臨床研修マッチング制度を開始した平成15年度から令和4年度までのマッチング者数の増加数、伸び率は、全国の都道府県の中で1位となっており、多くの研修医の皆さんが埼玉県内で活躍しています。

臨床研修マッチング者数の伸び率の推移



過去5年間のマッチング者数の推移

| 年度 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|---------|-------|------|------|------|------|
| マッチング者数 | 348人 | 357人 | 344人 | 370人 | 395人 |

研修医の皆さんを支援します!

埼玉県総合医局機構では、埼玉県で臨床研修を受ける医師の皆さんを支援する取組を行っています。県内の臨床研修病院に所属する研修医の皆さんを対象とした交流会や、各分野の第一線で活躍する医師による教育研修会の開催をはじめ、専門医へのキャリアアップの支援などの取組を通じ、研修医の皆さんをバックアップします。



【詳しくはこちら】 <http://kobaton-med.jp/>

【お問い合わせ先】 埼玉県総合医局機構 (埼玉県医療人材課内) TEL: 048-601-4600 E-mail: a3560-03@pref.saitama.lg.jp



令和5年度開始専門研修プログラム 県内基幹施設の指定状況

新たな専門医制度における各診療科の基幹施設の指定状況は表のとおりとなっています。

| 二次医療圏 | 基幹施設名 | 臨床研修病院 | 内科 | 小児科 | 皮膚科 | 精神科 | 外科 | 整形外科 | 産婦人科 | 眼科 | 耳鼻咽喉科 | 泌尿器科 | 脳神経外科 | 放射線科 | 麻酔科 | 病理 | 臨床検査 | 救急科 | 形成外科 | リハビリ | 総合診療科 |
|-------|--------------------|--------|----|-----|-----|-----|----|------|------|----|-------|------|-------|------|-----|----|------|-----|------|------|-------|
| 南部 | 川口市立医療センター | ● | ○ | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| | 済生会川口総合病院 | ● | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | | | | |
| | 埼玉協同病院 | ● | ○ | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | ○ |
| | 戸田中央総合病院 | ● | ○ | | | | | ○ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | |
| | 戸田病院 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 南西部 | TMG あさか医療センター | ● | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | |
| | 国立病院機構埼玉病院 | ● | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | ○ | | ○ | ○ |
| | イムス富士見総合病院 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東部 | 新座志木中央総合病院 | ● | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| | 春日部市立医療センター | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 獨協医科大学埼玉医療センター | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ |
| | 草加市立病院 | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | みさと健和病院 | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| さいたま | 南埼玉病院 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 埼玉メディカルセンター | ● | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | さいたま市立病院 | ● | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | |
| | さいたま赤十字病院 | ● | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | | | ○ | | | ○ | | | ○ |
| | 自治医科大学附属さいたま医療センター | ● | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ |
| | 彩の国東大宮メディカルセンター | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | さいたま市民医療センター | ● | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 浦和神経サナトリウム | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 県央 | 大宮厚生病院 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 埼玉県立小児医療センター | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 上尾中央総合病院 | ● | ○ | | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | ○ |
| | 北里大学メディカルセンター | ● | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | | | ○ | | | | | | |
| 川越比企 | 埼玉県立精神医療センター | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 済生会鴻巣病院 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 関越病院 | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 西部 | 埼玉医科大学病院 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 埼玉医科大学総合医療センター | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 利根 | 埼玉石心会病院 | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 埼玉医科大学国際医療センター | ● | ○ | | | | ○ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | | | |
| | 羽生総合病院 | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 済生会加須病院 | ● | ○ | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 北部 | 新久喜総合病院 | ● | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 久喜すずのき病院 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 深谷赤十字病院 | ● | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 秩父 | 熊谷生協病院 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | 秩父市立病院 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ○ |



01

川口市立医療センター



卒後臨床研修評価機構認定病院

研修プログラムの特色



- ・各科・各部門にわたる医師として必要基本的な姿勢・態度及び救急処置の初期治療等プライマリ・ケアを中心とした、医療知識・技能を習得するための内容で構成されています。
- ・地域医療は同じ埼玉秩父の国保町立小鹿野中央病院にて医療・保健・福祉が一体となった地域包括ケアの実践を学ぶことができます。
- ・精神科研修は同じ埼玉南部の北辰病院または戸田病院での研修となります。

川口市立医療センター卒後臨床研修プログラム（総合コース）（募集定員 12 名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 | 49～52週 |
|--------|------|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科 | | | | 救急 | | | | 外科 | | | | 小児科 |
| 2年目 | 産婦人科 | 精神科 | 地域医療 | 選択科目 | | | | | | | | | |

内科 28 週・救急部門 12 週・地域医療 4 週（小鹿野中央病院）・外科 8 週・産婦人科 4 週
小児科 4 週・精神科 4 週（北辰病院、戸田病院）・選択科目 40 週
（一般外来は内科 28 週のうち 4 週を総合内科として研修）

研修医の処遇

給与 1 年次約 37.2 万円、2 年次約 38.7 万円
諸手当 通勤手当、時間外手当、期末手当
保険 埼玉県市町村職員共済組合 厚生年金保険 雇用保険 労災保険適用
 医師賠償責任保険（病院において加入なし）
勤務時間 8 時 30 分～17 時 15 分
当直 あり（4 回/月）
休暇 2 日/週、有給休暇（20 日）、夏季休暇（7 日）
宿舎 あり（使用者負担 2 万円/月）
その他

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 【協力型臨床研修病院】
- ・医療法人秀峰会北辰病院
 - ・医療法人高仁会戸田病院
- 【研修協力施設】
- ・医療法人刀水会齋藤記念病院
 - ・医療法人時任会ときとうクリニック
 - ・国保町立小鹿野中央病院
 - ・安行診療所

医師数（研修医除く） 106 名（うち指導医数 54 名）

病床数 510 床

研修医数 1 年目 12 名 2 年目 11 名

昨年度マッチング受験者数 104 名

研修医の主な出身大学 日本大学、東京慈恵会医科大学、昭和大学、日本医科大学、筑波大学、福島県立医科大学、東京女子医科大学、群馬大学

診療科 内科、消化器内科、血液内科、脳神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、循環器科、小児科、精神科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科

1 日平均外来患者数 1,021.9 名

1 日平均入院患者数 354.7 名

主な認定施設 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院（基幹災害医療センター）、病院機能評価認定病院、エイズ診療協力医療機関、災害派遣医療チーム埼玉



プライマリ・ケアから高度専門医療まで！

当センターは昭和 22 年に開設され、平成 6 年 5 月に川口駅前から現在の場所に移転し、その名称も川口市市民病院から川口市立医療センターに変更されました。同時に救命救急、周産期および画像診断の各センターを設置し、専門医が中心となり各医療スタッフが一元になって高度医療の充実に寄与しています。診療科数 29 科 539 床を有し、平成 30 年 4 月から地域医療支援病院となるなど、地域の基幹病院としてプライマリ・ケアから高度専門医療まで広範な医療を展開しています。日本医療評価機構の認定施設であり、さらにエイズ診療協力医療機関及び基幹災害医療センターにも県より指定されています。



研修責任者から



プログラム責任者
院長
國本 聡

初期研修を受ける施設として「豊富な症例、安心して働き学べる環境、厳しい指導医」が条件でしょう。当院は 1 日の外来患者数約 1000 名、入院患者数は約 370 名であり、全くの初診の一次患者から、救命救急センターでの治療を必要とする三次の患者まで幅広い症例を扱っています。また、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院 災害拠点病院（基幹災害医療センター）も擁していることから、症例の豊富さは折り紙つきです。指導医は数が豊富なだけでなく極めて教育熱心であり、研修医のバックアップにも上級医が必ずついています。自主的かつ積極的に貪欲に学びたい若き国手にとっては、単なる臨床的な知識や技術の獲得のみならず、人間形成にも役立つ素晴らしい 2 年間で過ごせると確信しています。

先輩研修医から

研修医 2 年目 **大橋 孝広**

私はインターネットで全国の研修病院を調べていて、この病院を見たときに、先輩方のコメントで、手技もたくさん出来て、雰囲気も良く、福利厚生も良いと書かれていて興味を持ちました。実際一年半以上働いてみて、上記のことに加えて、分らないことを先輩に聞きやすい雰囲気や、選択期間が長く、自分の希望の科や興味ある科を回る時間がたくさんあることにとても満足しています。是非一度見学に来て興味を持っていただけたらと思います。



研修医 1 年目 **落水田 直樹**

私の初期研修中の目標は目の前の急患に対応する力を鍛えることで、当院を知り見学に来てみると研修医の先生方が生き生きと研修している姿をみて当院の雰囲気の良さを感じ、当院での研修を志望しました。当院での研修では手技を豊富に経験でき、common disease から 3 次救急まで幅広く学べ、かつ個人の時間も大切にできます。また、先生方や先輩方は熱心に指導してくださり、非常に恵まれた環境です。是非見学にお越しください。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学を随時受付しています。ホームページ応募フォームよりお申し込みください。

【必要項目】氏名・大学名・連絡先・見学希望日・見学希望診療科（1～2科）・当院での病院見学経験の有無

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 連絡先 | 川口市立医療センター 病院総務課職員係 |
| 住所 | 〒333-0833 川口市西新井宿 180 |
| T E L | 048-287-2525 (代表) |
| F A X | 048-280-1566 |
| E-mail | 170.01005@city.kawaguchi.saitama.jp |
| U R L | http://kawaguchi-mm.org/ |
| アクセス | 埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩 7 分 |



女性医師支援コーナー



- ・院内保育所の設置（時間外保育も対応）
- ・妊娠中、育児中の当直勤務免除あり





02 済生会川口総合病院



卒後臨床研修評価機構認定病院

研修プログラムの特色



当院は424床の総合病院で、救急車受入台数は約4,500台となっています。当直においては内科系・外科系・循環器内科・ICU・小児科・産婦人科の6科体制となっています。救急外来でのファーストタッチは研修医が行うので、様々な症例(特に脳神経領域)を経験する事が可能です。また、地域医療研修に関しては救急車同乗研修や岩手県にある済生会岩泉病院での研修もできます。選択科は36週設定されており、年度内での選択科変更も可能となっています。1学年12名という過不足ない人数且つ、指導医数50余名の中で時間に追われる事なく豊富な症例経験が可能です。

済生会川口総合病院臨床研修プログラム(募集定員12名)

| プログラム例 | 1~4週 | 5~8週 | 9~12週 | 13~16週 | 17~20週 | 21~24週 | 25~28週 | 29~32週 | 33~36週 | 37~40週 | 41~44週 | 45~48週 |
|--------|---------|--------|----------|---------|-------------------|--------|---------|--------|----------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科(24週) | | | | 外科(8週) | | 麻酔科(8週) | | 産婦人科(4週) | | 救急(4週) | |
| 2年目 | 小児科(8週) | 救急(4週) | 地域医療(4週) | 精神科(4週) | 選択科(36週)、一般外来(4週) | | | | | | | |

必修科目 64週：内科24週(消化器内科・循環器内科各8週のほか、腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科から8週選択)、救急8週(救急外来での8週の研修の他に、日当直業務および各診療科ローテーション時の救急当番での研修を加えて、合計12週の研修とします。)、地域医療4週、外科8週、小児科8週、産婦人科4週、精神科4週、一般外来4週

病院必修 麻酔科8週

選択科目 36週：上記「病院の概要」の診療科目のほか、保健・医療行政から選択。ただし、精神科を選択した場合は、協力病院である順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院若しくは埼玉県済生会鴻巣病院での研修となります。

研修医の処遇

給与 1年目:36万/月、2年目:40万/月(※医師手当含)

諸手当 (準)夜勤手当、住宅手当、通勤手当等

保険 組合健保(埼玉県医師会健康保険) 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険 医師賠償責任保険(病院において加入)

勤務時間 ・8:45~17:00(平日日勤) ・9:00~17:00(土日祝日直) ・14:45~23:00(準夜) ・16:45~翌8:45(夜勤)

※上述時間については原則であり状況等によって前後します。また、休日を含めた研修時間等は研修科によって異なり、状況等によっては休日研修も生じます。

当直 あり(4回程度/月)

休暇 2日/週、有給休暇(1年次:14日、2年次:15日)

宿舎 あり

その他 ・賞与1年目:10万円/年、2年目:20万円/年
・健康診断2回/年 ・ワクチン接種等

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・川口市消防局
- ・地域診療所
- ・訪問看護ステーションきゅうぼら
- ・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- ・埼玉県済生会鴻巣病院
- ・岩手県済生会岩泉病院
- ・川口市保健所
- ・済生会特別養護老人ホーム彩光苑

医師数(研修医除く) 127名(うち指導医数49名)

病床数 424床

研修医数 1年目12名 2年目12名

昨年度マッチング受験者数 43名

研修医の主な出身大学 愛知医科大学、秋田大学、旭川医科大学、岩手医科大学、岡山大学、鹿児島大学、金沢大学、北里大学、岐阜大学、杏林大学、群馬大学、高知大学、埼玉医科大学、佐賀大学、産業医科大学、滋賀医科大学、島根大学、順天堂大学、昭和大学、信州大学、聖マリアンナ医科大学、千葉大学、筑波大学、帝京大学、東海大学、東京医科大学、東京医科歯科大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、東邦大学、東北大学、獨協医科大学、鳥取大学、名古屋市立大学、名古屋大学、新潟大学、日本大学、日本医科大学、浜松医科大学、福井大学、福島県立医科大学、北海道大学、三重大学、宮崎大学、山形大学、山梨大学、琉球大学(五十音順)

診療科 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、腫瘍内科、放射線科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、血管外科、呼吸器外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科、小児科、精神科、リハビリテーション科、病理診断科、臨床検査科、心臓外科

※上記は標榜科であり研修科とは異なります。

1日平均外来患者数 1,149.3名

1日平均入院患者数 316.3名

主な認定施設 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、地域周産期母子医療センター、ISO9001:2015認定等



基本的診療能力と医師としてのプロ意識を培う

済生会川口総合病院は埼玉県南部にあり、東京からは荒川をはさんだ川口市に位置しており社会福祉法人恩賜財団済生会に所属する病院です。社会福祉法人恩賜財団済生会は、明治44年明治天皇により恵まれない人々に手をさしのべて救うようにとの「済生勅語(さいせいちよくご)」に基づき、生活困窮者支援の精神のもと創立されました。現在全国81病院をはじめ、診療所、福祉施設など約400の施設により構成されている日本最大の社会福祉法人で、日本の保健・医療・福祉において重要な役割を担っています。当院は現在424床の病床と専門学会から指導施設としての認定を受けている25の標榜診療科を有する総合病院で、職員数は常勤医師、看護師、派遣業務委託をあわせて約1400名を抱える病院です。手術室は7室、ICU14床、NICU6床、GCU6床に加え放射線部門ではPET・CT・MRI・DSA・RI・IMRT、診療部門ではda Vinci(ダビンチ)・IMRTなどの最新の医療機器を導入し、救急車搬送数は年に5000台、手術は年に4800件をおこない、臨床研修病院・救急指定医療機関・災害拠点病院・地域がん診療連携拠点病院・地域周産期母子医療センター・地域医療支援病院などの認定を受ける、まさに人口60万の川口市、隣接する戸田・蕨を含めて80万人の地域の医療を担う急性期型の中核病院です。

<LINE公式アカウントを開きました>

当院の診療情報やイベント開催等を定期的に発信しておりますので、友だち登録の上ご利用下さい。



研修責任者から



プログラム責任者
救急・総合内科主任部長
笠井 英裕

当院は、荒川をはさんで東京都と接する埼玉県川口市に位置する病院です。そして、地域中核型の急性期病院としての使命を果たしています。医療の質向上への終わりなき挑戦を日々続け、次世代に継承しうる病院創りを確実に進めています。本館の改築とICU14床の開設により、救急と周産期部門が充実しました。また、東館のオープンにより、健診、透析、リハビリ部門が拡充されました。常勤医127名中49名が厚生労働省の指針による講習会を受講した指導医で、十分な指導体制が確保され医療人育成強化を推進しています。当院での患者中心の医療を経験することにより、優れた技術、メディカルスタッフとのチーム医療、患者との信頼関係、プロ意識等を体験し、臨床研修の2年間で、プライマリ・ケアを中心とした医師として最低必要な態度、知識、技術を体得できるよう研鑽を積んでください。研修医個々人の立てた目標に向けた取り組みを継続的に支援し、できる限りの協力をおしませぬ。

先輩研修医から

臨床研修医 修了研修医

- ・研修医は都内、地方出身者と色々
- ・小児科はNICU有(小児・産婦志望ならお薦め)
- ・自身が望めば色々やらせてもらえる
- ・手技が取り合いにならない
- ・指導医が充実
- ・先輩研修医が優しい
- ・食堂が安くてヘルシー(雑穀米)

臨床研修医 修了研修医

私は関東の市中病院で研修病院を探していました。当院の、①経験できる症例数や手技が豊富である事②上級医の先生からのご指導が手厚い事③雰囲気がよく活気がある事に惹かれたため研修先として選びました。どの科の先生方もとても優しく、研修医に対して熱心に指導して下さいます。また、自分が希望すれば多くの手技も経験させてもらえます。内科を中心に自分でローテーションを調整できる点もよかったです。そして日々助け合える同期が12人いるので、とても心強いです。

女性医師支援コーナー



- ・産前産後休暇
- ・育児休業
- ・母性の保護のための業務従事制限

(妊娠中または出産後1年を経過しない女子職員が深夜に労働しない事等を希望する時は、時間外・休日・当直帯での勤務等について制限する事が可能です)

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付(申し込みは当院HPより)

| | |
|--------|-----------------------------|
| 連絡先 | 済生会川口総合病院 臨床研修室 |
| 住所 | 〒332-8558 埼玉県川口市西川口5-11-5 |
| T E L | 048-253-1551(代表) |
| F A X | 048-256-5703 |
| E-mail | kensyu@saiseikai.gr.jp |
| U R L | https://www.saiseikai.gr.jp |
| アクセス | JR京浜東北線西川口駅から徒歩10分 |





03

医療生協さいたま生活協同組合

埼玉協同病院



卒後臨床研修評価機構認定病院

研修プログラムの特色



当院の研修の特徴は2年間でその後の医師人生の土台となる一般診療能力を身につけられることです。内科を中心として救急、小児科、麻酔科、外科、産婦人科、精神科、地域医療、選択科をローテーション研修します。ローテート内容は自由度があり、3年目の専攻を見据えて選択科やローテート順などの希望に柔軟に対応します。研修を開始した最初の16週間は内科病棟で一貫した指導を受け入院してから退院するまでの基本的な診療を主体的に行うことで覚えます。2年間の研修でどの科を回っていても看護師、医療相談員、薬剤師、セラピストなどのメディカルスタッフとともにカンファレンスを行うことで患者さんに寄り添ったチーム医療を行う姿勢を身につけます。一般診療能力に必要な初期診療対応はどの科をローテート中でも救急当直に入ることによって学ぶことができます。地域医療研修は同法人の中小規模病院または診療所で行いますので、一貫した研修として地域包括ケアを学び実践できます。

埼玉協同病院初期総合臨床研修プログラム（募集定員8名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 |
|--------|------|------|-------|--------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科 | | 内科 | | 救急（麻酔科4週含む） | | | 外科 | | 産婦人科 | | |
| 2年目 | 内科 | | 地域医療 | | 小児科 | | 精神科 | | 選択 | | | |

必修科目 内科（32週）、救急（救急12週：麻酔科での4週間の研修を加えて合計12週の研修とします）、地域医療（8週）、外科（8週）、小児科（8週）、産婦人科（4週）、精神科（4週）、一般外来（4週・並行研修）

選択科目（20週）内科、救急科、地域医療、外科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、皮膚科、麻酔科

研修医の処遇

給与 1年次：約35万円/月、2年次：約39万円/月、年2回賞与あり
手当 住宅手当、家族手当、当直・日直手当、年末年始勤務手当 等
保険 協会けんぽ 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険 厚生年金基金等企業年金あり 医師賠償責任保険 病院において加入
勤務時間 平日8時30分～17時00分 土曜日8時30分～13時00分
当直 あり（3～4回/月）
休暇 有給休暇（1年次10日、2年次12日）、リフレッシュ休暇（4日）等
宿舎 なし（住宅手当【家賃の半額、上限5万円】）
その他 常勤採用、学会・研修会参加補助、院内保育所（病児保育）あり、健康診断2回/年、ワクチン接種

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 臨床研修協力病院**
 ・北辰病院 ・みさと協立病院
- 研修協力施設**
 ・熊谷生協病院 ・埼玉西協同病院
 ・秩父生協病院 ・浦和民主診療所
 ・大井協同診療所 ・川口診療所
 ・さいわい診療所

医師数（研修医除く） 58名（うち指導医数45名）

病床数 399床

研修医数 1年目8名 2年目8名

昨年度マッチング受験者数 48名

研修医の主な出身大学 愛媛大学、金沢医科大学、群馬大学、産業医科大学、筑波大学、東京女子医科大学、東北大学、獨協医科大学、長崎大学、福岡大学、杏林大学（五十音順）

診療科 内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、緩和ケア内科、神経内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、リウマチ科、臨床検査科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、救急科、泌尿器科（人工透析）、緩和ケア外科

1日平均外来患者数 669名

1日平均入院患者数 260名

主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本内科学会認定制度教育関連病院、日本消化器病学会認定施設、日本緩和医療学会認定研修施設



当院の魅力

Kyoudo PRIDE

当院は1978年の開院以来、地域医療を支える医師を育成してきました。内科病棟で受け持つ症例はバラエティに富んでおり、特に高齢の方は複数の慢性疾患を抱えながら急性期疾患で入院するケースが多いので急性期疾患にだけ着目するのではなく総合的に診療することが必要になります。当院は総合医局になっているので診療の相談をどの科の医師にも相談しやすく、指導体制としても屋根瓦方式をとっており、3～6年目の医師が研修医の相談にも乗ってくれます。手技は始め指導医の下で行い、指導医が認めれば自主的に行えるので十分な経験を積むことができます。医療知識や技術を磨くために病気を診るだけでなく、その病気を抱えた患者さんを生活背景（経済状況・住居・家族関係等）や労働環境（労働による疾病への影響）からも理解し診療を行うことで医師として患者さんに寄り添う姿勢を学んでいきます。

当院の研修を通して知識・技術・姿勢といった医師としての重要な土台を築くことで、その後どのような場所で働くことになっても埼玉協同病院で研修を行ったというKyoudo PRIDEをもって働き続けることのできる医師を養成します。



研修責任者から



研修管理委員長
 病院長
増田 剛

医師人生にとって初めの2年間をどのように過ごすかはとても大切です。知識や技能の習得は勿論ですが、医師として相応しい基本的な態度や姿勢を学び身に付けることが重要だと私たちは考えています。単に病気を診るのではなく人間を診るということ、社会的背景にしっかり対応すること、常に学習を怠らず謙虚に学び続けることなど、医師人生の土台をこの2年間で創っていただきます。当院は1978年の開院以来、「地域で役に立つ医師は地域でこそ育つ」その考えを実践し、全職種と地域住民の協力で地域で役に立つ臨床医を育ててまいりました。熱いハートを持った指導医集団と良きパートナーを育てることに心血を注げるメディカルスタッフ、そしてその活動を地域から支える住民組織が皆さんのお越しを心待ちにしております。

先輩研修医から

研修医2年目 **天笠 諒**

当院は患者や地域のニーズから出発することを大切にしていると肌で感じます。そしてチームとしてみんなで解決策を模索しており、その中で医師として何ができるのか、何をすべきなのかを考えさせられる日々を送っています。医学的な学びは勿論、患者の人権や地域のニーズ、そこから見えてくる社会の問題まで視野を拡げることなど1人の医師として多くのことを求められますが、優しく親切で熱意を持ったスタッフが多く、楽しくやりがいを持って働けると感じます。ぜひ一緒に困難を解決しましょう！



研修医1年目 **新井 朋代**

当院の初期研修は、総合内科病棟から始まります。何もわからない状態からのスタートですが、指導医の先生を始め、スタッフの皆様が優しく熱心に指導して下さい、安心して研修が行えます。研修医として医学的な管理を学ぶことはもちろんですが、患者様はそれぞれ多様な背景を抱えられています。お一人お一人の問題を解決するために、医師として何ができるか考えさせられる毎日です。患者様の抱える問題の解決策を模索する、多職種によるチーム医療に自身も参加することで、より広い視野での診療が行えるようになれるのではないかと思います。



女性医師支援コーナー



当院では『誰もが安心して働ける職場』を目指して様々なライフイベントに合わせた働き方を応援しています。出産・育児へのサポートとして院内保育所を併設しており、病児保育にも対応しています。保育所を利用しつつ、短時間勤務制度や当直免除制度を使い育児と仕事を両立させながら自分のライフプラン・キャリアプランを考えることができます。当院常勤医師の約30%は女性医師で出産・育児をしながら活躍しています。（写真は院内保育所）



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学はホームページの見学申し込みフォームより見学希望日の1週間前までにお申し込みください。
- ・大学授業などの関係上見学ができない場合はオンラインでの研修説明も可能です。

| | |
|--------|--------------------------|
| 連絡先 | 埼玉協同病院 教育研修センター 千葉翔太 |
| 住所 | 〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂1317 |
| T E L | 048-296-5822（直通） |
| F A X | 048-296-8247 |
| E-mail | skymet@mcp-saitama.or.jp |
| U R L | https://www.skymet.jp |
| アクセス | JR武蔵野線東浦和駅から徒歩15分 |





04

医療法人社団東光会 戸田中央総合病院

戸田中央メディカルケアグループ (TMG)



卒後臨床研修評価機構認定病院

研修プログラムの 特色



病院理念と特徴に沿った指導体制を基本に、厚生労働省が指定する必修科目（内科系6ヶ月・救急3ヶ月・外科、小児、産科、精神、地域各1ヶ月）に加え、外科系2ヶ月・麻酔1ヶ月を必修とすることにより研修の到達目標の達成を図り、専門研修への移行が円滑に進む様なプログラムとなっています。

また、募集する研修医数を8名とすることで、指導医と研修医が直接的な臨床現場での教育を行っています。

更に、2020年4月にE館が稼働し、より充実した研修が可能となりました。

戸田中央総合病院初期臨床研修プログラム（募集定員8名）

| プログラム例 | 1～4週 | | 5～8週 | | 9～12週 | | 13～16週 | | 17～20週 | | 21～24週 | | 25～28週 | | 29～32週 | | 33～36週 | | 37～40週 | | 41～44週 | | 45～48週 | |
|--------|------|-----|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------|--------------|--------|---------------|--------|--------------|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|
| | 1年目 | 2年目 | 産婦人科 (1ヶ月) | 精神科 (1ヶ月) | 小児科 (1ヶ月) | 麻酔科 (1ヶ月) | 地域医療 (1ヶ月) | 内科系 (6ヶ月) | | 外科系 (3ヶ月) | | 自由選択 (7ヶ月) | | 救急科 (3ヶ月) | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※当院は月単位での研修となります。

内科6ヶ月（一般、消化器、循環器、脳神経、腎臓+消化器 or 循環器）

外科3ヶ月（外科2ヶ月+外科 or 整形外科）

救急科3ヶ月 小児・麻酔・産科・精神・地域各1ヶ月 自由選択7ヶ月

一般内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、救急科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、緩和医療科、小児科、眼科、心臓血管外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、麻酔科、呼吸器外科、婦人科、病理診断科、産婦人科（外部研修）、精神科（外部研修）、地域医療（外部研修）

研修医の 処遇

給与 1年次 36万円/月・2年次 40万円/月
諸手当 時間外・当直手当等※その他当院規程による
保険 組合健保（TMG健康保険組合）厚生年金保険
雇用保険あり 労災保険 厚生年金基金等企業年金あり
医師賠償責任保険（個人加入）

勤務時間 9時～17時30分

当直 あり、義務当直（2回/月）・手挙当直（救急車初療・救急外来・CCU等）

休暇 4週8休相当・年次有給休暇・特別有給休暇等）

宿舎 あり

その他

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・戸田中央産院（戸田市）
- ・佐々総合病院（西東京市）
※産婦人科領域
- ・戸田病院（戸田市）
※精神科領域
- ・永尾醫院（戸田市）
- ・辻川ホームクリニック（蕨市）
- ・熱海所記念病院（熱海市）
※地域医療領域

医師数（研修医除く） 116名（うち指導医数33名）

病床数 517床

研修医数 1年目8名 2年目8名

昨年度マッチング受験者数 33名

研修医の主な出身大学 東京医科大学、東京女子医科大学、埼玉医科大学、獨協医科大学、日本医科大学、昭和大学、帝京大学、東京大学、弘前大学、東邦大学 等

診療科 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、移植外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科、救急科、放射線科、緩和ケア内科、精神科、病理診断科、リハビリテーション科、婦人科

1日平均外来患者数 1,184.0名

1日平均入院患者数 455名

主な認定施設 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、日本医療機能評価機構病院機能評価認定病院、搬送困難事案受入医療機関災害、派遣医療チーム埼玉DMAT指定病院 等



当院の魅力

戸田中央総合病院の初期研修とは・・・

救急ベッド、ICU、CCUを有し24時間体制で救急疾患に対応するだけでなく、地域がん診療連携拠点病院として、がん診療にも積極的に取り組んでおり、緩和ケア病棟も有しています。救急件数も約19.2件/日、約576件/月で大変忙しい病院ですが、Common Diseaseも非常に多く、初期研修には大変適した病院です。また、当院では研修医も「一人の医師」として接します。その為、「研修医だから・・・」という制限を設けず、やる気と知識さえあれば、責任者許可の元、治療計画や手術、検査なども実践できます。更に、腎移植をはじめ県内初のダ・ヴィンチ導入など最先端医療を積極的に取り入れているところも魅力のひとつです。

その他、月1回開催する「研修医近況報告会」ではその月に開催された臨床研修委員会での各研修医評価のフィードバック、研修医からの意見の収集とその結果報告や研修医が希望した内容の勉強会等を行い研修医との意見交換の場、勉強の場を設けています。

当院は1学年8名で全国より研修医が集まってくるが、初日から友人だったかのように打解け、指導医や上級医も研修医に気さくに接し、とてもフレンドリーな職場となっています。



研修責任者 から



プログラム責任者
副院長
田中 彰彦

鉄は熱いうちに打てといます。初期臨床研修に臨む医師は、多くの希望と不安を抱きながら社会人としての一歩を踏み出されることでしょう。

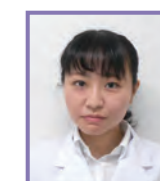
私たち臨床研修病院の使命は、そうした皆さんの情熱を絶やすことなくきちんとした教育を行い、専門研修への礎を築くことにあります。そのために私たちは研修医と向き合うことを大切に、また卒後臨床研修評価機構の審査を受けるなど、自身が教育するための“質の向上”を絶えず模索しております。皆さんも先輩研修医や指導医とともに切磋琢磨できる環境を一緒に構築できる臨床研修病院をつくって行きましょう。

また、2020年度、2021年度は特別な年となりました。それは期待に胸を膨らませて入職してくれた研修医たちには更に特別なものだったかもしれません。例年とは違い、特殊な環境下での研修には、指導者としても「これで良いのか、これで十分指導できているのか」と、忸怩たる思いがありました。しかし、100年に1度と言われるコロナ禍での研修で、医療がいかに大切な社会インフラであるかを実感できたことと思います。

先輩研修医 から

研修医2年目 大瀧 美歩乃

地域密着型病院であるためCommon Diseaseを多く見ることができると考え、当院を選びました。症例数も多く、診療科も揃っていることから多彩な疾患を経験することができます。更にプライマリーケアはもちろん、診療においては治療方針を主体的に考えられるため、やりがいもあると思います。また、熱心に指導して下さる先生がとても多く、重要な場面では必ず指導医のサポートやアドバイスが入る恵まれた環境です。



研修医2年目 中村 環

当院は新宿まで約20分という好立地で、且つ手技が多くできるところが魅力です。更に内科系、外科系だけでなく救急やマイナー科まで強い市中病院というのも強みだと思います。志望科に合わせてローテーションも自由に組むことができ、専門研修に向けて恥ずかしくない力も付きます。また、看護師をはじめ他の院内職員の方々にも気軽にアドバイスをいただける雰囲気のため、チーム医療が行いやすいのも良い所だと思います。



女性医師 支援コーナー



戸田中央総合病院では働く女性の為に国内最大規模の200名受入れ可能な保育室を2015年8月にリニューアルオープンしました。更に、院内には病児保育施設もあり安心して働くことができる環境作りをしています。

また、院内では常勤医の約27%にあたる36名の女性医師が働いており、1名の医師が育休を取得中です。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

☆病院見学随時募集中☆

戸田中央総合病院では、病院見学を随時募集しています。ご希望の方は氏名・大学名（学年）・見学希望日（第三希望まで）・見学希望科（第三希望まで）等を左記メールアドレスまでお送りください。

※詳細は当院ホームページをご参照ください。

| | |
|--------|-------------------------------|
| 連絡先 | 戸田中央総合病院 臨床研修事務局 |
| 住所 | 〒335-0023 埼玉県戸田市本町1-19-3 |
| TEL | 048-442-1111 (代表) |
| FAX | 048-433-4076 |
| E-mail | toda-rinsyou-kensyu@tmg.or.jp |
| URL | https://www.chuobyoin.or.jp/ |
| アクセス | JR埼京線戸田公園駅から徒歩5分 |





05

医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター 戸田中央メディカルケアグループ (TMG)

医師数 (研修医除く) 88名 (うち指導医数 22名)
 病床数 446床
 研修医数 1年目 5名 2年目 5名
 昨年度マッチング受験者数 20名
 研修医の主な出身大学 三重大学、杏林大学、埼玉医科大学、島根大学、中国上海同済大学、宮崎大学、山形大学、東京女子医科大学、帝京大学、浜松医科大学、東北大学、旭川医科大学、近畿大学、藤田保健衛生大学、岩手医科大学、産業医科大学、獨協医科大学、弘前大学、香川大学、東京医科大学、名古屋市立大学、高知大学、京都府立大学、北里大学

診療科 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、心療内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、小児外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、精神科、神経内科、救急科、緩和ケア内科、歯科口腔外科、血液内科、糖尿病内科、乳腺外科

1日平均外来患者数 816名
 1日平均入院患者数 394名
 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会教育関連施設、日本脳神経外科学会指定訓練施設、日本救急医学会専門医指定施設、日本整形外科学会認定施設、日本外科学会専門医制度修練施設 他

研修プログラムの特色



初期研修プログラムでは、総合診療・救急医療・地域医療を基本とし、総合的臨床能力を有する医師の育成を目的としています。内科・救急部門・地域医療・外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科を必修としています。研修医の募集定員を5名と少人数制にすることで、指導医とマンツーマンでの研修を実現しています。初期救急医療からプライマリーケアを主とした研修をベースに問診・初期治療の実際から適切な判断能力を身につけられます。当院は第二次救急医療機関として地域医療の一端を担っていますので、全科の研修時に第二次救急医療を研修できるのが特徴です。臨床研修医の皆さんが経験を積むには最良の環境だと思います。また、最新鋭の設備で臨床研修という大事な時期をともに学び喜びを共有しましょう。

基本コース (募集定員 5名)

| プログラム例 | 1~4週 | 5~8週 | 9~12週 | 13~16週 | 17~20週 | 21~24週 | 25~28週 | 29~32週 | 33~36週 | 37~40週 | 41~44週 | 45~48週 |
|--------|-----------|----------|----------|----------|-----------|------------|---------------------|--------|-------------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科 (28週) | | | | | | 外科 (8週) + 整形外科 (4週) | | 救急科 (麻酔科含む) | | | |
| 2年目 | 産婦人科 (4週) | 精神科 (4週) | 小児科 (4週) | 麻酔科 (4週) | 地域医療 (4週) | 自由選択 (28週) | | | | | | |

- 内科系 (一般・消化器・糖尿病・脳神経・腎臓+消化器・循環器) 28週
- 外科系 12週
- 救急科 12週 ※麻酔科を4週含んで可 (※但し、4週を上限とする)
- 産婦人科・精神科・小児科・麻酔科・地域医療 4週以上
- 自由選択科目 選択科目から選択 ※期間割りに沿って研修医を配置する。但し人数により変更することがある。

研修医の処遇

- 給与 1年目: 36万円/月 (基本給・調査手当・固定残業等含む)
2年次: 40万円/月 (基本給・調査手当・固定残業等含む)
- 諸手当 通勤手当・時間外手当
- 保険 T M G健康組合保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
- 勤務時間 9時00分~17時30分 (月~金曜日)
- 当直 あり/手当: 1万円
- 休暇 土・日曜日・祝日休暇
年末年始休暇・介護・育児休暇
- 宿舍 あり (単身用) 住宅補助: 5万円・引越代補助: 20万円
- その他 診療見舞金制度 (グループ病院受診時、月3000円以上超えた分の治療費支給)
・スポーツクラブ、ヘアサロン等の福利厚生制度
・学会参加費 年1回のみ病院負担 (交通・宿泊)

主な臨床研修協力病院・協力施設

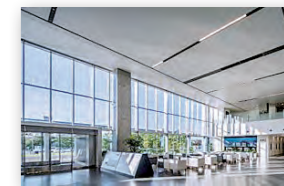
- 戸田中央医科グループ
 - 戸田中央総合病院 (小児科)
 - 戸田中央産院 (産婦人科)
 - 佐々総合病院 (産婦人科)
 - TMGサテライトクリニック朝霞台 (地域医療)
 - 熱海所記念病院 (地域医療)
- 協力病院
 - 菅野病院 (精神科)
 - 大泉病院 (精神科)

POINT! 当院の魅力

TMG あさか医療センターの特徴

昨年度は年間5,465件の救急車を受け入れており、手術件数は年間5,419件です。地域医療に力を注いでおり埼玉県南西部地域において、非常にアクティブに活動している病院です。特に、内科・外科・整形外科・脳神経外科の4科は県内トップレベルの診療実績があります。院内の行事も数多くあり、院内旅行・運動会といった場では、医師・看護師・医療技術部・事務の結びつきが強く、カンファレンスも活発です。

TMGあさか医療センターでは救急・専門医療の拡充として、ICU・CCU 10床・SCUの稼働、てんかんセンターでは患者様を24時間モニタリング検査ができ、外科的治療も可能です。手術室も4室から8室に拡大し、多職種で協力して生命の危機がある患者様を24時間体制で対応致します。また、脊椎内視鏡手術センター・最新鋭のアンギオ装置を2台設置、20床個室の緩和ケア病棟・小児病棟といった各部門の強化を図り、幅広い医療を学ぶことが出来ます。また、今年度より低侵襲手術支援ロボット『ダヴィンチ』を導入するなど、最新の医療機器を揃えています。さらに新病院では地震の被害を低減する「免震構造」を採用し、被害の影響を受けにくい構造となっています。ホスピタルコリドール内には医療ガス設備を設置し、災害時でも医療を継続することが可能です。最新鋭の設備の中で充実した研修生活を共に過ごしてみませんか。



先輩研修医から



研修医 1年目
酒井 美佳

私がTMGあさか医療センターを初期臨床研修病院に選んだ理由は、地域密着型の病院でありCommon Diseaseを多く経験することが出来たと思ったからです。

当院は1年目から手技を経験する機会が多く、指導医の先生方は教育熱心なので知識も十分に学べる環境が整っています。また、各科の先生方や他職種の方々との垣根が低く、気軽に相談することができるのでとても働きやすいです。ONとOFFがはっきりしているためメリハリがつけられた研修生活を送れるのもいい点です。

ぜひ一度、当院に見学いらしてください。お待ちしております。



研修医 1年目
山上 優紀

当院を研修先として決めた最大の理由は雰囲気の良いことです。手術件数や救急車搬送件数など数字で出る指標も研修病院を決める上では大切だと思いますが、私は2年間を過ごす病院の雰囲気が自分に合うのかどうかを最重要視しました。私自身まだまだ実際の臨床の現場で戸惑う事も多々あり、気軽に質問や助けを借りることができる当院の雰囲気のおかげで少しずつ成長を実感する日々を過ごしています。先輩達の指導も優しく、医師として基本的な手技や考え方を身につける場として当院を選んで改めて良かったと実感しています。医療従事者や事務等が作り出す病院の雰囲気は見学して初めて分かる事です。これから研修先を探す学生の方には出来るだけ多くの病院に見学に行ってください。その中で自分に合う病院を見つけることが充実した研修生活を始める第一歩になります。

女性医師支援コーナー



当院では27名の女性医師が活躍しており、女性医師の比率が30%となっています。当直業務は希望制となっています。

当直業務を行う際は、内科・外科・整形外科・脳神経外科の先生について研修が可能です。24時間利用可能な保育室も完備していますので長期にわたって勤務することが可能となっています。後期研修医になれば子育て支援の観点から、時短勤務が可能です。

現在、初期臨床研修医で女性の医師が10名中2名在籍しております。

TMGあさか医療センターは、女性の初期臨床研修医を大歓迎します。是非、病院見学に来て下さい!!

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学 (随時実施中)
 見学希望の方は、メールまたは電話で受けつけております。(当院、HPに詳細掲載!!)
 ※希望者は氏名・大学名 (学年)・見学科目・希望日を左記メールアドレスまでお送り下さい。

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 連絡先 | 医療法人社団武蔵野会 TMGあさか医療センター 総務課 |
| 住所 | 〒351-0023 埼玉県朝霞市溝沼1340-1 |
| T E L | 048-466-2055 (代表) |
| F A X | 048-466-2059 |
| E-mail | asaka_info@tmg.or.jp |
| U R L | http://www.asakadai-hp.jp |
| アクセス | 武蔵野線 北朝霞駅から徒歩10分 東武東上線朝霞台駅から徒歩10分 |





06

独立行政法人国立病院機構 埼玉病院



卒後臨床研修評価機構認定病院

研修プログラムの 特色

基本コース：基本コースでは内科、外科、小児科、産婦人科、救急科、精神科、地域、麻酔科が必修です。救急外来では、年間5,000件を超える救急車の受け入れがあり、そのファーストタッチは研修医が担当します。将来どの診療科に進んでも怖くない救急の知識と度胸が身につきます。また、年間通して抄読会や症例検討会が行われ、国立病院学会、埼玉県医学会その他の学会発表を通して、学会発表の指導も受けられます。

小児科コース・産婦人科コース：小児科または産婦人科希望者を対象としています。4月から主科で研修を開始することで、その後、将来をイメージしながら他科での研修ができるようになっていきます。2年目には大学病院などの専門病院やクリニックで研修し、視野を広げられるようにしています。すでに小児科や産婦人科と決めている方にはお勧めです。

外科コース：将来外科を専門として志望している方を対象とします。他のコースと同様に研修医に必要なプライマリーケアを身につけるのはもちろん、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科の各分野を必修でローテートし、外科の基本手技、知識を習得します。スムーズに外科専門研修に移行でき、専門医取得に大変有利なプログラムです。

基本コース（募集定員 12 名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 | 49～52週 |
|--------|----------|---------|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|---------|--------|
| 1年目 | 内科系（32週） | | | | | | | | 麻酔科（6週） | 外科（4週） | 救急科（6週） | 小児科（4週） | |
| 2年目 | 産婦人科（4週） | 精神科（4週） | 地域（4週） | 選択科目（40週） | | | | | | | | | |

○小児科コース：募集定員2名 ○産婦人科コース：募集定員2名 ○外科コース：募集定員2名

研修医の 処遇

給与 1年次 年間見込 490～579万円（宿日直・諸手当含）
2年次 年間見込 530～654万円（宿日直・諸手当含）
諸手当 通勤手当
保険 第二共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
厚生年金基金等企業年金なし
医師賠償責任保険（病院において加入なし）
勤務時間 8時30分～17時15分
当直 あり（4～5回/月）
休暇 有給休暇/年23日（リフレッシュ休暇3日含）
宿舎 あり（希望者多数の場合は入居できないことがあります）
その他 健康診断年2回、インフルエンザ予防接種無料
身分：初期臨床研修医（期間職員）

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・慶應義塾大学病院
- ・日本大学板橋病院
- ・大泉病院
- ・勝海外科
- ・天野医院
- ・菅野病院
- ・秩父市立病院
- ・大塚産婦人科小児科医院
- ・和光病院
- ・朝霞中央クリニック、他

医師数（研修医除く） 175名（うち指導医数40名）

病床数 550床

研修医数 1年目18名 2年目18名

昨年度マッチング受験者数 104名

研修医の主な出身大学 慶應義塾大学、日本大学、帝京大学、東京大学、北海道大学、札幌医科大学、東京医科大学、北里大学、順天堂大学、東京女子医科大学、杏林大学、東北大学、新潟大学、昭和大学、埼玉医科大学、旭川医科大学、群馬大学、山梨大学、京都大学、東北医科薬科大学、岩手医科大学、その他

診療科 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、内視鏡内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、内視鏡外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、緩和ケア内科、病理診断科、救急科、総合診療科、歯科口腔外科、血液・膠原病内科

1日平均外来患者数 1222.5名

1日平均入院患者数 419.2名

主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本循環器学会教育認定施設、日本乳癌学会認定施設、日本老年医学会認定施設、日本緩和医療学会認定研修施設



POINT! 当院の魅力

地域に根ざした中核病院で 一緒に忙しく働きましょう！

埼玉病院は、地域医療支援病院、地域癌診療連携拠点病院、循環器病機関医療施設、肝疾患診療地区拠点病院、地域周産期母子医療センターで、地域の中核病院として機能しています。

2018年には200床の新館が完成し550床の病院となりました。また、2021年に救命救急センターを開設しました。埼玉病院は、常に新しいことに挑戦し続ける病院です。研修医の先生方には埼玉病院の一員として現場第一主義で研修していただきます。

地域を支えるやりがいを感じられる病院です。是非、一度見学にいらしてください。



研修責任者 から



副院長 /
小児・周産期
母子センター部長 /
プログラム責任者
上牧 勇

夜間、休日の救急外来では、2年目研修医を中心として、3～4名の研修医が救急外来の初期対応を担当しています。これは研修の核となる部分で、common disease から重症疾患まで上級医の指導を受け初期対応を学ぶことになります。2年間やりきった卒業生たちは、自信をもって専門研修に進んでいます。また、当院は職員家族主義のもと病院全体で研修医教育にあたっています。コミニカルな方からも是非多くを学んでください。

症例検討会、抄読会、学会発表などの機会も豊富で、プレゼンテーションの指導も行っています。熱心な指導とともに研修生活をスタートさせてみませんか。やる気のある皆さんをお待ちしております。

先輩研修医 から



研修医1年目(2022年度入職) **山城 一輝**《基本コース》

当院はフレンドリーな先生方が多く、とても研修しやすい病院です。1年目で興味を持った科は2年目の選択期間で再度研修できるのですが、学びたいことに関して要望を出せばその希望が通るよう尽力していただきます。当直は産婦、小児をまわっているときを除いて内科当直に入り、搬送される患者様の first touch を行うので様々な手技を経験することが可能です。また、その後上級医の先生がフィードバックをしてくださるのでやりっぱなしがなく、とても勉強になります。電話相談の対応、二次救急の受け入れの可否を決めるのも当直中の業務としてあるため、そういった経験を通し診療力、判断力を磨くことが出来ると日々実感しています。

科を回っていても日常業務で忙しすぎて勉強ができない、といったことはなく、多くの研修医が空いた時間で自己学習を行い研修医同士、切磋琢磨し合っています。ぜひ一度見学にいらして、埼玉病院の雰囲気を感じてみてください。

研修医1年目(2022年度入職) **樋口 藍**《小児科コース》



当院の小児科コースでは子どもの common disease から救急疾患まで幅広く経験することができます。小児当直では上級医の指導のもと、主体的に小児の初期診療対応を行います。研修2年間を通し、継続的に勉強会や小児救急シミュレーションに参加しインプットの機会も多くあります。1年目は内科など広く診療科を回り、2年目は小児科を中心にその他小児科と連携の強い科などを自由に選択でき、2年間で医師としての基礎をしっかり作りつつ小児医療を学ぶことができます。小児科に興味のある皆さんを是非お待ちしております！

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学の申込みは、随時受け付けております。病院見学応募申請書兼略歴書を添付の上、事務担当へメールにてお送り下さい。詳しくはHPをご覧ください。
- ・病院説明会は開催が決まり次第、Twitter・HPIにてお知らせ致します。
- ・受験資格として病院見学必須
- ・Twitter：https://twitter.com/NHO_SaitamaHosp



女性医師 支援コーナー

- ・産前休暇(6週間)
- ・産後休暇(8週間)
- ・育児休業制度
- ・院内保育園(0歳から)



| | |
|--------|---|
| 連絡先 | 独立行政法人国立病院機構 埼玉病院 医療支援室 研修医事務担当 佐々木 |
| 住所 | 〒351-0102 埼玉県和光市諏訪2-1 |
| T E L | 048-462-1101(代表) |
| F A X | 048-464-1138 |
| E-mail | sasaki.saya.he@mail.hosp.go.jp |
| U R L | https://saitama.hosp.go.jp/ |
| アクセス | 東武東上線 成増駅より東武バス・西武バスともに7分 |



07

医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院 戸田中央メディカルケアグループ (TMG)

医師数(研修医除く) 71名(うち指導医数17名)
 病床数 402床
 研修医数 1年目3名 2年目3名
 昨年度マッチング受験者数 13名
 研修医の主な出身大学 信州大学、弘前大学、東邦大学、順天堂大学、香川大学、杏林大学、北里大学、獨協医科大学、山梨大学、帝京大学、筑波大学、新潟大学、鹿児島大学、日本医科大学、東京大学、東京医科大学、旭川医科大学
 診療科 内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、小児科、外科、肛門科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、救急科
 1日平均外来患者数 849.9名
 1日平均入院患者数 341.8名
 主な認定施設 日本循環器学会認定循環器研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、内科専門研修基幹病院、整形外科専門研修基幹病院

研修プログラムの特色



当院では、プライマリーケアの基本能力の充実のために、内科と救急科を1年目に行います。内科系は一般・消化器・循環器・糖尿病・神経・呼吸器などを含む幅広い領域での指導体制となっています。また外科系も一般・消化器・呼吸器・脳神経外科・整形外科・皮膚科なども同様に多くの症例を経験できます。さらに、麻酔科研修でも救急医療の基礎を成す呼吸循環管理や、臨床薬理の充実した指導を受けることができます。また、小児科・産婦人科・精神科・地域医療では、協力医療機関(小児科以外は単科病院)での研修となるため、専門的に学ぶことができます。当院は、研修医枠を少なくすることで、研修医一人あたりの指導医数を多くし、濃厚な指導を保證致します。さらに、看護師・コメディカルスタッフなど、あらゆる職種が丸となり研修を支援する体制が築かれています。

新座志木中央総合病院初期臨床研修プログラム(募集定員3名)

| プログラム例 | 1~4週 | 5~8週 | 9~12週 | 13~16週 | 17~20週 | 21~24週 | 25~28週 | 29~32週 | 33~36週 | 37~40週 | 41~44週 | 45~48週 | 49~52週 |
|--------|----------|---------|----------|---------|-----------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科(30週) | | | | 救急科(14週) | | | | 外科系(8週) | | | | |
| 2年目 | 産婦人科(4週) | 精神科(4週) | 地域医療(4週) | 小児科(4週) | 自由選択(36週) | | | | | | | | |

- ・内科と一般外来研修は平行研修となります。
- ・内科ローテーション例(一般→糖尿病→循環器→消化器)

研修医の処遇

給与 1年次36万円/月、2年次40万円/月
 通勤手当
 保険 組合健保(TMG健康保険組合)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、厚生年金基金等企業年金なし、医師賠償責任保険(病院において加入)
 勤務時間 9時~18時
 当直 要相談(月4回程度 原則週1回)
 休暇 変則週休2日制、有給休暇(1年次10日、2年次11日)
 宿舎 あり(住宅手当は病院規定による)
 その他 保育所あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・戸田中央総合病院(小児科)
- ・戸田中央産院(産婦人科)
- ・佐々総合病院(産婦人科)
- ・菅野病院(精神科)
- ・成増厚生病院(精神科)
- ・まちだ訪問クリニック(地域医療)

POINT! 当院の魅力

少人数制だから出来る、あなたにぴったりの研修プログラム

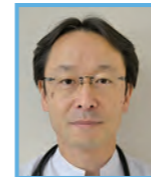
当院は、埼玉県南西部70万人の医療圏において、高度な急性期医療から地域に密着した予防(健診)、在宅医療を行う地域中核病院です。思いやりのある質の高い医療、地域医療機関との密接な連携、行き届いた管理体制による効率的な医療等を行動の規範として、皆さまに心から信頼される「愛し愛される病院」を目指し、24時間救急体制で全力で取り組んでおります。また電子カルテシステムの導入や、局麻手術室の新設、内視鏡室・外来化学療法室の拡張、リハビリテーション室の新設により、地域密着型のより高度な医療を実践しております。

また、当院は戸田中央メディカルケアグループ(TMG)に属しており、臨床面に於いてもスケールメリットを活かした病院運営を展開し、各大学病院と連携し医療レベルの向上に努めております。

- 当院での研修メリット -
- ・少人数制なので、必修項目以外は研修医の自由裁量で好きな診療科を選べます
- ・全職種と良好なコミュニケーションを形成することができます
- ・医療秘書課、病棟・外来クラークが十分に整備されており、雑用が少なく技術の習得に専念できます
- ・大学医局派遣の医師も多く、大学での教育に準じた研修ができます
- ・TMG学会、院内の検討会で学術発表の経験を積めます



研修責任者から



副院長/
研修プログラム責任者
松浦 直孝

当院は、軽症から重症まで、また救急から介護度の高い人や訪問診療まで、全ての患者様に対応しており、病気のほとんどを占める Common Disease を十分に経験できます。

少人数制であり、興味のある科を長く回ることもできます。また、採血・点滴当番等の DUTY がないので、自由に気兼ねなく休むこともできます。

さらに他職種との距離が近く、チーム医療が実践できます。研修医に対して希望することは

- ①積極的に研修に取り組むこと
- ②患者・家族との対話を大事にして、全人的医療を実践すること
- ③コ・メディカルとの協調性・チーム医療
- ④医療の果たすべき社会的役割を認識すること
- ⑤病院の行事に積極的に参加することです。

以上ですが、2年間の臨床研修が一人の医師として、また一人の社会人の基礎となるように頑張っていきたいように。

先輩研修医から



研修医2年目

- 私が感じた当院の魅力は、以下の通りです。
- ①少人数なので、プログラム選択の自由度が高く、また CV カテ等の手技を行う機会が多い
 - ②毎朝の採血等のルーチン業務が少なく、研修に専念できる
 - ③当直を含め common disease が多く集まるので、一通りの初期対応が出来るようになる
 - ④職種間での距離が近く、チーム医療を学ぶことができる
- 当院に興味を持たれましたら、ぜひ一度見学にいらして下さい!

研修医1年目

当院の魅力は大きく2つあり、1つは研修医の人数が少ない為、相対的に指導医や症例、手技をする機会が多い事が挙げられます。少人数の為、プログラム選択の自由度が高く、自分が学びたい事を積極的に学ぶこともできます。2つ目は、他職種との距離の近さです。薬剤科、看護師を初めとする他職種のの方が優しく、また分からない事については、それぞれのプロフェッショナルとして丁寧に教えてくれます。当院に興味があればぜひ一度見学に来て下さい。お待ちしております。



女性医師支援コーナー



当院では、常勤医師の20%にあたる女性医師が活躍しております。当直業務に関しても、体力面や子育て支援を考慮し希望制としております。また24時間利用可能な保育室も完備し、安心して働くことができます。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時行っております。ご希望の方は、電話またはメールにて氏名・大学名(学年)・見学希望日・見学希望診療科などを担当までご連絡ください。

| | |
|--------|---------------------------------|
| 連絡先 | 医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院 臨床研修担当 |
| 住所 | 〒352-0001 埼玉県新座市東北1-7-2 |
| TEL | 048-474-7211(代表) |
| FAX | 048-472-7581 |
| E-mail | webmaster@niizashiki-hp.jp |
| URL | http://www.niizashiki-hp.jp |
| アクセス | 東武東上線 志木駅より徒歩7分 |





08

春日部市立医療センター

医師数 (研修医除く) 69名 (うち指導医数 28名)
病床数 363床
研修医数 1年目7名 2年目7名
昨年度マッチング受験者数 34名
研修医の主な出身大学 秋田大学、大分大学、群馬大学、産業医科大学、帝京大学、日本大学、浜松医科大学、千葉大学 (五十音順)
診療科 内科、循環器内科、血液内科、呼吸器内科、神経内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、精神神経科、放射線科、病理診断科、麻酔科、ペインクリニック内科、歯科口腔外科
1日平均外来患者数 710名
1日平均入院患者数 253名
主な認定施設 地域がん診療連携拠点病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本内科学会認定医教育関連施設、日本外科学会専門医制度修練施設

研修プログラムの特色



限られた期間に、現在社会的にも要望され、将来どのような専門科に進むにしても必要となる幅広いプライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるための選択科目を重視しています。

- ①地域医療は、診療所 (外来診療、在宅、デイケア)、緩和ケア、回復期リハビリ病棟、特別老人養護施設等、多様な研修の組み合わせが可能です。
- ②選択科目の診療科は重複も可能です。選択する分野については、プログラム責任者及び選択する分野の指導責任者と研修医間で相談し決定します。
- ③救急医療は内科、外科研修時及び日・当直業務で随時経験できます。また、救急車同乗など救急医療を重視しています。

春日部市立医療センター 臨床研修プログラム (募集定員7名)

| プログラム例 | 1~4週 | 5~8週 | 9~12週 | 13~16週 | 17~20週 | 21~24週 | 25~28週 | 29~32週 | 33~36週 | 37~40週 | 41~44週 | 45~48週 |
|--------|-------------------------------------|---------|----------------|--------|------------|--------|---------|--------|-----------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科 (呼吸器、循環器、消化器、糖尿病・総合、神経、血液) (24週) | | | | 救急部門 (12週) | | 外科 (6週) | | 産婦人科 (6週) | | | |
| 2年目 | 小児科 (4週) | 選択 (6週) | 地域医療、精神科 (各4週) | | 選択 (30週) | | | | | | | |

必修科目 内科24週、救急部門12週 (麻酔科4週上限)、外科6週、小児科4週、産婦人科6週、精神科4週、地域医療4週、一般外来4週※

選択科目 内科 (呼吸器、循環器、消化器、糖尿病・総合、神経、血液)、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、呼吸器外科、呼吸器科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、検査科、精神神経科

※一般外来については、内科、外科、小児科、地域医療のブロック研修中に計4週並行して研修を実施する。
 (内科 / 外科 2.0週、小児科 0.4週、地域医療 1.6週)

研修医の処遇

給与 1年目 350,300円/月 2年目 368,800円/月
手当 当直手当 21,000円/回
保険 協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険
勤務時間 8時30分~17時15分
当直 あり (基本5回まで/月)
休暇 土・日曜、祝日、年末年始、夏休、有給休暇 20日/年
宿舎 なし
その他 住宅助成あり ※市内居住の場合、上限月額 45,000円

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院
- ・医療法人 春明会 みくに病院
- ・日本大学医学部附属板橋病院
- ・独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院



当院の魅力

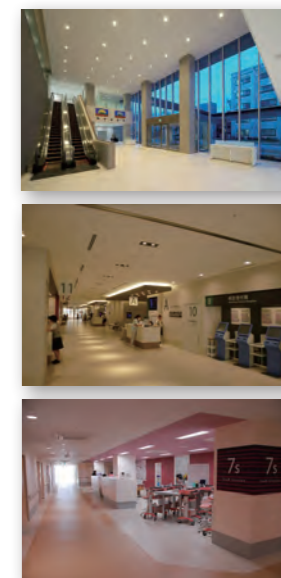
整った環境で充実した研修を!

当院は、2016年7月に新築移転し、延べ床面積を旧病院のおよそ1.5倍に広げ、手術・画像診断・内視鏡・救急の各部門を拡充いたしました。ICU・CCU・NICUの集中治療室や重症観察室に加え、緩和ケア病棟を設置して各部門の強化を図っています。

更に、埼玉県東部医療圏の中核的な医療機関として、地域がん診療連携拠点病院としての充実、強化のため、内視鏡下手術支援装置 (ダビンチ)、高精度放射線治療装置 (リニアック) やがん細胞を見つけるPET-CT、SPECTなど最新の高度医療機器を導入、更新しています。

院内には医局とは別に研修医室があるので集中して学ぶことができます。医局内にはラウンジがあるので上級医とのコミュニケーションが図りやすいです。その他、綺麗な宿直室、院内コンビニエンスストアもあり、充実した研修医生活を送れる環境が整っています。

上級医と研修医との風通しが良く、また医師以外の医療職員ともコミュニケーションが図られているので、病院見学に来られた方からは雰囲気良かったとの感想をいただいています。是非一度、見学にお越しください。



研修責任者から



臨床研修管理委員長
 (内科主任部長)
河野 通

当院での研修を希望する方々へ

約23万人の人口を擁する春日部市です。その中で中核的に医療を提供しています。

とにかくやる気のある研修医を求めています。ベッドサイドでは、患者さんと最もお話ししてもらうのは研修医、救急の初期対応も研修医、造影用をはじめ多くの点滴ルートの確保も研修医というように当院では皆さん方の力なしでは日頃の診療もままならないと思います。そうかといって忙しいのみではありません。十分な夏季休暇や年休は確保されています。また、給与もそれなりの額と思います。指導医も皆さんが食いついていけば十分に反応して指導してくれると思います。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の対応で研修医もコロナ以外の研修に制限がありました。しかし、今後はコロナ対策を行ったうえで専門的医療を学ぶことができると思います。少しでも興味のある方は、気軽に見学に来ていただきたいと思います。

とにかく国家試験合格を目指して学業頑張ってください。

先輩研修医から

研修医2年目 **柿崎 英智**

春日部市立医療センターは、地域の中核病院として、多くの診療科や最先端の医療機器が揃っています。

研修医の人数も7人とちょうど良く、各診療科を基本的に一人または二人で回るため、手技を経験する機会も多く、また上級医の先生方の指導も手厚いです。

さらに、病院は建て替えてから年数が浅く、とても綺麗な施設環境で研修が行えます。福利厚生にも恵まれており、モチベーションに繋がると思います。

ぜひ一度見学にお越し頂き、実際に働く雰囲気を感じていただけたらと思います。



研修医1年目 **阿部田 紗彩**

春日部市立医療センターの魅力は、大きく分けて2点あります。まず一つ目に、研修医が7人と少人数なので、各科での研修でCV・胸腔穿刺、ルート確保など数多くの手技を行うことができます。二つ目に当直では、研修医がファーストタッチを行い問診・診察・検査を考えたアセスメントをします。もちろん上級医の先生にすぐ相談することもでき様々な経験を積むことができます。また、2年目の先輩研修医の方々からのアドバイスも日々頂け、同期の研修医とは切磋琢磨し合うような環境です。200字では書ききれない当院の魅力をお伝えしたいので、ぜひ一度見学にきて研修医の話聞いてみてください。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時開催しております。病院見学を希望される方は、まず下記担当までご連絡ください。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 連絡先 | 春日部市立医療センター 総務課 総務担当 石岡 |
| 住所 | 〒344-8588 春日部市中央6丁目7番地1 |
| TEL | 048-735-1261 (代表) |
| FAX | 048-734-2471 |
| E-mail | somu-hos@city.kasukabe.lg.jp |
| URL | http://www.kasukabe-cityhp.jp |
| アクセス | 東武スカイツリーライン春日部駅から徒歩約10分 |





09

医療法人秀和会 秀和総合病院

研修プログラムの 特色



内科系は腎臓、循環器、内分泌代謝、呼吸器、消化器を常設し、さらに大学からの支援で神経内科、膠原病・リウマチ内科の外来診療を行っています。腎臓内科は開設40年以上の透析医療の長い歴史があり、別館・透析クリニックで関東最大級400例以上の維持透析を担い、循環器内科は救急医療連携でPCIから末梢動脈まで幅広く活躍し、内分泌・糖尿病内科は専門的糖尿病診療から糖尿病教室まで地域に密着しています。呼吸器内科では市中感染症診療、睡眠時無呼吸症候群、緩和医療まで集約的に取り組み、消化器系は肝炎、栄養を中心に診療を行なっています。

外科系は消化器、泌尿器、整形外科、脳外科から乳腺外科、形成外科まで幅広く対応しています。消化器外科は、ヘルニア日帰り手術から鏡視下手術に至るまで精力的に活動し、内視鏡外科では食道・胃・十二指腸・大腸全域で積極的にESDを行っています。また整形外科では人工関節置換術から脊柱官狭窄症や脊椎変形まで県下有数の実績を挙げています。脳神経外科は埼玉県脳梗塞急性期ネットワークに参画し基幹病院として多くの患者を受け入れています。救急医療から生活習慣病まで幅広い地域医療に接しながら充実した研修が当院の特色です。

卒後初期臨床研修プログラム（募集定員2名）

| プログラム例 | 1～4週 | | | | | | | | | | | | | 5～8週 | | | | | | | | | | | | | 9～12週 | | | | | | | | | | | | | 13～16週 | | | | | | | | | | | | | 17～20週 | | | | | | | | | | | | | 21～24週 | | | | | | | | | | | | | 25～28週 | | | | | | | | | | | | | 29～32週 | | | | | | | | | | | | | 33～36週 | | | | | | | | | | | | | 37～40週 | | | | | | | | | | | | | 41～44週 | | | | | | | | | | | | | 45～48週 | | | | | | | | | | | | | 49～52週 | | | | | | | | | | | | |
|--------|------|-----|-----|------|------|--|--|--|--|--|--|--|--|------|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | 1年目 | 内科 | | | | | | | | | | | | | 外科 | | | | | | | | | | | | | 麻酔科 | | | | | | | | | | | | | 救急 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年目 | 小児科 | 精神科 | 婦人科 | 地域医療 | 選択科目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

必修科目 内科32週、外科8週、麻酔科8週、救急8週（4週+当直4週※当直4週は他科重複研修。週に1回程度実施）、小児科4週、精神科4週、産婦人科4週、地域医療4週

選択科目 自由選択36週 内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科より選択

研修医の 処遇

給与 約41万円/月
手当 通勤手当、当直手当
保険 協会けんぽ
 厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険（病院において加入なし）
勤務時間 9時00分～17時00分
当直 あり（3～4回/月）
休暇 有給休暇（1年目10日、2年目11日）、土曜午後、土曜（隔週）、日曜、祝日、夏季休暇、年末年始
宿舎 あり（2.5万円/月）
その他 昼食費補助あり、宿舎費補助あり、学会発表・研究会発表等への参加費用支給有

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・東京医科歯科大学病院
- ・草加市立病院
- ・秀和透析クリニック
- ・春日部在宅診療所ウエルネス

医師数（研修医除く） 44名（うち指導医数17名）

病床数 350床

研修医数 1年目2名 2年目0名

昨年度マッチング受験者数 2名

研修医の主な出身大学 岩手医科大学、杏林大学、群馬大学、順天堂大学、東京医科大学、東京医科歯科大学、東邦大学、東京慈恵会医科大学、富山大学、山梨大学（ほか（五十音順）

診療科 内科、消化器内科、循環器内科、肝臓内科、腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病内科、内分泌内科、神経内科、リウマチ科、人工透析内科、アレルギー疾患内科、内視鏡内科、外科、消化器外科、食道外科、肝臓外科、大腸外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、婦人科、乳腺外科、眼科、皮膚科、形成外科、内視鏡外科、放射線科、放射線診断科、病理診断科、臨床検査科、救急科、麻酔科

1日平均外来患者数 485.4名

1日平均入院患者数 199.5名

主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院（3rdG:Ver1.1）、埼玉県がん診療指定病院、埼玉県搬送困難事案受入医療機関（6号基準）、二次救急指定病院、埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク、日本栄養療法推進協議会・NST（栄養サポートチーム）稼働施設



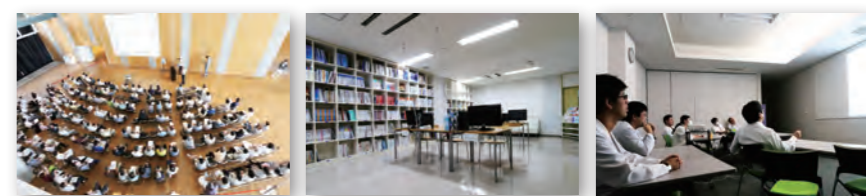
当院の魅力

地域に密着した研修で技術を習得

埼玉県は全国でも1～2位の高齢化進行率ですが、2015年の統計では65歳以上の高齢化率は全国では26.6%、東京都22.7%、埼玉県24.8%を示し春日部市では28.1%とさらに高齢化が進んでいます。この地域に密着した研修を考える時には合併疾患で病める高齢者に対し、各領域専門医の指導下に最新鋭の医療機器を用いて、最初は問診聴取から身体所見の取り方、そして各種検査値の読み方や画像診断の技術を修得することになります。

秀和総合病院では内視鏡始めCT診断装置、MRI診断装置、各種超音波診断装置、心臓血管撮影装置など大型医療機器を設置していると同時に各領域の専門医や指導医が常勤しています。特に多くの医師の出身母体である国立大学法人東京医科歯科大学病院や近接する獨協医科大学埼玉医療センターなどと密接な医療連携を保持し、必要に応じて診療科研修に向くこともあります。

是非、高齢化率が高く医師数の少ない当院で少数精鋭の騎士として、医療技術の修得と共に初めての臨床研修医期間を秀和総合病院で過ごし、人として医師としての充実した新たな道に共に進みましょう。



研修責任者 から



研修実施責任者
安達 進

秀和総合病院がある春日部は人口約24万人の市で、東武鉄道のスカイツリーラインとアーバンパークラインが乗り入れ都心や大宮、千葉からのアクセスが非常によい場所にあります。

当院は埼玉県東部医療圏の救急基幹病院で年間約3,000台の救急車を受け入れ地域の急性期医療のみならず、がん医療、緩和医療、健診センター、透析クリニックなど幅広く展開し、より専門性が高くより質の高い医療を提供できる病院として機能しています。

病院には最新の医療機器や電子カルテシステムまた文献検索などが行える図書室を備えており快適に研修に取り組むことができる環境にあります。

医師としての研修も大学や教育病院での指導経験豊富な指導医が各診療科において適切かつ迅速に診断・検査・治療を遂行できるように研修医の教育を行っています。

先輩研修医 から

研修医 1年目 平澤 真澄

当院の特徴は研修医が少ないため、上級医の先生方から手厚い指導を受ける環境があることです。また総合内科や救急外来のファーストタッチを研修医が行うこともあります。上級医の先生にいつでも相談でき、フィードバックも貰えるため医師として成長できます。手技も積極的にやらせてもらえるためメキメキ上達します。大学病院よりも研修医の裁量権が多いですが、忙し過ぎることもないので自己学習の時間もしっかりととれます。あと給料がいいです（笑）是非当院の見学にいらして下さい。



研修医 1年目 砂田 憲吾

当院の研修の特徴は指導医と研修医の距離が近いことです。初期研修医に必要な基本的な知識や手技から、それぞれの科の専門的な内容まで疑問に感じたことをすぐに質問し、勉強する環境が整っています。救急外来では上級医とともに初期対応を行い、自ら診療する力を養うことができます。内科カンファレンスなど、研修医が発表する機会も多くあり、臨床的なアドバイスからスライドの作り方まで、幅広く指導を受けることができます。



女性医師 支援コーナー



これまでの女性医師支援プログラムは院内保育・病児保育などを含めた柔軟な勤務体制の整備と活用が主な対応で、これらは既に卒後数年目の女性医師に実施されています。

臨床研修期間中は、その勤務形態や内容に男女別の分け隔てなく対応しながら適時、研修医の体調などを観察しながら、医師としての初めての貴重な経験に邁進してもらうべく注意深く育てて行く方針です。病院としては、研修医はチーム環境の中で多方面にお世話になりながら、一方では医師としての責務を自覚し、いずれはリーダーとして独り立ちするように温かく優しい、頼れる女性医師として育む考えです。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

随時、病院見学を受け付けております。

下記QRの『お問い合わせフォーム』からお申し込みください。

| | |
|--------|--|
| 連絡先 | 秀和総合病院 総務課(医局)堀内 |
| 住所 | 〒344-0035 埼玉県春日部市谷原新田1200 |
| TEL | 048-737-2121(代表) |
| FAX | 048-737-5575 |
| E-mail | sgh.ikyoku@shuuwa-gh.or.jp |
| URL | http://www.shuuwa-gh.or.jp |
| アクセス | 東武スカイツリーライン・東武アーバンパークライン「春日部駅」下車後、西口より朝日バス「秀和総合病院」下車 所要時間10分 |





IMS (イムス) グループ 医療法人財団明理会 春日部中央総合病院

10

研修プログラムの 特色



- ① 自由度の高いプログラム選択が可能です。(選択科目最大48週)
- ② マンツーマン指導で「手技」を中心とした研修を行います。
- ③ 年2回のIMS (イムス) グループ内学会にて症例の発表を行います。
- ④ 入職後にオリエンテーションを実施します。
メディカルスタッフの役割を知り、人間関係を作ることで、「聞きやすい・話しやすい研修環境」を作ります。
- ⑤ 当直は月2回。研修の中心時間は日中です。

春日部中央総合病院群初期臨床研修プログラム (募集定員6名)

| プログラム例 | 1~4週 | 5~8週 | 9~12週 | 13~16週 | 17~20週 | 21~24週 | 25~28週 | 29~32週 | 33~36週 | 37~40週 | 41~44週 | 45~48週 |
|--------|---------------------------------------|------|--|--------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科 (神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病代謝内科含む) | | | | 救急 (麻酔科含む) | | | 外科 | 小児科 | 産婦人科 | | |
| 2年目 | 精神科 | 地域医療 | 選択科目 (内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病代謝内科、外科、整形外科、心臓血管外科、脳神経外科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科、眼科、形成外科、精神科、耳鼻咽喉科、救急、一般外来) | | | | | | | | | |

必修科目 内科 (24週)、救急 (12週)、外科 (4週)、小児科 (4週)、産婦人科 (4週)、精神科 (4週)、地域医療 (4週)、一般外来 (4週)
選択科目 最大40週

研修医の 処遇

給与 1年次：約42万円/月、2年次：約45万円/月
当直手当 当直手当 (1万円/回)
保険 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険適用
勤務時間 9:00~17:00
当直 2回/月
休暇 土曜日午後、日曜日、祝祭日
宿舎 借上げ寮家賃の50%を病院が負担 (上限有)

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・板橋中央総合病院
- ・新松戸中央総合病院
- ・新越谷病院
- ・越谷市立病院
- ・順天堂越谷病院
- ・横浜旭中央総合病院
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・春日部市立医療センター
- ・丸山記念総合病院
- ・小張総合病院

医師数 (研修医除く) 44名 (うち指導医数7名)
病床数 404床
研修医数 1年目5名 2年目4名
昨年度マッチング受験者数 10名
研修医の主な出身大学 大阪大学、北里大学、産業医科大学、順天堂大学、聖マリアンナ医科大学、東京医科大学、東北医薬大学、福島県立医科大学 (五十音順)
診療科 内科、循環器科、緩和ケア内科、消化器科、呼吸器科、腎臓内科、腫瘍内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、婦人科、神経内科、糖尿病・代謝内科、麻酔科、人工透析、放射線科、リハビリテーション科
1日平均外来患者数 680名
1日平均入院患者数 350名
主な認定施設 厚生労働省臨床研修指定病院、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本腎臓学会認定教育施設

POINT! 当院の魅力

医師の自主性・働きやすさを大切にしています

- ① 《プログラムの自由度が高い》
研修プログラムの選択科目は最大40週です。自分の将来のために、自由にプログラムを作ることができます。
- ② 《研修環境の重視》
IMS (イムス) グループ6施設が集まる入職前合同研修会を開催。毎年30名近い同期と巡り会えます。4月はオリエンテーションでメディカルスタッフとの人間関係を作ります。また、年1回、自分の研修の成果を発表する症例発表があります。
- ③ 《QOLも大切にしたい》
主に日中を中心とした研修です。当直は月2回から。当直の回数を調整できるのも、自由度の高いプログラムの特徴です。日曜・祝日の日勤勤務はありません。



研修責任者 から



副院長/整形外科
部長
片山 一雄

初期研修は、プライマリーケアの習得が主な目的です。そのためには、患者様との接し方、基本的な手技の習得、コメディカルとの関係など、学ぶことがたくさんあります。中でも当院では、基本的な手技の指導に重点を置いています。また、救急医療にも力を入れていて、様々な症例を学ぶことが可能です。
当院の研修プログラムは、他のグループ病院や近隣病院でも研修が可能のため、多くの症例を経験できる利点があります。また、自由選択期間が最大40週と長いところも特徴です。職員一同、初期研修が実りあるものとなるようサポートさせていただきます。

先輩研修医 から

研修医2年目 橋本 恭汰

当院の研修では、自分のペースを大切にしたい研修を行うことができます。指導が受けやすい環境でありながら、研修生活には時間的余裕があるため、じっくりと学ぶことが出来ます。自分の時間もたっぷりとれるため、充実した研修生活を送ることが出来ます。また、グループ内外に協力病院が多く、ローテートできない診療科がほとんどないことも強みです。それぞれに異なった強みがある病院で研修することで、より深い経験を積むことが出来ます。



研修医1年目 田島 唯

当院は研修医が少人数であり、指導医の先生方に1カ月しっかりとマンツーマンで指導していただけます。先生方やコメディカルの方々も優しく、研修医1、2年目の関係性も良好なので、非常に過ごしやすい環境で研修医生活を送れています。また、事務の方が定期的に面談や声かけをしてくださるので、研修プログラムについてだけでなく、生活面でのサポートも充実しているのも魅力の一つです。是非当院を研修病院として考えてみてください。



女性医師 支援コーナー



当院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産前産後休暇・育児休暇・育児短時間勤務・当直免除等の制度を整備しています。また、院内保育所も完備していることから、女性職員が育児しながら働く場所の提供を積極的に行っています。
2017年からは「埼玉県子育て応援企業」として、埼玉県より『多様な働き方実践企業』の認定を受けています。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付しております。記載のメールアドレスへ担当者宛にご連絡ください。ご希望の日にて病院見学を調整します。

是非一度病院に来て、研修医の声と病院の雰囲気を経験してください。

| | |
|--------|------------------------------|
| 連絡先 | 春日部中央総合病院 総務課 臨床研修医担当 |
| 住所 | 〒344-0063 埼玉県春日部市緑町5-9-4 |
| TEL | 048-736-1222 (直通) |
| FAX | 048-738-1559 |
| E-mail | jinji@kasukabechuo.com |
| URL | http://www.kasukabechuo.com/ |
| アクセス | 東武スカイツリーライン「一ノ割」駅から徒歩5分 |





越谷市立病院

医師数（研修医除く） 81名（うち指導医数21名）
病床数 481床
研修医数 1年目6名 2年目7名
昨年度マッチング受験者数 16名
研修医の主な出身大学 秋田大学、北里大学、杏林大学、信州大学、東京大学、獨協医科大学、鳥取大学、名古屋大学、日本医科大学、山形大学（五十音順）
診療科 内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科
1日平均外来患者数 821名
1日平均入院患者数 285名
主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院（3rd G: Ver.1.1）、日本内科学会教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本呼吸器科学会認定施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、小児科専門医研修施設 ほか

研修プログラムの特色



越谷市立病院初期臨床研修プログラムは、市中病院と大学病院で臨床研修を積むことができる内容となっています。当院内での研修では、募集人数が8名の少数制のため、マンツーマンで一般的な症例や各種手技に積極的に取り組んでいただけます。また、選択診療科が40週あり、希望者は2年目に順天堂大学医学部附属病院（順天堂医院・練馬病院・浦安病院・越谷病院）などで研修を積むことができ、研修医の将来における希望に応じた、より充実した研修を可能とする構成となっています。

越谷市立病院初期臨床研修プログラム（募集定員8名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 | 49～52週 |
|--------|---------|----------|----------|------------|--------|--------|---------|--------|----------|---------|----------|--------|--------|
| 1年目 | 内科（24週） | | | | | | 小児科（6週） | 外科（6週） | 産婦人科（4週） | 麻酔科（4週） | 救急部門（8週） | | |
| 2年目 | 精神科（4週） | 地域医療（4週） | 救急部門（4週） | 選択診療科（40週） | | | | | | | | | |

- ※ローテーションは順不同
- ※内科研修は、一般内科8週、呼吸器科4週、循環器科4週、消化器科4週及び神経内科4週で実施
- ※救急部門研修は、救急科8週及び麻酔科4週で実施
- ※一般外来研修は、一般内科、一般外科、小児科で並行研修により実施
- ※選択診療科（選択科目）は、（一般）内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、（一般）外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床検査科（病理診断科）及び精神科の中から選択し、1科4週以上のまとまった期間を基本に実施

研修医の処遇

給与 1年目：約30万円、2年目：約31万円（地域手当含む。毎年1月1日に昇給あり。給料表等改正時に金額変更の場合あり。）
期末勤労手当（賞与） 1年目：約80万円/年、2年目：約130万円/年
 ※期末勤労手当は年間4.45月（令和3年度実績）で計算
住宅手当、通勤手当、扶養手当、当日直手当、退職手当等を該当者に支給
埼玉県市町村職員共済組合保険、地方公務員災害補償法適用
勤務時間 8:30～17:00
あり（月5回程度原則希望制）
年次有給休暇（20日/年）、夏季特別休暇 等
なし
埼玉県市町村職員共済組合が実施する各種共済事業（レクリエーション施設・保養施設割引制度、各種給付・保険・年金制度）が利用可能

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・順天堂大学医学部附属順天堂医院（東京都文京区）
- ・順天堂大学医学部附属浦安病院（千葉県浦安市）
- ・順天堂大学医学部附属練馬病院（東京都練馬区）
- ・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院（埼玉県越谷市・精神科）
- ・リハビリテーション天草病院（埼玉県越谷市・地域医療）

POINT! 当院の魅力

プライマリ・ケアの研修に適した病院です。

救急・高度・特殊医療を中心に地域の医療機関との連携を重視しつつ、基幹病院として地域医療の充実に努めています。各種学会専門医等の認定のための研修病院であり、救急患者も多く、プライマリ・ケアの研修に適した病院です。また、平成30年9月には（公財）日本医療機能評価機構より病院機能評価 3rd G: Ver.1.1として更新の認定を受けました。



研修責任者から



臨床研修管理委員長
木下 恵司

当院の研修の特色は次の3点に集約できます。

- ① common disease が多数経験できること
- ② 基本的手技が身につくこと
- ③ 2年目の選択期間に臨床研修協力病院である順天堂大学医学部附属病院での研修が可能であること

①については、一般市中病院であり、医療連携などで紹介されてくる患者さんも多く、総合診療科での研修も含め、common disease が多数経験できます。
 ②については、研修医の数が比較的少ないため、基本的手技を多く経験できます。
 ③については、大学病院において最新医療やより専門的な臨床経験を積むことができます。

当院の指導医は協力を惜しみません。意欲に燃えた研修希望者のご応募をお待ちしています。

先輩研修医から

研修医2年目 伴光 直人

当院の研修プログラムの魅力は、自由度の高さと実践的な経験が積めることです。選択診療科が40週と長く、研修2年目には大学病院（協力病院）を含めて好きな診療科を選ぶことができます。また、身に付けるべき手技はもちろん、専門的な治療や学会発表のやり方に至るまで、マンツーマンで指導を受けられます。研修医に非常に親身なところも特長で、練習用エコーを研修医室に常備してもらえたり、サポートも充実しております。ぜひ一度見学にいらしてください。研修医一同お待ちしております。



研修医1年目 檜山 瑛

当院の研修プログラムは非常に自由度が高く、個々に合った研修生活を送ることができるため、現在どの科に進むか悩んでいたとしてもやりがいをもって学ぶことができます。2年目には40週の実践的な研修があり順天堂大学附属病院を含めた協力病院で研修を積めるため、実践的な医療のみならず、最先端のアカデミックな治療も経験することが可能です。またスタッフの方々がみなさん優しく、病院全体で研修医を育てて下さる雰囲気は当院の魅力の一つだと思います。研修医同士も仲がいいので是非一度見学にいらしてください。



女性医師支援コーナー



- ・院内保育室の設置（臨床研修医利用実績あり）
- ・産前、産後休暇/育児休業制度

《女性研修医からのコメント》
 私は初期臨床研修期間中に妊娠しました。体調が優れないときや造影検査・放射線注射で被曝の心配があるときなどは、同期の研修医の仲間や先生方に助けを借り、出産数週間前のぎりぎりまで研修を続けることができました。出産後も、比較的早期に復帰することができ、多くの方々の支えで研修を2年間で無事に修了することができました。
 研修医（平成28年度修了）
 坂本 陽子

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

・病院見学は随時実施

| | |
|--------|---|
| 連絡先 | 越谷市立病院 事務部庶務課庶務担当 飯村 佳奈 |
| 住所 | 〒343-8577 埼玉県越谷市東越谷十丁目3番地 |
| TEL | 048-965-2221（代表） |
| FAX | 048-965-3019 |
| E-mail | shomu@city.koshigaya.lg.jp |
| URL | http://www.mhp.koshigaya.saitama.jp/ |
| アクセス | 越谷駅東口から朝日バス「市立病院行き」「吉川駅北口(市立病院経由)」「総合公園行き」乗車約7分 南越谷駅北口から朝日バス「花田行き」「市立図書館行き」乗車約15分 南越谷駅東口からタローズバス「東埼玉テクノポリス行き」乗車約12分 |





12

学校法人獨協学園 獨協医科大学埼玉医療センター

医師数（研修医除く） 379名（うち指導医数 152名）
病床数 923床
研修医数 1年目 46名 2年目 45名
昨年度マッチング受験者数 100名
研修医の主な出身大学 秋田大学、岩手医科大学、大分大学、九州大学、杏林大学、熊本大学、高知大学、埼玉医科大学、佐賀大学、信州大学、聖マリアンナ医科大学、帝京大学、東海大学、東京女子医科大学、東邦大学、徳島大学、富山大学、新潟大学、日本大学、ハンガリー国立ペーチ大学、兵庫医科大学、弘前大学、藤田医科大学、山形大学、山梨大学、琉球大学、獨協医科大学
診療科 糖尿病内分泌・血液内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、こころの診療科、皮膚科、総合診療科、外科、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、産科婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科、乳腺科、救急医療科（救命救急センター）、麻酔科、臨床検査部、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、集中治療科、小児疾患治療センター、子どものこころ診療センター、遺伝カウンセリングセンター、リプロダクションセンター、移植センター
1日平均外来患者数 1,874名
1日平均入院患者数 752名
主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院、三次救急指定病院、災害拠点病院（埼玉 DMAT 指定病院）、地域がん診療連携拠点病院

研修プログラムの特色



- ①厚生労働省が掲げる研修理念を実現するもので、医師としての診療能力を幅広く身につけるために、プライマリケア習得を各カリキュラムの基本としています。
- ②必修科目履修では、同省が定める到達目標の確実な達成を図っています。希望履修選択期間には、標榜する診療科のどれをも選択できるとともに、同時期に獨協医科大学病院や日光医療センターで標榜する診療科も選択研修できます。また、小児科、産科婦人科や外科系に特化したプログラムも設けています。
- ③専門・高度医療を実践するためのミニワーク・カリキュラムを重層的に備えています。
- ④臨床研究の基礎トレーニングができます。
- ⑤医師としてのキャリア構築につながります。

一般プログラム（募集定員 38名）

| プログラム例 | 1～4週 | | 5～8週 | | 9～12週 | | 13～16週 | | 17～20週 | | 21～24週 | | 25～28週 | | 29～32週 | | 33～36週 | | 37～40週 | | 41～44週 | | 45～48週 | |
|--------|------|-------|------|------|----------|--|--------|--|--------|--|--------|------|--------|--|--------|----|--------|-----|--------|--|--------|--|--------|--|
| | 1年目 | 内科 | | | | | | | | | | 救急部門 | | | | 外科 | | 麻酔科 | | | | | | |
| 2年目 | 小児科 | 産科婦人科 | 精神科 | 地域医療 | 希望履修選択科目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- ・ローテーション順は各自によって異なります。詳細はお問い合わせください。
- ・その他 小児科特化プログラム（定員：2名） 産科婦人科特化プログラム（定員：2名） 外科系特化プログラム（定員：8名）

研修医の処遇

給与 月額 34万円（一律支給）
 ※月額には時間外手当 8万円分を含む
諸手当 当直手当
保険 日本私立学校振興・共済事業団（公的医療保険 / 公的年金）、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険（施設及び個人）加入
勤務時間 8:50～17:10
当直 あり（4回程度/月）
休診日 第3土曜日、日曜日、国民の祝祭日、開学記念日、年末年始
休暇 有給休暇（1年次：15日間、2年次 17日間）
 ※年5日間のフレックス休暇を含む
宿舎 あり（有料）
その他 学会、研究会への参加費用支給・定期健康診断・採用時健康診断・各種予防接種 他

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・獨協医科大学病院
- ・獨協医科大学日光医療センター
- ・春日部厚生病院
- ・越谷市立病院
- ・越谷ハートフルクリニック
- ・新越谷病院
- ・東埼玉総合病院
- ・深谷赤十字病院
- ・久喜すずのき病院
- ・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 他4施設

POINT! 当院の魅力

県内最大規模の病院です！他大学出身者多数！

当院は交差する二つの路線、JR南越谷駅と東武スカイツリーライン新越谷駅から徒歩3分程の場所に位置し、交通の便が極めて良いところです。病床数は病院全体で923床と県内最大規模で、手術室も22室あり、最先端の機器を導入しています。県内外から多くの患者さんが訪れ、大学病院でありながら地域医療を支える役割も担う、埼玉県東部の中核病院です。

研修プログラムは、一般プログラムの他に小児科・産科婦人科・外科系のプログラムを備えています。希望履修科目選択期間では、当院および獨協医科大学病院・日光医療センターが標榜するすべての診療科・部のどれをも選択することができ、ローテーションの順番も、できる限り皆さんの希望に添えるよう調整しています。将来進みたい診療領域が決まっていなくても、既に決まっている方でも、研修期間でしか経験できない、あらゆる科目の知識に触れることができるプログラムです。

研修医の出身大学は様々ですが、出身や年齢にかかわらず、和気あいあいと語り合い、切磋琢磨しています。オン・オフをうまく切り替えながら、のびのびと研修している研修医が多いのも、当院の特徴です。



研修責任者から



臨床研修センター長
松島 久雄

当院は埼玉県越谷市に位置し、埼玉県東部地域人口180万人の基幹病院として地域医療の重要な役割を担っております。病床数は一般病床923床、手術室は22室と県内最大規模です。大学病院でありながら、市中病院のような研修が魅力的であり、臨床能力のみならず、医師としての基本的価値観を身に付けることを目的とした、一般、小児科、産科婦人科、外科系プログラムの4つのプログラムを運用しています。マッチングでは、毎年全国各地から100名を超えるご応募をいただいております。丁寧な指導、精神面でのサポート、充実したカンファレンス、off the job トレーニングなど要望に応じて Up to Date な研修を心がけています。都心へのアクセスが良く、学会参加や休日のリフレッシュにも適した環境です。獨協医科大学埼玉医療センターで充実した卒後研修をお勧めします。

先輩研修医から

研修医1年目 大泉 真理奈

獨協医科大学埼玉医療センター研修医1年目の大泉真理奈です。当院は大学病院ですが、市中病院のような研修ができる点が魅力だと思います。病院の雰囲気も良く、自分次第で手技や病棟管理など様々なことを経験できます。同期の仲も良く、お互いに切磋琢磨できる環境だと思います。興味がある方は是非病院見学に来てください。研修医一同楽しみにお待ちしております。



研修医1年目 岡田 郷

獨協医科大学埼玉医療センター研修医1年目の岡田です。私が思う埼玉医療センターの魅力は、さまざまな場所から研修医が集まってきていること、寮が併設されており研修医同士での交流が深めやすいこと、病院が新しく清潔であること、オペ室数が県内随一であり外科系も強いこと、など沢山あります。指導医の先生方もそれぞれの研修医に適したご指導をしてくださるので、研修生活に不安があるという人でも安心して研修をすることができます。皆様が医師国家試験を無事終えて、共に研修できる日を心待ちにしています。



女性医師支援コーナー

当院では女性医師支援センターを設置しており、女性医師が働きやすい環境づくりを目指しています。学内外の女性医師、研究者同士との情報交換を通じ、医師としてのキャリア継続に役立つよう努め、病院全体における男女共同参画の啓発活動にも力を注いでいます。隣接した保育所もあり、延長保育や、週3回24時間保育も実施しているので、育児をしながらでも安心して研修できます。他に、初期研修修了後には育児短時間勤務制度が利用できます。専任教員やレジデント（後期研修・専攻医）の身分を保有したまま、週20時間の短時間勤務が申請でき、各医局での柔軟な勤務が可能となります。

（女性医師支援センターサイト：<http://www.dokkyomed.ac.jp/jyouseiishi-k/index.html>）

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学のお申込み手順

- ①下記URLよりサイトへアクセス
- ②メールフォームにてお申込み

※見学は随時受け付けております。詳細はお問い合わせください。

| | |
|--------|---|
| 連絡先 | 獨協医科大学埼玉医療センター 臨床研修センター事務室 |
| 住所 | 〒343-8555 越谷市南越谷2-1-50 |
| TEL | 048-965-7842（直通） |
| FAX | 048-965-9356 |
| E-mail | k-kenshu@dokkyomed.ac.jp |
| URL | https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-k/kenshu/ |
| アクセス | JR武蔵野線南越谷駅、東武スカイツリーライン新越谷駅から徒歩3分 |





13

草加市立病院

医師数 (研修医除く) 92名 (うち指導医数 26名)
病床数 380床
研修医数 1年目 9名 2年目 7名
昨年度マッチング受験者数 20名
研修医の主な出身大学 東京医科歯科大学 他
診療科 内科、血液内科、内分泌・代謝内科、膠原病内科、腎臓内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、眼科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、精神科、救急科、病理診断科、緩和ケア科
1日平均外来患者数 718名
1日平均入院患者数 239.5名
主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院 (3rdG:Ver2.0)
 災害拠点病院 救急告示病院

研修プログラムの特色



研修の1年目には8週間ずつ「消化器内科 + 腎臓内科」「循環器内科 + 膠原病内科 + 内分泌・代謝内科」「呼吸器内科 + 血液内科」「救急科」「外科」「麻酔科」をまわります。2年目には4週間ずつ「小児科」「産婦人科」「精神科」「地域医療」をまわります。残る1年目の4週と2年目の36週は選択制となりますが、内科系・外科系の専門科をはじめマイナー科での研修も可能です。この間に救急当直 (20回以上 / 36週) の研修も行います。外来研修は内科・外科・小児科研修中に一般外来での診療を0.5日 / 週で行うのに加え、「地域医療」研修期間中に診療所で全日4日間の診療を行います。研修スケジュールは研修医の志望に合わせて組み替え可能で、研修途中であっても希望が変われば研修予定科の変更も可能です。研修後の進路については自由ですが、当院で正規職員 (地方公務員) としての身分で採用が可能です。また、東京医科歯科大学各科目局への入局の相談にも応じています。

草加市立病院臨床研修プログラム (募集定員 6名)

| プログラム例 | 1~4週 | 5~8週 | 9~12週 | 13~16週 | 17~20週 | 21~24週 | 25~28週 | 29~32週 | 33~36週 | 37~40週 | 41~44週 | 45~48週 | 49~52週 |
|--------|---------------|------|----------------|--------|---------------|--------|----------------|--------|-----------------|--------|-----------------|--------|--------|
| 1年目 | 内科 (必修) (24週) | | | | 救急科 (必修) (8週) | | 外科 (必修) (8週) | | 選択科 (麻酔科) (8週) | | 選択科 (自由選択) (4週) | | |
| 2年目 | 小児科 (必修) (4週) | | 産婦人科 (必修) (4週) | | 精神科 (必修) (4週) | | 地域医療 (必修) (4週) | | 選択科 (自由選択) (4週) | | | | |

- ※1 産婦人科は春日部市立医療センターで研修を行っています。
- ※2 精神科は東京足立病院で研修を行っています。
- ※3 地域医療はおた泌尿器科内科クリニック、メディクス草加クリニックで研修を行っています。(地域医療の外来研修のみ あや総合内科クリニック)

研修医の処遇

主な臨床研修協力病院・協力施設

給与 月額1年次 34.7万円 / 月、2年次 35.9万円 / 月 (諸手当除く)
諸手当 地域手当、期末手当、当直手当、通勤手当 他
保険 埼玉県市町村職員共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険・公務災害適用、厚生年金基金等企業年金なし
 医師賠償責任保険 (病院において加入)
勤務時間 原則 8時30分から17時
当直 あり (30~50回/年)
休暇 有給休暇 (1年次: 10日 2年次: 11日)
 夏季休暇 7日 (令和3年度実績)
宿舎 なし
その他 身分は非常勤職員 (フルタイム会計年度任用職員) となります。特定の要件を満たした場合、退職手当の支給対象となります。

- ・東京足立病院
- ・おた泌尿器科・内科クリニック
- ・メディクス草加クリニック
- ・あや総合内科クリニック
- ・春日部市立医療センター

POINT! 当院の魅力

年間5,000件以上の救急搬送受入

当院が位置する草加市は東京都足立区に隣接し、若い世代の多く住む人口約25万の街です。当院は地域で唯一の総合病院機能を持つ中核病院であり、様々な疾患が多く集まります。診療科も27科と充実し、多くが学会研修認定を受けています。関連大学である東京医科歯科大学と連携した医療チームを形成し、これまで大きな成果をあげてきました。特に救急医療に力を入れており、内科系・小児科系・外科系・循環器内科系・脳神経外科が連日当直しており、毎年約5,000件以上の救急搬送を受け入れています。



研修責任者から



プログラム責任者
小澤 直子

当院では、研修医を当院で単独採用するほか、東京医科歯科大学の協力型病院として1年目2年目とも4人ずつ引き受けており、適切な人数での研修ができます。また、常勤医師数は病床数 (380床) に比べて多く、卒後7年目以上の医師も50人以上在籍しており、研修医に対し綿密な指導を行えるのも当院の強みです。臨床研修を通じてコモンな病態・疾患を幅広く経験できることも地域中核病院としての当院の魅力です。手術や各種検査も数多く行われており、年間で内視鏡検査及び治療は約5,000件、一般外来の手術は約700件実施されています。研修医のやる気と達成度により、消化器内視鏡、中心静脈穿刺、虫垂炎手術なども指導医のもとで行うことができますので、満足がいく研修ができると確信しています。

先輩研修医から



研修医1年目 **廣井 駿太**

当院の一番の魅力は、院内の全ての内科と外科を1年目のうちに研修出来る点です。幅広い疾患を早期に研修出来るため、当直にも学んだ知識を生かしやすいと思います。また、各診療科を1~3名程度で研修するため、手技や症例を豊富に経験出来ます。2年目では長い自由選択期間を利用して、1年目で興味を持った診療科を重点的に研修出来、専攻する診療科を重点的に決める一助になると考えています。是非一度当院に見学に来てみて下さい!

研修医1年目 **青木 翔太郎**



当院ではコモンな疾患を中心に多くの症例を経験することで、実臨床に根差した研修ができます。また、若い医師から経験豊富な医師までバランス良く在籍しているため、診療で浮かび上がる疑問について気軽に相談できます。内科の先生方が集まる内科カンファレンスでは、研修医に症例発表の機会が与えられます。知識を付けるだけでなく学会発表に生きる力も身に付けることができ、実のある研修となっています。

女性医師支援コーナー



草加市立病院では心臓・脳血管センター5階に院内保育室を設置し、医療スタッフの0歳から就学前までの乳幼児を保育しています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学：随時受入可能 (事前予約)。
 詳細は当院ホームページをご確認ください。

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 連絡先 | 草加市立病院 事務部経営管理課 |
| 住所 | 〒340-8560 埼玉県草加市草加2-21-1 |
| T E L | 048-946-2200 (代表) |
| F A X | 048-946-2211 |
| E-mail | soka-hosp2200@max.odn.ne.jp |
| U R L | http://www.soka-city-hospital.jp/ |
| アクセス | 東武スカイツリーライン 草加駅から徒歩18分、バス5分 |





14

医療法人財団健和会 みさと健和病院



卒後臨床研修評価機構認定病院

研修プログラムの 特色

みさと健和病院は大都市近郊の埼玉県三郷市にあり、第二次救急医療を担う中核的医療機関です。研修理念を「良識のある社会人、思いやりのある医療人としての成長を促す。将来の専門にかかわらず、医師としての基本的な診療能力と学習能力を習得できるように援助する」と掲げ、地域第一線医療機関でのプライマリケア、在宅医療の先駆的実践、総合診療を中心とした内科研修、必修としている整形外科研修、外来研修、往診研修などに力を入れています。三郷市は近くに大規模な医療機関が少ないこともあって、当院は老人はもちろん若年・婦人・小児をめぐる多様な疾患の医療を担っています。特に、第二次救急における当直研修などを通じて、救急疾患・外傷の初期対応の習得もできる事が特徴です。

医師数（研修医除く） 32名（うち指導医数19名）
病床数 282床
研修医数 1年目8名 2年目6名
昨年度マッチング受験者数 17名
研修医の主な出身大学 岩手医科大学、金沢医科大学、群馬大学、岐阜大学、慶応義塾大学、帝京大学、東海大学、東京医科歯科大学、東京女子医科大学、獨協医科大学、日本大学、広島大学、北京大学（五十音順）
診療科 内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、内分泌代謝科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、肛門外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、精神科、リハビリテーション科、麻酔科、消化器外科、救急科、病理診断科
1日平均外来患者数 720名
1日平均入院患者数 212.8名
主な認定施設 日本糖尿病学会認定教育施設、日本内分泌学会認定教育施設、日本腎臓学会研修施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設



卒後臨床研修 地域医療総合プログラム（募集定員8名）

| プログラム例 | 1～4週 | | 5～8週 | | 9～12週 | | 13～16週 | | 17～20週 | | 21～24週 | | 25～28週 | | 29～32週 | | 33～36週 | | 37～40週 | | 41～44週 | | 45～48週 | |
|--------|----------|-----------|-----------|--|----------|---------|-----------|--|--------|-----------|---------|--|--------|---------|--------|--|--------|-----------|--------|--|--------|--|--------|--|
| | 1年目 | 総合内科（2ヶ月） | | | | 外科（2ヶ月） | | | | 総合内科（4ヶ月） | | | | 救急（2ヶ月） | | | | 整形外科（2ヶ月） | | | | | | |
| 2年目 | 小児科（1ヶ月） | | 産婦人科（1ヶ月） | | 精神科（1ヶ月） | | 地域医療（3ヶ月） | | | | 選択（6ヶ月） | | | | | | | | | | | | | |

- ・ローテーションは順不同です。
- ・外来は年間を通して並行研修で行います。
- ・都市型中小病院での導入研修も選択できます。

必修科目（内科計6ヶ月、外科2ヶ月、整形外科2ヶ月、救急2ヶ月+急外来・当直研修4週、地域医療3ヶ月、小児科1ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月）

選択科目（上記科に加えて、総合内科、循環器内科、消化器内科、泌尿器科、麻酔科、臨床病理科）

研修医の 処遇

給与 1年次：355,050円/月、2年次：406,600円/月
 ※全て住宅・固定時間外手当込み
諸手当 賞与2回（基本給1ヶ月/回）、当直手当
 家族手当（最初の1名12,000円、以降1名につき8,000円）
保険 組合健保（東京医業健保組合）、厚生年金保険、雇用保険あり
 労災保険適用、厚生年金基金等企業年金なし
 医師賠償責任保険（病院において加入）
勤務時間 8時30分～17時30分
当直 あり（当直1～2回/月、17:00～19:00 残番2回/月）
休暇 日祭日、土曜日午後、土曜日午前は隔週で休み、月の指定休未消化の場合は平日休み（4週8休）、夏期休暇（5日間）、年末年始休暇（5日間）、年次有給（1年次10日・2年次14日）、時間有給休暇他あり
宿舎 希望者は病院徒歩2分の寮に入寮可
その他 給与は住宅・固定時間外手当込み。法人独自の共済制度あり、学会保障あり（費用：年間10万円まで、日数：年間7日まで）、採用された研修医に対し、月の給与額を上限として引越し料金を支給、働き方改革による処遇変更を検討中

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・松戸市立総合医療センター
- ・東京女子医科大学病院東医療センター
- ・柳原病院
- ・豊島病院
- ・東京都健康長寿医療センター
- ・グループ内医療機関多数

POINT! 当院の魅力

研修プログラムの特徴

1年目の総合内科の研修は連続して4ヶ月の研修を行うことで、入院から退院まで多くの症例を一連で経験することができます。

また、整形外科を必修としていますが、地域病院として腰痛や関節痛を訴える患者さんが多く、プライマリ・ケアの部分で今後の専門分野によらず、初期研修のうち2ヶ月は経験をしてほしい、との思いから必修として組み込んでいます。

2年目の地域医療研修は3ヶ月を必修とし、都内100床規模の協力型病院で地域に密着した研修として組み込んでおり、外来診療や訪問診療を通じてプライマリ・ケアを学ぶ機会としています。

外来研修は、1年次後半の8カ月と地域医療の3ヶ月で週1単位の外来枠を持つようにしているため、初診の患者さんや慢性疾患の管理を継続的に学ぶことができます。

研修指導の特徴として、指導専任の医師を配置しています。総合内科は週2回、救急は週1回、それぞれベッドフリーの指導専任医が指導にあたっています。指導医がベッドを受け持っている、どうしても忙しいタイミングなどで相談しにくい場面も出てきますが、指導専任医を配置することで、ショートプレゼンなどを通じてコンサルトを行ったり、じっくりと時間をかけて問題解決を行うことができます。



研修責任者 から



みさと健和病院院長
 初期研修プログラム責任者
岡村 博

私たちはずっと初期研修を大切にしてきました。1994年に臨床研修病院の指定をうけましたが、それ以前より研修医を受け入れてきました（私もその一人です）。当時、大学病院が主流の中、最小の病床数で指定を受けることができたのは、外来研修や往診研修など、地域に密着した医療そのものの研修が認められたのだと思います。研修制度に移行後、このような地域病院ならではの研修を大切にしつつ、必修科目を網羅するプログラムを作ってきました。

どんな医師になりたいのか、自分の進むべき方向を決める時期が初期研修期間であり、臨床研修病院はその手助けをするところです。初期研修の目標は医療技術の獲得だけではなく、チーム医療の実践、患者さん目線の思考、取り巻く環境への配慮など、bio-psycho-socialといわれる複合的な問題解決能力の獲得も含まれます。

地域の人たちの健康を守り、病める人たちの支えになりたいながら、実は自分たちも成長させてもらっているのです。臨床研修というものはずっと続いていくものであり、そういう視点を大切にしながら、常に on the job training の気持ちを持ち続けたいものです。

先輩研修医 から

外科医 **栗原 惇**

2019年度に当院初期研修を修了し、現在、外科専門医の資格取得を目標に日々頑張っています。

当院の初期研修ですが、病棟では診療科が細分化されていないため、総合診療内科として幅広い疾患を経験出来ます。1つの科で2カ月以上ローテートするため、自分のペースで確実に診療能力を身に付けることが出来るのも利点の一つです。鑑別疾患を挙げ、必要な検査を行い、治療方針を立て、実際に治療していくという一連の診療行為に対して、メディカルスタッフと共にチームの一員として携わることで、責任感を持って仕事に取り組むことが出来ます。とはいえ、何をやるにしても上級医がついているため必ずフォローをしてもらえますし、フィードバックがあるため確実にステップアップしていくことが出来ます。



医療過疎地の埼玉では、場に応じて適切な対応を行える医師が必要とされています。そんな医師を目指して私達と一緒に働いてみませんか？

女性医師 支援コーナー



子育て中の方は、当直や勤務時間についてはプログラム修了を目指して相談に応じます。

・院内保育…ここにこ保育園では、0～3歳児までのお子さんをお預かりできます。時差にも対応し、安心して働ける保育体制を整えています。

・病児保育…0～9歳までのお子さんをお預かりできます（感染症又は感染症疑いは除く）。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

当院は平日随時・希望内容応相談・交通&宿舎補助ありで受け入れています。まずは左記までお問い合わせください。

web研修説明会を平日の希望日時にて開催しています。詳しくはホームページをご覧ください。

| | |
|--------|---|
| 連絡先 | みさと健和病院 医局事務室 医学生担当 |
| 住所 | 〒341-8555 三郷市鷹野4-494-1 |
| T E L | 048-955-7171 (代表) |
| F A X | 048-948-0007 |
| E-mail | gakusei@kenwa.or.jp |
| U R L | http://gakusei.kenwa.or.jp/ |
| アクセス | JR/新成松戸駅よりバス12分、JR/京成金町駅よりバス15分、つくばエクスプレス三郷中央駅よりバス12分 |

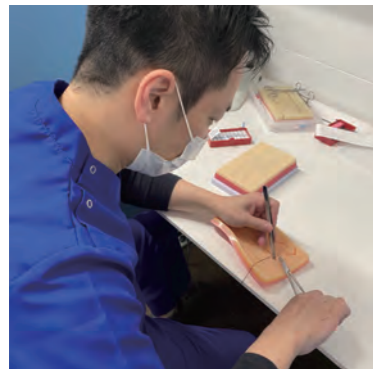




15

医療法人社団 愛友会 三郷中央総合病院 上尾中央内科グループ

研修プログラムの 特色



当院の臨床研修プログラムは、病院理念である『愛し愛される病院』に基づき、地域に開かれた患者中心の医療を推進する病院として、全ての臨床医に求められる医師としての基本的価値観及び医師としての使命の遂行に必要な資質、能力を習得することを目的としています。研修医は少人数制を採用し、指導医との距離が近く、様々な処置や手技を体験できるチャンスも豊富であり、実践的な研修を実施できることも当院のプログラムの特徴です。

主に1年次は必修科目（内科、外科、麻酔科、救急科）を中心に研修を実施し基本的な知識、技術、多職種とのチーム医療の必要性の修得を目指します。2年次には、協力医療機関（東邦大、上尾中央総合病院、柏厚生総合病院、三郷ケアセンター、永井マザーズホスピタル）での研修（地域医療、小児科、精神科、産婦人科）や、選択科目（泌尿器科、循環器内科、心臓血管外科、脳外科、整形外科、皮膚科）により研修医個々の目指す専門性に沿うよう可能な限り柔軟に対応をしています。

2年間の初期研修を通じて、人間的にも優秀な医師を育成することを第一に考えています。

三郷中央総合病院臨床研修プログラム（募集定員2名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 | |
|--------|----------|---------|---------|----------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|--|
| 1年目 | 内科（24週） | | | | | | 外科（4週） | 麻酔科（4週） | 選択（4週） | 救急（12週） | | | |
| 2年目 | 地域医療（4週） | 小児科（4週） | 精神科（4週） | 産婦人科（4週） | 選択（4週） | 選択（4週） | 選択（4週） | 選択（4週） | 選択（4週） | 選択（4週） | 選択（4週） | 選択（4週） | |

必修科目 内科（24週うち外来診療4週含む）、救急（12週）、外科（4週）、麻酔科（4週）、小児科（4週）、産婦人科（4週）、精神科（4週）、地域医療（4週）

選択必修 36週（内科、循環器内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）
※外科、小児科、産婦人科、精神科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、地域医療については、臨床協力病院にて研修可能。

研修医の 処遇

- 給与** 1年次：35万円/月 2年次：40万円/月（税込）
※固定時間外手当込み
- 諸手当** 当直手当
- 保険** 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、団体医師賠償責任保険
- 勤務時間** 月～金曜 9:00～17:30 土曜 9:00～13:00
- 当直** あり（3～4回/月）
- 休暇** 有給休暇（入職3ヵ月後：3日 6ヵ月後：7日 初年度10日支給）、その他特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業）
- 宿舎** あり。当院規定により補助あり。要事前相談。
- その他** 待遇：常勤。医療費見舞金制度あり。保養所（軽井沢・熱海・那須）利用可。病院保育所利用可。その他福利厚生制度あり。

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・東邦大学医療センター 大森病院
- ・東邦大学医療センター 大橋病院
- ・上尾中央総合病院
- ・柏厚生総合病院
- ・三郷ケアセンター
- ・永井マザーズホスピタル
- ・うつみ内科クリニック
- ・クリニックふれあい早稲田



優しさと思いやりのある 質の高い安全な医療の提供を目指して

当院は、埼玉県南東部に位置し、東京都、千葉県と隣接しており、東京都心から20km程の距離にあります。つくばエクスプレスの開通により、ベッドタウンとして近年急速に発展している三郷市の急性期医療の中核病院として、地域住民に貢献できる医療の提供を目標として35年間の歴史を重ねて参りました。

三郷市の基幹病院として18診療科を標榜し、病床数は289床（一般病床223床、回復期リハビリテーション病棟58床、ICU8床）、血液浄化センター（27床）となっております。急性期医療については、動脈硬化性疾患（狭心症、心筋梗塞、急性心不全、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血等）や腹部外科疾患（吐血、下血、急性腹症等）、並びに整形外科疾患（骨折、外傷等）に迅速に対応し、二次救急医療機関として夜間帯においては常に3～5科（内科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、循環器内科）の診療体制を整備しています。

ひとりひとりが質の高い医療の提供をする為に、高度な知識と技術を兼ね備えたメディカルスタッフの育成にも力を注ぎ、病院機能の充実や質の向上に積極的に取り組みます。



研修責任者 から

プログラム責任者
藤井 達也

当院の初期研修は、初期研修病院としては比較的小さい規模であることを活かした自由度の高いプログラムを特色としています。また、研修医が少ないため、指導医と研修医の垣根が低く、信頼関係を築きながら研修医が主体となってプライマリケアから救急医療、入院診療まできめ細かい指導を受けることができます。更に当院での研修に加え、大学病院や地域の中核病院、地元クリニック等が研修協力施設になっており2年間を通じて総合的な研修を行っています。医師としての第一歩を踏み出す若き研修医と共に育っていく病院でありたいと思っています。臨床での研修のみならず、学会や研修会への参加等、積極的にチャレンジする姿勢を全力でサポートいたします。まずはお気軽に病院見学にいらしてください。

先輩研修医 から

研修医2年目

当院の初期研修は一般症例に触れる機会が多く、実践的な研修を積みたい研修医には非常に魅力的です。当直研修は、来院された全患者の初期対応をおこないますので、幅広い疾患を経験することができます。指導医と共にひとつひとつの症例にじっくり向き合う事ができます。

まずは病院見学をしていただき、初期研修医と話をしながら当院の雰囲気を感じていただければと思います。

研修医2年目

当院の初期研修の特徴は、指導医の先生や2年目の研修医同士の距離が近く、困ったことやわからないことがあればすぐに質問することができることです。また、研修医は少人数の為、上級医の先生が各研修医の研修状況を把握していて、経験すべき症例や手技等は、研修医の実力に合わせて丁寧に指導する体制が整っています。そのため、日々自分の知識や技術が身についていることを実感できます。

まずはお気軽に病院見学にお越しください。当院の雰囲気の良さを実感して頂けると思います。

女性医師 支援コーナー



三郷中央総合病院では多くの女性医師が勤務しており、今後も活躍の場は増加していくと考えています。女性医師は、経験を積み更に輝けると思われる年代に結婚や出産、育児等のライフイベントを迎え退職を余儀なくされることもあります。その為、三郷中央総合病院では女性医師のキャリアアップを支援する体制を整備することが大切であると考えています。

当院では女性医師が安心して勤務できるように、短時間勤務制度、院内保育の設置、当直の免除等様々な支援を行っています。過去において、多くの女性研修医を採用し柔軟な対応により初期研修をサポートしてきました。安心して研修を実施できる環境がありますので、どうぞご安心ください。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は、随時受付しています。
下記連絡先までお電話をいただくか、E-mailにてお申込みください。医学生であれば、どなたでもお申込みいただけます。

| | |
|--------|---|
| 連絡先 | 三郷中央総合病院 臨床研修採用担当 |
| 住所 | 〒341-8526 三郷市中央四丁目5番地1 |
| TEL | 048-953-1321 (代表) |
| FAX | 048-952-7279 |
| E-mail | ishi-jinji@mchp.jp |
| URL | http://mchp.jp/ |
| アクセス | つくばエクスプレス線三郷中央駅から徒歩8分、JR武蔵野線 三郷駅から送迎バスにて10分 |





16

独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター



卒後臨床研修評価機構認定病院

研修プログラムの 特色

埼玉メディカルセンターにおける初期研修プログラムは、研修医に必要な基本的医学知識と技術を修得すると同時に、医師として望ましい態度と習慣を身につけること、能動的に診断、治療を行える能力を培うことを目的としています。1年次の内科では、呼吸器・循環器・膠原病・消化器・神経内科・内分泌・代謝・血液の内科4病棟をローテーションし、すべての内科疾患を経験します。各病棟では、それぞれの専門医・指導医に指導を受け、最新の知識を学びます。外科は食道、胃、大腸、肝・胆・膵、すべてに専門医、指導医がいます。手術数が多いので、毎日手術を受けることも可能です。麻酔科では、気管挿管などの手術や全身管理を学び、知識と技術のある程度身につけたうえで救急を行います。小児科、産婦人科、神経科、地域医療の研修について小児科では小児のプライマリ・ケアについて十分な研修を積めます。また、地域医療では、診療所で一般外来診療や在宅医療を学べるようになっています。

埼玉メディカルセンター臨床研修プログラム（募集定員6名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 | 49～52週 |
|--------|-----------|----------|----------|-----------|---------|--------|--------|----------|---------|----------|---------|----------|--------|
| 1年目 | 内科 (28週) | | | | | | | | 救急 (4週) | 麻酔科 (4週) | 外科 (4週) | 選択 (12週) | |
| 2年目 | 産婦人科 (4週) | 小児科 (4週) | 精神科 (4週) | 地域医療 (4週) | 救急 (8週) | | | 選択 (28週) | | | | | |

必修科目 内科28週、救急12週、麻酔科4週、外科4週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、地域医療4週

選択科目 自由選択40週

研修医の 処遇

給与 1年次：約45万円/月、2年次：約48万円
手当 賞与、時間外手当、休日手当、住宅手当、通勤手当
保険 組合健保（独立行政法人地域医療機能推進機構健康保険組合）
 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険あり
 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険（病院において加入）
勤務時間 8時30分～17時15分
当直 あり（約3回/月）
休暇 有給休暇（1年次：年15日、2年次：年20日）、
 土日、祝日、年末年始、夏季休暇
宿舎 なし
その他 研修医室あり

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- さいたま市立病院
- 埼玉協同病院
- 国立病院機構東埼玉病院
- 国立病院機構埼玉病院
- さいたま市民医療センター
- 埼玉精神神経センター
- 大宮厚生病院
- 浦和民主診療所
- JCHO 湯布院病院
- JCHO 高岡ふしき病院

POINT! 当院の魅力

多様な症例を経験し、 多職種の中での医師の基本的な姿勢を学ぶ

埼玉メディカルセンターは政令指定都市「さいたま市」の中核病院として395床を有する急性期医療中心の病院です。初代院長がかかげた「和の精神」をモットーに全職員一丸となって日々の職務に当たっています。各専門分野では常に最先端の医療を提供しながら、一方で、健康予防医療業務を担う健康管理センター、地域医療の緩衝地帯となる地域包括ケア病棟、その他、老人保健施設も併設しており、超高齢化社会に突入した地域の医療のニーズにも対応しています。1968年に臨床研修病院の指定を受け、以来若い医師の教育にも携わってきました。現在、内科系外科系とも多くの学会の認定教育施設を取得しており各分野の専門医が研修医の指導に当たっています。多様な症例を経験し基本的な知識と技術を習得するとともに、患者に寄り添う精神をはぐくみます。さらに、メディカルスタッフとの関わりを通して多職種の中での医師の基本的姿勢を学びます。

研修責任者 から



プログラム責任者
森本 二郎

毎年4月になると卒業したばかりのフレッシュな研修医がキラキラとした目で我々の前に登場します。我々指導医も身の引き締まる瞬間です。その研修医も2年の研修を終える頃には皆驚くほど成長し医師らしくなり、それは全ての病院職員にとって大きな喜びであります。研修医は2年間で、知識や技術、多職種との協調性など、非常に多くのことを学ぶ必要があります。当院の研修プログラムでは、それらを学ぶ機会を十分に提供し、選択期間は研修医の主体性を重視し希望に合わせて可能な限り柔軟に対応するよう心がけています。前向きで意欲のある皆様をお待ちしています。

先輩研修医 から

研修医1年目 井谷 善郎

当院の良さの一つとして研修プログラムが挙げられると思います。1年目の最初の半年間で内科を臓器別にローテーションすることでどの科に行っても必要となる土台が身に付けられます。また、1年目の秋以降のローテーションは自分で組めるので3年目以降の進路選択に役立つと思います。

一番の魅力は雰囲気良さですが、これは実際に見学に来て頂き肌で感じてもらいたいです。研修医一同皆さんを温かく迎え入れます。



研修医1年目 金 哲弘

4月より研修生活がはじまり8か月が経過しましたが、日々充実した研修生活を送ることができていると実感しております。診療科が幅広くそろっているため偏りのない研修を経験することができる点、上級医の先生方との距離がとても近く手厚い指導を受けることができる点がこの病院の強みであると考えております。

少しでも興味を持ってくれた方はぜひ一度見学にきてください。皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。



女性医師 支援コーナー

- 産前産後休暇
- 育児休業
- 育児短時間勤務制度
- 院内保育の設置
- 子の看護休暇（年間5日間）



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

随時病院見学を行っております。
 ZOOMでの説明会も第2・4木曜日の17:00～行っております。
 詳細についてはホームページをご覧ください。

| | |
|--------|----------------------------|
| 連絡先 | 埼玉メディカルセンター 総務企画課 |
| 住所 | 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和4-9-3 |
| T E L | 048-832-4951 (代表) |
| F A X | 048-833-7527 |
| E-mail | main@saitama.jcho.go.jp |
| U R L | http://saitama.jcho.go.jp |
| アクセス | JR京浜東北線 北浦和駅西口から徒歩3分 |





17

さいたま市立病院

医師数（研修医除く） 171名（うち指導医数52名）
病床数 637床
研修医数 1年目14名 2年目14名
昨年度マッチング受験者数 132名
研修医の主な出身大学 秋田大学、山形大学、群馬大学、筑波大学、埼玉医科大学、慶應義塾大学、順天堂大学、帝京大学、東京女子医科大学、千葉大学、新潟大学、愛媛大学、長崎大学、大分大学、琉球大学、金沢大学、日本大学、宮崎大学、山口大学
診療科 内科、消化器内科、呼吸器内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、新生児内科、外科、消化器外科、血管外科、呼吸器外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科、緩和ケア内科
1日平均外来患者数 1,051名
1日平均入院患者数 453名
主な認定施設 救命救急センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院

研修プログラムの特色



当院はさいたま市の基幹病院の1つであり、年間約7,000台の救急車の受入れを中心に、急性期医療、がん医療、周産期医療、地域連携（病診連携）に力を入れています。研修プログラムはプライマリ・ケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を身につけることを第一目標とし、さらに各自の到達度と希望に合わせて専門的知識、技術を習得できるよう柔軟なプログラムとなっています。一般コースの1年次は内科（26週）、救急（9週）、小児科（5週）、外科（4週）、麻酔科（4週）、産婦人科（4週）をローテートし、2年次は各自の希望に合わせた選択科を中心に内科、精神科、地域医療、救急をローテートします。2年間を通して内科系、外科系及び救命救急センターの日当直を行うことで、より実践的なトレーニングを積むことができます。また、研修医セミナーを毎週開催し、知識の整理や症例検討を行っています。その他、小児科希望者を対象とした小児科・成育医療コースを設けています。

さいたま市立病院初期臨床研修プログラム（一般コース／募集定員12名）

| プログラム例 | 1～4週 | | 5～8週 | | 9～12週 | | 13～16週 | | 17～20週 | | 21～24週 | | 25～28週 | | 29～32週 | | 33～36週 | | 37～40週 | | 41～44週 | | 45～48週 | | 49～52週 | |
|--------|------|--|------|--|-------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|
| | 内科 | | | | | | | | | | | | 救急 | | 小児科 | | 外科 | | 麻酔科 | | 産婦人科 | | | | | |
| 1年目 | 内科 | | | | | | | | | | | | 救急 | | 小児科 | | 外科 | | 麻酔科 | | 産婦人科 | | | | | |
| 2年目 | 内科 | | 精神科 | | 地域 | | 救急 | | 選択 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

内科：各専門科（循環器、呼吸器、消化器、脳神経、血液、腎臓・内分泌代謝）に分かれてローテートします。
地域医療：①石川県奥能登の4病院（珠洲市総合病院、公立宇津総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院）でのへき地医療研修、②近隣診療所（医療法人明医研ハーモニークリニック）での研修、のいずれかの選択となります。
精神科：当院及び埼玉県立精神医療センターで行います。
外来研修：内科（2年次）ローテーション中に1週、小児科ローテーション中に1週、外科ローテーション中に0.8週、地域ローテーション中に1.2週、それぞれ並行研修で行います。
その他 さいたま市立病院初期臨床研修プログラム（小児科・成育医療コース／募集定員2人）

研修医の処遇

給与 1年次336,748円/月、2年次354,728円/月（地域手当を含む）
諸手当 賞与支給あり、通勤手当、時間外手当
保険 健康保険（埼玉県市町村共済組合）年金（厚生年金）雇用保険あり 労災保険 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険（病院において加入なし）
勤務時間 8時30分～17時15分
当直 あり（5回程度/月）
休暇 年次有給休暇（年10日）、夏季休暇等
宿舎 なし
その他 職員用駐車場あり、定期健康診断あり、白衣・スクラブ支給あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・医療法人明医研ハーモニークリニック
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・珠洲市総合病院
- ・公立宇津総合病院
- ・市立輪島病院
- ・公立穴水総合病院

POINT! 当院の魅力

プライマリ・ケアを学ぶ！豊富で多彩な症例！ ～地域完結型医療の要として～

さいたま市立病院は、市民の皆様が安心して暮らせるさいたま市のシンボルとして、地域完結型医療の要となる病院です。人口133万人を有するさいたま市の基幹病院である当院は、プライマリ・ケアから各専門領域での高いレベルの医療まで幅広い医療サービスを提供しており、common disease から学会発表につながる稀な疾患まで豊富な症例を経験することができます。内科は消化器、循環器、脳神経、呼吸器、腎内分泌代謝、血液、膠原病、感染の各分野をカバーしており、外科は一般・血管外科、消化器外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科が高いレベルの手術を行っています。地域周産期母子医療センターを設置し周産期医療、小児医療にも力を入れています。救急医療では一次・二次救急に加え、令和2年12月に救命救急センターが開設され、幅広い疾患に対応しています。そのほか、緩和ケア病棟、精神科身体合併症病棟の設置など充実した医療設備を持ち、安心で安全な医療を提供しています。



研修責任者から



プログラム責任者
臨床研修管理委員長
神吉 秀明

当院の特徴は急性期病院であること、救急医療を重視していること、がん診療拠点病院であること、そして周産期医療を担っていることです。救急は一次と二次救急、救命救急センターがあり、救急車の受け入れ台数は年間約7,000台です。このような当院の診療内容は、初期臨床研修の目標であるcommon diseaseを多数経験し、primary careにおけるminimal requirementを習得するのにたいへん適しています。当院での2年間の研修により十分な臨床経験を積むことができ、医師としての基本的診療能力、姿勢や態度を身につけることができます。また、最新鋭の医療設備と医療機器が設置され、とくに救急医療の設備が充実しています。さいたま市立病院にはこのように臨床研修に必要な症例、設備、環境が整っています。医学生皆さん、さいたま市立病院で初期臨床研修をやりませんか。

先輩研修医から

研修医2年目 **安永 浩基**

当院のことでぜひお伝えしたいのは、「心地よい情熱を持った方が多い」ということです。どの科でも、私が困っていると上級医が優しく話かけて、一緒に解決策を考えてくださいます。そのため、自らアセスメントした内容を上級医に伝え、そのfeedbackをいただき、それを踏まえて次の一手を相談しながら考える、といったサイクルを繰り返しつつ知識を吸収していくことが可能です。当院は活発なコミュニケーションがしやすい環境が自然と築かれており、私自身も、研修医だから…と一歩引くのではなく、積極的にその輪の中に入っていき、患者の最善を目指して努力しています。



研修医2年目 **峯平 紗耶香**

当病院の上級医は教育熱心で優しい方たちばかりです。実臨床に役立つ知識を一から丁寧に教えてくれますし、まずは研修医からいろいろな手技をやらせてくれようとしてくださいます。自ら学びに行く積極的な姿勢だとより一層丁寧に教えてくれますが、最初に何もわからず戸惑っている中でも、「何か困っていることはない？」と気にかけてくださる先生が本当に多いと思います。私たち研修医が少しずつでも一歩一歩着実に前に進んでいるのは、病院全体として研修医を育てようとしてくださっている雰囲気のおかげだと思っています。



女性医師支援コーナー



- ・当院では0歳から6歳までの乳幼児を対象とした院内保育室を設置していますので、小さなお子様のいる方であっても働くことが可能です。
- ・年次有給休暇のほかに、出産休暇や小さなお子様のいる職員を対象とした保育時間などの特別休暇も整備されています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

・春休み、夏休みに病院説明会を開催しているほか、年間を通して個別病院見学を受け付けています。申込方法の詳細は当院ホームページ上に掲載しています。ホームページでは見学に際しての各診療科からのメッセージや研修医の声も掲載していますので、そちらも是非ご覧ください。

| | |
|--------|---|
| 連絡先 | さいたま市立病院 病院総務課 比嘉 巧 |
| 住所 | 〒336-8522 さいたま市緑区三室2460 |
| T E L | 048-873-4111 (代表) |
| F A X | 048-873-5451 |
| E-mail | hsp-jimukyoku-somu@city.saitama.lg.jp |
| U R L | https://www.city.saitama.jp/hospital/index.html |
| アクセス | J R北浦和駅からバス15分、浦和駅からバス20分、東浦和駅からバス20分 |





さいたま赤十字病院

18

研修プログラムの特色



- ・高度救命救急センターを併設しており、救急医療に関してより実践的な研修を行うことができます。
- ・選択研修期間が40週あり、可能な範囲で研修医の希望に沿って研修スケジュールを組むことができます。
- ・月に1度「研修医ミーティング」を開催し、プログラム責任者と研修医がそれぞれの研修状況について情報共有をします。不安な点や、改善して欲しい点など意見を出し合い、研修医たちの意見を反映したより良い研修環境を作ることができます。

さいたま赤十字病院臨床研修プログラム（募集定員15名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 | 49～52週 |
|--------|----------|----------|-----------|------------|------------|--------|-----------|------------|--------|-----------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科 (24週) | | | | 消化器外科 (8週) | | 選択必修 (4週) | 救急部門 (12週) | | 産婦人科 (4週) | | | |
| 2年目 | 小児科 (4週) | 精神科 (4週) | 地域医療 (4週) | 自由選択 (40週) | | | | | | | | | |

必修科目 内科24週（うち4週は総合臨床内科）、消化器外科8週、救急部門12週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、地域医療4週必修、選択必修4週：以下より1診療科選択（呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、形成外科）

選択科目 自由選択40週（消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、膠原病・リウマチ内科、腎臓内科、総合臨床内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、消化器外科、乳腺科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、緩和ケア診療科、救急科、検査部、病理診断科）

※当院では月単位での研修のため、研修期間に若干ずれが生じます。

研修医の処遇

- 給与** 1年次30万円/月 2年次35万円/月
諸手当 通勤手当、住宅手当、時間外手当、日当直手当、賞与（1年次10万円、2年次20万円）
保険 組合健保（埼玉県医師会健康保険組合） 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険適用 厚生年金基金等企業年金なし 医師賠償責任保険（病院において加入）※個人は任意
勤務時間 8時30分～17時00分
当直 あり（4回/月）
休暇 有給休暇（1年目：10日※入職から半年後に付与、2年目：11日）
宿舎 なし
その他 研修医室あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉県立小児医療センター
- ・埼玉精神神経センター
- ・特別養護老人ホーム ナーシングヴィラ与野
- ・高齢者総合福祉施設 敬寿園
- ・埼玉県赤十字血液センター
- ・埼玉県内保健所
- ・原町赤十字病院（群馬県）
- ・あきもと内科クリニック
- ・自治医科大学附属さいたま医療センター
- その他5施設

POINT! 当院の魅力

研修医の声を聞いてみました！

【プログラムを選んだ理由】

- ・コンディジーズから3次救急まで幅広く症例経験をできると思ったから。
- ・立地が良いから。
- ・手技の機会を多くいただけるため。
- ・研修医同士の仲が良く、雰囲気が良いから。
- ・各科バランスよく学べるから。 など

【当院研修での感想】

- ・オンとオフがしっかりしていて健康的に過ごすことができます。
- ・自分のやる気次第でたくさんのことを経験させてもらえます！
- ・楽しく充実した生活を送れています。研修も、人間関係も、プライベートもとても充実しています。
- ・自分のペースで研修ができるのでメリハリをつけられます。
- ・先生・コメディカルの方も優しくとても働きやすい。手技もやらせてもらえます。
- ・研修医の仲間はみんな優しく人当たりが良いので楽しく研修できます！ など

様々な意見がありますね！是非見学にお越しの上確かめていただけたらと思います。



研修責任者から



プログラム責任者
甲嶋 洋平

さいたま赤十字病院は、人口130万人のさいたま市の基幹病院として急性期から慢性期の医療を幅広く担っています。急性期では、3次救急患者さんに対応するため高度救命センター、riskの高い妊産婦さんに対応するため周産期センターがあります。またER体制をとっており、24時間積極的に患者さんの受け入れを行っております。慢性期では、がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院に認定されており、全科にわたり専門的に患者さんの診療にあたっています。当院は、プログラム基幹病院で独自のプログラムを擁しています。積極参加型の研修をモットーとしており、研修医の先生方自らが、指導医とともに患者さんの治療に取り組んでいます。また先輩研修医の後輩研修医への面倒見の良さが長年にわたり受け継がれております。心技体ともに充実した研修をお約束いたします。

先輩研修医から



研修医2年目 中谷 大輔

当院はさいたま市の基幹病院として急性期を中心に地域の医療を幅広く担っています。特徴として高度救命救急センターを有しており重症患者の初期対応や集中治療に関して学ぶことができます。また、ERでの診療は研修医主体で行いますが、指導医のフィードバックがあり必ず力になると思います。内科や外科に関しても診療科が幅広く揃っており、あらゆる疾患を経験できるのも当院の魅力です。ここでは語りきれない魅力が他にも沢山あるので、ぜひ一度見学に来てみてください！

研修医1年目 前島 利果

当院は急性期から慢性期の医療を幅広く担う、さいたま市の基幹病院です。上級医と一緒に研修医が自ら診療にあたる参加型の研修内容で、受診された患者様の鑑別診断から退院後のフォローまで、幅広く学ぶことができる充実したプログラムになっています。指導して下さる先生方は勿論のこと、職場の医療スタッフの皆さんも、熱心に、また優しく様々な知識や手技を教えてください。初期研修医は現在、計30名在籍しており、全国各地の大学から集い、垣根無く助け合って、切磋琢磨しながら有意義な研修を送っています。一度見学に来ていただいで、臨床現場とともに研修医の雰囲気を感じていただけたら幸いです。皆さんと一緒に働けることを心から楽しみにしています！



女性医師支援コーナー



- 妊娠・出産・育児のための支援制度等
- ・短時間勤務制度
 - ・院内保育の設置
 - ・当直免除
 - ・時間外勤務、深夜勤務の制限及び深夜勤務の免除
 - ・子の看護休暇（年間5日間）
 - ・出産祝金、育児休業復帰一時金
 - ・産前産後休暇、育児休暇
 - ・日本赤十字社は、職員の育児と仕事の両立を支援している企業として、次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」の認定を受けています。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学の申込方法

- ・当院ホームページに掲載
- ・見学希望の方はホームページからお申込ください。

| | |
|--------|----------------------------------|
| 連絡先 | さいたま赤十字病院 教育研修課 |
| 住所 | 〒330-8553 さいたま市中央区新都心1-5 |
| T E L | 048-852-1572 (直通) |
| F A X | 048-852-3120 |
| E-mail | kensyu@saitama-med.jrc.or.jp |
| U R L | http://www.saitama-med.jrc.or.jp |
| アクセス | JRさいたま新都心駅から徒歩4分、JR北与野駅から徒歩6分 |





19

自治医科大学附属 さいたま医療センター

研修プログラムの 特色

創立以来、総合医養成を主眼としたプログラムを全国でもいち早く取り入れ、一貫してスーパローテーション方式の研修実績を積み上げてきました。Common Diseaseの研修を決しておろそかにすることはなく、稀有な疾患や最先端の医療技術を駆使した高度医療を必要とする症例にいたるまで多彩な疾患の診療に当たっています。一般プログラムは、総合医学オープン、内科、外科、救急、外科系専門の5コースから選択できます。将来、皆さんが、どの専門診療科を専攻することになっても、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるように、医師としての人格を涵養し、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるための研修構成になっており、5つの特色があります。①厚生労働省指定の必修分野に加えて、麻酔科研修を必修としました。②全ての臓器別内科と総合診療科を研修します。③地域医療と一般外来を並行研修の8週間とし、Common diseaseの外来診療を十分に経験します。④研修期間を通じて週1回の救急研修を継続することで、初期診療能力の足腰を鍛えます。⑤オプションは、皆さんが希望する研修内容を個別に取り入れるように柔軟に対応します。豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します。



一般研修プログラム（募集定員 24名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 | 49～52週 |
|--------|-----------|-------------|----------|---------|---------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 1年目 | オリエンテーション | 救急(8週) | 内科(4週) | 内科(4週) | 内科(4週) | 内科(4週) | 内科(4週) | 内科(4週) | 内科(4週) | 内科(4週) | 内科(4週) | 内科(4週) | 外科(8週) |
| 2年目 | 精神科(4週) | 地域・一般外来(8週) | 産婦人科(4週) | 麻酔科(4週) | 小児科(4週) | オプションA(4週) | オプションA(4週) | オプションA(4週) | オプションA(4週) | オプションA(4週) | オプションA(4週) | オプションA(4週) | オプションA(4週) |

- ・ローテーションは順不同です。
- ・採用後に行うオリエンテーション終了後は、第2クールのローテーションでの研修を開始します。
- ・救急科はブロック研修に加え、週1回の日当直研修を通年で実施します。
- ・オプションAは自治医科大学附属さいたま医療センターの診療科から選択します。
（「総合医学オープンコース」以外のプログラム・コースには、協力病院での研修も選択できる「オプションB」の研修期間があります。

研修医の 処遇

給与 1年次：42万円/月、2年次：48万円/月（時間外手当を含む）
賞与（1年次：約42万円/年 2年次：約67万円/年）
諸手当 地域手当、日当直手当、時間外手当、期末手当
保険 日本私立学校振興・共済事業団（健康保険・年金） 雇用保険あり
労災保険 医師賠償責任保険（初期研修の2年間のみ）
勤務時間 8時30分～17時15分
但し、研修先の診療科等により前後することがある
当直 あり（約4回/月）
休暇 有給休暇（1年次：15日、2年次：20日）
土・日曜日、祝日、年末年始、夏期休暇等
宿舎 あり
その他

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・さいたま市民医療センター
- ・さいたま赤十字病院
- ・埼玉精神神経センター
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・大宮厚生病院
- ・自治医科大学附属病院
- ・秩父市立病院
- ・JCHO さいたま北部医療センター
- ・大宮双愛病院
- ・南魚沼市民病院

医師数（研修医除く） 292名（うち指導医数 95名）
病床数 628床
研修医数 1年目 30名 2年目 30名
昨年度マッチング受験者数 154名
研修医の主な出身大学 秋田大学、旭川医科大学、愛媛大学、金沢大学、北里大学、群馬大学、高知大学、埼玉医科大学、佐賀大学、滋賀医科大学、自治医科大学、順天堂大学、昭和大学、信州大学、聖マリアンナ医科大学、帝京大学、東京医科大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、東京大学、東邦大学、東北大学、獨協医科大学、新潟大学、日本大学、弘前大学、広島大学、福島県立医科大学、山形大学、山梨大学、横浜国立大学（五十音順）

診療科 総合診療科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、内分泌代謝科、血液科、リウマチ膠原病科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、放射線科、病理診断科、救急科、一般・消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、眼科、産婦人科、皮膚科、形成外科、麻酔科

1日平均外来患者数 1,549名
1日平均入院患者数 524名
主な認定施設 災害拠点病院、エイズ拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、救急救命センター、地域医療支援病院



当院の魅力

総合医療と専門医療の一体化とその実践を目指します

自治医科大学附属さいたま医療センターは、さいたま市及びその周辺を含む埼玉県中央部における中核医療施設として市民病的な役割を担っているとともに、大学病院として高度専門医療の提供も重要な責務としています。
開設当初は自治医科大学卒業生による総合診療の基幹病院としての役割と急性期循環器疾患に対する高度先進医療の提供を中心としておりましたが、現在では全ての専門分野において最先端の高度医療を提供する施設となりました。しかし、設立目的の1つである総合診療の実践と総合医の育成についての努力も脈々と続いており、大学病院では経験することの少ない所謂 Common Disease の診療も決しておろそかにすることはなく、また一方では大学病院として一般の市中病院では診られない稀有な疾患や最先端の技術を駆使した高度医療を必要とする症例に至るまでの多彩な疾患の診療にあたっております。
当センターでの研修は、長年の地域医療の経験に基づいた総合医療の基盤に立つ指導と、それに続く高度専門医療の研修を可能にしていることなど多くの特徴があります。中でもそれぞれの専門領域で第一線に立つ専門医が、本学の建学の精神に基づき、総合診療の重要性を理解してそれぞれの専門領域という壁を立てずに研修指導に当たっていることが最も大きな特徴です。
また、さらに良質な研修を提供できるように、意欲のある若い医師の期待に応える研修体制の改善に努力を続けております。
来年の春に皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



研修責任者 から



卒後臨床研修室長
大河原 晋

入職時には、シミュレーション、シャドーイング、電子カルテ、ICLSなどの実習からなるきめ細かなオリエンテーションがありますので、臨床研修を円滑に開始できます。ここに示した特色あるプログラムによって、「患者にとって最善をめざす総合医療」と「高度先進医療をめざす専門医療」の一体化とそれを実践する幅広い医学知識と技能を有し、深い人間性に基づいた優れた臨床能力を発揮できる医師を養成していきます。
これらの研修プログラムは、卒後3年目以降の専門研修プログラムとも連動しており、各専門医の取得だけでなく、大学院へ進学し、学位（医学博士）を取得することも可能です。
当センターの研修医は、全国から集まります。様々な情報を研修医間でも共有し、卒後臨床研修室との意見交換を通じて研修プログラムの見直しを行っています。
豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します。

先輩研修医 から



研修医 2年目 豊田 直毅
当センターの魅力は大学病院の専門性をもちながら common disease の経験値をつけられることだと思います。特に救急当直では研修医 1年目と2年目がペアになって first touch で対応しているので先輩研修医や経験豊富な救急科ドクターから教えてもらいながら実践の力が身につけられます。また研修医同士の仲が良く、勉強熱心な人が多いので、至る所で自主的な勉強会が開催されています。当直で経験した症例の復習や気になるテーマを気軽に同期とディスカッションしている時間は非常に充実感があり、本当にこの病院にきてよかったと感じています。

研修医 2年目 中田 雄也
研修医は2学年合わせて60人おり、全国各地から集まっています。学閥がないため居心地がよく、身近に研修医がいるのでお互いに励ましあい、切磋琢磨し合いながら研修することが出来ます。週に1回の総合回診に加え、各自で積極的に勉強会も開催しているので高いモチベーションを保つのに最適な環境です。病棟では週1回程度の分担制で処置当番があり、私が1年目の慣れない時期は2年目の先輩方に何度も助けて頂きました。救急外来でも多くの手技の経験が可能です。いきなり1人で手技を経験するのはなく身近に頼れる先輩方がいるのも当センターの魅力であると思います。

女性医師 支援コーナー



次世代を担う医師のキャリア形成が出産・育児等により中断されることがないように就業継続のための短時間勤務制度があります。全職員対象の育児短時間勤務（所定勤務時間内において30分単位で2時間まで勤務時間を短縮）と、医師対象の短時間勤務（週20時間勤務。午前・午後をそれぞれ4時間とし、週20時間になるよう組合せ）があります。2022年10月1日現在も9名の女性医師が短時間勤務制度を利用しています。また、職員の子の育児を支援するため、院内保育所、病児保育所を設けています。更に、育児中は（申請により）当直についても配慮しています。また、センター一丸となって、「医師の働き方改革」に取り組んでいます。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- * オンライン説明会を実施しております。
 - * 病院見学は随時受け付けています。
- 当センターホームページ（卒後臨床研修室のページ）をご覧ください。

| | |
|--------|---|
| 連絡先 | 自治医科大学附属さいたま医療センター 卒後臨床研修室 |
| 住所 | 〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847 |
| TEL | 048-648-5225（直通） |
| FAX | 048-648-5166 |
| E-mail | rinshoukenshu2@omiya.jichi.ac.jp |
| URL | https://www.jichi.ac.jp/center/learn/sotsugo/kengaku.html |
| アクセス | JR大宮駅東口からバスで約10分 |





20

医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター 上尾中央医科グループ

研修プログラムの 特色

当院では、初期研修の2年間は、将来どの専攻分野に進んでも困らないよう、基本的な臨床能力を習得する期間としています。厚生労働省が定める到達目標をこの2年間で達成し、「3年目に独り立ちできること」をスローガンとしています。専門医になったときの能力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われております。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと考えております。

常勤医師のほとんどが指導医であり、指導医をはじめ科全体、病院全体で研修医を育てる充実した指導体制をとっております。救急ローテート時や日当直では、ファーストタッチから一連の検査オーダー、診断までを研修医が主体的に行います。もちろん指導医や上級医がしっかりサポート・指導をしてくれますので安心して研修に臨むことができ、3年目独り立ちに向けて臨床能力を養うことができます。また、2020年度より必須となった産婦人科・小児科・精神科・地域医療については、専門的な知識を十分に経験できる施設と連携しています。



彩の国東大宮メディカルセンター初期臨床研修プログラム（募集定員7名）

| プログラム例 | 1年目 | 内科(24週以上) | | | | | | | | | | 救急(8週・2ヶ月) | 麻酔(8週・2ヶ月) (当院必修) | |
|--------|-----|-------------------|------------------|-------------------|------------------|--------|---------|----------------------|--------|--------|--------|------------|----------------------|--------|
| | | 地域医療(4週) ※外来研修 | 小児科(4週) ※外来研修 | 産婦人科(4週) ※外部研修 | 精神科(4週) ※外部研修 | 救急(4週) | 調整月(4週) | 自由選択科目 ※1科につき最長12週まで | | | | | | |
| | | 1~4週 | 5~8週 | 9~12週 | 13~16週 | 17~20週 | 21~24週 | 25~28週 | 29~32週 | 33~36週 | 37~40週 | 41~44週 | 45~48週 | 49~52週 |

必修科目 内科 24週（内科、消化器内科、循環器内科）、救急科 12週、外科 8週、麻酔科 8週、地域医療 4週（外来 4週）、精神科 4週、小児科 4週（外来 4週）、産婦人科 4週、調整科 4週（必修科目の達成度、日数不足分の調整）

選択科目 自由選択 24週（内科、消化器内科、循環器内科、救急科、外科、麻酔科、放射線科、整形外科、泌尿器科、脳外科、リウマチ科、血液内科、緩和ケア内科、皮膚科、病理診断科）

※産婦人科、小児科、精神科、地域医療については、連携病院との調整 ※自由選択は、1科につき最長12週まで ※外来研修は内科・小児科・地域医療にて対応

研修医の 処遇

- 給与** 1年次 45万円 / 2年次 50万円（月額）
- 手当** 当直手当 1万5千円 / 1年次 2万5千円 / 2年次 日勤手当 1万円 / 1年次 1万5千円 / 2年次
- 保険** 協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間** ①月～金 9時～17時30分 / 土 9時～13時（隔週）
②月～金 9時～18時
- 当直** 月最大4回まで（土日枠もあり）
- 休暇** 土曜隔週、日曜、祝祭日、年末年始（12/30午後から1/3迄）有給休暇（1年次：10日 / 2年次：11日）
- 宿舎** 住宅貸与、家賃補助有（5万円まで/月）
- その他** 学会・研修会等参加の費用負担あり（8万円/年）3回/年（公休扱い）、医療費見舞金制度（月3万円まで）、保養所、院内旅行、その他

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・小池内科クリニック（地域医療）
- ・平戸市民病院（長崎・地域医療）
- ・秩父市立病院（地域医療）
- ・大宮厚生病院（精神科）
- ・上尾中央総合病院（小児科・産婦人科）
- ・埼玉医科大学総合医療センター（小児科・産婦人科）
- ・越谷市立病院（小児科・産婦人科）
- ・国立病院機構埼玉病院（小児科）
- ・自治医科大学附属さいたま医療センター（産婦人科）
- ・国立病院機構西埼玉中央病院（産婦人科）
- 他

医師数（研修医除く） 72名（うち指導医数 47名）

病床数 337床

研修医数 1年目7名 2年目8名

昨年度マッチング受験者数 62名

研修医の主な出身大学 獨協医科大学、東京慈恵会医科大学、昭和大学、杏林大学、秋田大学、山形大学、群馬大学、千葉大学、東京医科歯科大学、金沢大学、富山大学、信州大学、大阪大学、長崎大学

診療科 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、脳神経内科、腎臓内科、糖尿病・代謝内科、血液内科、リウマチ科、緩和ケア内科、外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、臨床腫瘍科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科、歯科口腔外科

1日平均外来患者数 535名

1日平均入院患者数 272名

主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、日本麻酔科学会認定研修施設、日本内科学会認定教育関連病院、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設



3年目の独り立ちを目指して

①救急部での幅広い症例経験

新病院移転後、急性期対応型に進化した救急部は、救急搬送患者を年間約5,000件受け入れています。1次、2次救急を中心に、小児科・産科以外の患者すべての受け入れを目指しています。救急部の研修では、「3年目に独り立ちできていること」を強く意識し、様々な疾患の初期対応をファーストタッチから経験できます。

②指導医だけではなく、診療科全体、多職種によるサポート

当院では、マンツーマンの指導体制を取っていますが、指導医だけではなく、診療科全体で研修医を育てる体制となっており、幅広い指導が受けられます。

各科診療科の連携が良く、看護師、薬剤師、リハビリ、事務職など、病院全体で研修医の成長をサポートします。

③ off the job training のサポートも充実

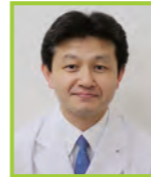
モーニングレクチャー、ランチョンセミナー、院内学会、EBMセミナーなど、各種開催

④メンター医師制度の確立、センター長面接

初期研修医3～4人に1人の常勤医師を配置し、皆様のメンタルヘルスケアのみならず、多くの指導医が専門分野だけでなく、初期研修医の日常に接することで、臨床研修センター自体の活性化を図っていきます。また定期的なセンター長との個人面談で、研修進捗の確認や今後の進路などについても相談できる体制です。



研修責任者 から



プログラム責任者
長田 秀夫

当院の様々な取り組みの一端をご紹介します。
1. 「挨拶をする」「時間を守る」「約束を守る」「協力する」

医師として成長していく上で非常に重要な要素の1つと考えております。医師である前に、社会人としての常識は当然備えていなければなりません。当たり前のことを自然にできるように指導しております。

2. チーフレジデントの選出
院内の各種部会への参加、研修医の意見・要望のとりまとめ、初期研修医採用試験の面接官の一員等々、上から与えられてこずのみではなく、自ら考え行動し、自分達のみならず未来の後輩たちも更により良い研修をできるように活動していく中心的役割を担います。

3. 学会発表などのプレゼンテーション教育
皆様には2年間の研修中、多くのプレゼンテーションを実施する機会が与えられます。特に院内学会やランチョンでは専門科の枠を超えて院内常勤医や他職種が集い、様々な質疑応答を経験することができます。研修終了時にはスライド作成、プレゼンテーション能力が十分身につくように指導に力を入れております。

4. 各診療科の研修内容のフィードバック
時代や環境の変化とともに、研修メニューや指導医の考え方も柔軟な対応が要求されます。各診療科部長には皆様も参加する臨床研修委員会等を通じ、研修内容のフィードバックや改善など随時お願いしております。そして当院の柱の1つである救急科（2次救急、年間5,000件程度）の現場で common disease を中心にして幅広い分野の疾患、外傷などの初期対応能力を習得して頂きます。

未来に向けてまだまだ新たな取り組みを導入したり、改善していく所存です。
一緒に頑張りましょう!!

先輩研修医 から

研修医 1年目 金谷 美穂

4月初め、オリエンテーション開始です。当院では職種別だけでなく、全職種合同のオリエンテーションの時間が多く確保されています。そこで、研修医同期はもちろんですが、他職種の入職同期との交流を深めることができ、それはその後の働きやすさに大いに関係してくると感じました。というのも、医学部という閉鎖的な環境に慣れていた私にとって、他職種と気兼ねなく関わること＝かなりハードルが高い!という印象がありました。しかし、このオリエンテーションを経て、入職同期だけではなく院内スタッフの方々と積極的に交流し、働きやすい環境を作り出すことができたことと実感しています。



研修医 1年目 三浦 悠平

当院では研修医がファーストタッチを行い、診察や検査、アセスメントやコンサルトに至るまで、救急外来で行われる診療の全てに関わることができます。もちろん私たちは指導医の先生の判断のもとで動くのですが、当院の救急では「3年目の4月に独り立ち」をテーマにしており、先生は私たちに付かず離れずの距離感で見守ってくださいます。最初はそれがとても怖く、逃げ出したいと思ったこともありましたが、そのおかげで今は研修当初に比べて落ち着いて対応できるようになってきたと感じています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

随時開催（通常見学・オンライン見学）

病院HPの応募フォームからお申込みください。
研修医へのQ & A、研修医からの動画メッセージ、病院動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。

| | |
|--------|--------------------------------|
| 連絡先 | 彩の国東大宮メディカルセンター 臨床研修センター 野口 |
| 住所 | 〒331-8577 さいたま市北区土呂町1522 |
| TEL | 048-665-6111(代表) |
| FAX | 048-665-6112 |
| E-mail | kenshui@shmc.jp |
| URL | https://www.shmc.jp/index.html |
| アクセス | JR宇都宮線 土呂駅から徒歩11分 |





21

社会医療法人 さいたま市民医療センター

研修プログラムの 特色

深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリ・ケア能力を修得した医師養成を目指しています。年間入院患者数 6,000 名以上、2 次救急外来患者数は約 5,000 名と幅広い豊富な患者数に支えられ多様な疾患の経験ができます。さらに総合的な視野を有する各専門領域のサブスペシャリティの指導医を備えていることも当院の特徴です。特に当院では大学病院では経験できない、都会型の地域医療に密着した内科、外科、小児科、整形外科、脳外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科疾患を経験できます。放射線科、病理診断科における診断学研修レベルは高度で、これらの特色をもとに、将来あらゆる領域のキャリア形成にも対応可能な多能性医師養成プログラムを提供します。内科系のみならず外科系領域においても総合医マインドを備えた臨床研修（内科系、外科系ジェネラリスト）プログラムでプロフェッショナル医師を養成します。

さいたま市民医療センター初期臨床研修プログラム（募集定員 8 名）

| プログラム例 | 1 年目 | 2 年目 |
|--------|------|---------------|
| 1 年目 | オリエン | 救急 |
| 2 年目 | 小児科 | 産婦人科 精神科 地域医療 |
| | | 選択必修 |
| | | 選択科目 |

内科 24 週、救急 12 週、外科 8 週、外科系診療科 4 週、小児科 12 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週を研修する。外科系診療科 4 週については、外科、麻酔科、整形外科、脳卒中・脳神経センター、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科のうち 1 科を選択する。選択科目については 4 週を 1 クールとするローテーション方式とする。一般外来研修に関しては内科・外科・小児科研修中に総合診療外来を週 1 回 1 日で並行研修（4 週以上）を行う。地域医療については原則として 2 年次に研修を行う。

研修医の 処遇

給与 1 年次：40.7 万円／月（当直手当含）賞与 76 万円／年（実績）、
2 年次：46.3 万円（当直手当含）／月 賞与 152 万円／年（実績）
諸手当 宿日直手当、時間外手当
保険 埼玉県医師会健康保険組合 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険
厚生年金基金等企業年金なし
医師賠償責任保険（病院において加入）
勤務時間 8 時 30 分～17 時 30 分
当直 あり（4 回／月）
休暇 日曜・祝日・有給休暇・夏季・年末年始休暇
宿舎 あり
その他

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・埼玉精神神経センター
- ・さいたま市立病院
- ・南魚沼市立病院
- ・さいたま北部医療センター
- ・小笠原村診療所
- ・明医研ハーモニッククリニック
- ・丸山記念総合病院

医師数（研修医除く） 72 名（うち指導医数 24 名）

病床数 340 床

研修医数 1 年目 6 名 2 年目 6 名

昨年度マッチング受験者数 56 名

研修医の主な出身大学 群馬大学、埼玉医科大学、日本医科大学、大分大学、熊本大学、東京医科大学、富山大学、東北医科薬科大学、信州大学、秋田大学

診療科 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、アレルギー科、内科（化学療法）、外科（化学療法）、麻酔科、救急科

1 日平均外来患者数 341.8 名

1 日平均入院患者数 230.2 名

主な認定施設 地域医療支援型病院、日本内科学会認定制度教育関連病院、がん診療指定病院、外科医専門医制度修練施設、災害拠点病院、日本脳卒中学会研修教育病院



当院の魅力

専門診療と総合診療が融合した指導体制で ”軸”になれる医師を育成します

当院は医療需要が増加している「さいたま医療圏」の地域医療支援病院であり、地域医療の司令塔としての役割を担っています。年間 5,000 台の救急搬送、かかりつけ医からの紹介、そして大学病院との連携で超急性期から回復期までを担当し、患者さんを住み慣れた自宅や施設などに復帰させています。それを実現するために、我々は専門診療を縦糸、総合診療を横糸に見立て、縦糸と横糸で織りなす布が患者を包み込むようなイメージを描き診療しています。具体的には内科系診療科を細分せず、救急総合診療科が内科の主軸となり臓器別専門科がそれをサポートする体制で運営しています。毎朝、全医師が集結し新入院患者の治療方針を議論し各患者に適した主治医団を結成しています。複雑かつ複数の疾患を抱えた高齢者には理想的な臨床決定プロセスであり、毎日欠かさず行っていることが我々の誇りです。朝カンファレンスでは各臓器別専門医から update された情報を毎日得ることができます。臨床医として地域医療に貢献していきたい医師にとっては理想的な教育環境といえます。

研修責任者 から



プログラム責任者
坪井 謙

当院の臨床研修プログラムは深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリ・ケアの臨床能力を発揮する医師育成を目指しています。「病気」「けが」「こども」に対して、まず「診る」ことができるジェネラリストとしての医師を育てる研修を提供しています。また、大学病院では経験できない地域に密着した医療を体験できます。そのため、どの専門医プログラムに行っても通用する土台を築くことができ、必ず皆さんの将来的キャリア構築に役立つと思います。豊富な臨床経験を持つ指導医に加え、各科の垣根も低いため、病院内のどこでも気軽に相談できる環境になっています。こんな病院と一緒に働いてみたい人、待っています。

先輩研修医 から

研修医 2 年目 久保 隆盛

皆さんが初期研修で求めるものは何でしょうか？救急車の台数？手技の獲得？私が求めるものは『主体的に患者と関わられるか』でした。当院のような中規模病院であれば、自ずと研修医に任せてもらえる仕事が多くなり、責任も増えます。困ったときには必ず上級医の先生方がフィードバックをしてくれ、教育的に指導してくれる環境があります。内科では当直を含め週 3 回も救急に触れる機会があり、小児科では小児救急の件数が多く様々な疾患を診察でき、外科では他院よりもローテーション期間が長いことから、術者として執刀もさせてくれます。ぜひ当院で患者をしっかりと診ることができる医師への第一歩を踏み出しませんか？



研修医 2 年目 越川 美翔

当院では外科・小児科の長期間（8 週間を超える）研修があり、志望科に関わらず医師として必要な基礎力を培うことができます。また、内科研修の 9 か月間を通して週 1 回の一般外来と 2 回の救急外来を担当するため、継続して外来診療を経験できることも当院の特徴です。入院後は、上級医の指導の下、主治医に準じる形で、多職種と連携しながら退院までのマネジメントに当たります。退院後の外来フォローを自分で担当することも可能です。1 人の患者さんの初療から入院、退院まで、責任を持って診る力が身に付きます。generalist を目指す方におすすめの病院です。



女性医師 支援コーナー

- ・短時間勤務制度
- ・院内保育の設置
- ・当直免除
- ・女性特有の事情に合わせた勤務体系を構築することによりライフステージに合わせた働き方を選択できるようにしています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付（申し込みは当院 HP より）

| | |
|--------|----------------------------------|
| 連絡先 | 社会医療法人 さいたま市民医療センター 総務課 佐藤・並木 |
| 住所 | 〒331-0054 埼玉県さいたま市西区島根299-1 |
| T E L | 048-626-0011 (代表) |
| F A X | 048-799-5146 |
| E-mail | soumu@scmc.or.jp |
| U R L | http://www.scmc.or.jp |
| アクセス | 大宮駅西口よりバス約20分 |





22

医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院 上尾中央医療グループ

研修プログラム の特色



今後数十年の医師としての人生を歩んで行くことをふまえ、医師としてのプロフェッショナルリズムに多角的な視点で気づくこと、そしてそれを自分のものとするを主眼としたプログラムです。そのために総合診療科研修・救急科研修 & 当直研修・地域医療研修を3本の柱とし、自ら責任をもって医療を行う姿勢を重視しています。総合診療科では主治医と同等の立場で診療を行うことで、医師の責任の重さや決断の難しさを学びます。救急科・当直研修では2年間にわたって搬送患者のファーストタッチを行い、どのような状況であっても冷静にかつ適切に判断する力を磨いていきます。地域医療研修を北海道・岡山県・鹿児島県などで行うへき地・離島研修としていることは当院の研修の特にユニークな点です。地域の医療ニーズ、訪問診療などの地域に密着した医療、医療資源の少ない地域での医療の特徴を学び、さらに異なる環境での研修を通じ医師としての自信を深めるチャンスとなります。

上尾中央総合病院臨床研修プログラム (募集定員 19名)

| | 1~4週 | 5~8週 | 9~12週 | 13~16週 | 17~20週 | 21~24週 | 25~28週 | 29~32週 | 33~36週 | 37~40週 | 41~44週 | 45~48週 |
|-----|--|---------|----------|------------|----------|--------|---------------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科系(糖尿病内科・血液内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・脳神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科)から2科以上選択 ※総合診療科は12週必修(24週) | | | | | | 救急部門(12週) | | 麻酔科(8週) | | 外科(4週) | |
| 2年目 | 外科(4週) | 小児科(4週) | 産婦人科(4週) | 地域医療(4週)※1 | 精神(4週)※2 | | 選択期間(24週~28週) | | | | | |

必修科目 内科系24週、救急科12週、麻酔科8週、外科8週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週
選択科目 24週~28週(糖尿病内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、病理診断科、地域研修)

※当院で決めた必修科目の外科については、4週は外科を必須として4週については外科系(外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻いんこう科、泌尿器科)の中から選択できることとする。

※1 地域研修は必修4週、選択4週まで(合計8週選択可能)

※2 精神科研修は埼玉県立精神医療センターで実施する。

研修医の 処遇

給与 1年次: 40万円/月 2年次: 43万円/月
手当 当直手当、日勤手当
保険 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険適用、厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険(病院において加入)
勤務時間 9:00~17:30
当直 あり(4回程度/月)
休暇 有給休暇(入職3カ月後:3日 6カ月後:7日 初年度:10日支給) その他(特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業)
宿舎 あり:当院規定(5万円を上限として、家賃半分を支給する※上尾市内市内在住限定)
その他 処遇:常勤、健康診断:年2回、医師賠償責任保険:病院において加入・個人加入は任意、学会・研究会等への参加:可、参加費用支給有、医療費見舞金制度、24時間保育園、保養所(軽井沢/那須/熱海)、院内旅行、その他

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- 埼玉県立精神医療センター
- 医療法人 徳洲会 徳之島徳洲会病院
- 医療法人 徳洲会 日高徳洲会病院
- 医療法人 徳洲会 帯広徳洲会病院
- 医療法人 徳洲会 与論徳洲会病院
- 医療法人 徳洲会 石垣島徳洲会病院
- 社会医療法人 緑社会 金田病院
- 小豆島中央病院
- 社会医療法人 哲西会 哲西町診療所
- 市立輪島病院 他

医師数(研修医除く) 248名(うち指導医数105名)

病床数 733床

研修医数 1年目19名 2年目18名

昨年度マッチング受験者数 95名

研修医の主な出身大学 北海道大学、旭川医科大学、札幌医科大学、弘前大学、秋田大学、岩手医科大学、山形大学、東北大学、福島県立医科大学、東京医科歯科大学、東京医科大学、東京女子医科大学、日本医科大学、東京慈恵会医科大学、東邦大学、帝京大学、順天堂大学、杏林大学、日本大学、昭和大学、埼玉医科大学、獨協医科大学、聖マリアンナ医科大学、北里大学、東海大学、群馬大学、山梨大学、筑波大学、新潟大学、金沢大学、富山大学、福井大学、浜松医科大学、名古屋大学、名古屋市立大学、信州大学、藤田保健衛生大学、近畿大学、滋賀医科大学、三重大学、川崎医科大学、島根大学、徳島大学、産業医科大学、大分大学、熊本大学、佐賀大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、瀋陽大学、Shahid Beheshti University

診療科 内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、糖尿病内科、膠原病内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、呼吸器腫瘍内科、肝臓内科、アレルギー疾患内科、感染症内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、心療内科、小児科、産婦人科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、肝臓外科、乳腺外科、呼吸器外科、気管食道外科、肛門外科、内視鏡外科、小児外科、泌尿器科、女性泌尿器科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、眼科、形成外科、美容外科、皮膚科、麻酔科、救急科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、総合診療科(院内標榜) 臨床遺伝科(院内標榜)

1日平均外来患者数 1,471.60名

1日平均入院患者数 576.5名

主な認定施設 地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院、ロボット心臓手術実施施設、ダヴィンチ手術症例見学施設(前立腺摘出術、膀胱全摘除術、ロボット支援下膵頭十二指腸切除術、ロボット支援下膀胱尾部切除術)、埼玉 DMAT 指定病院、他

POINT! 当院の魅力

『自立』『責任』『信頼』

当院の初期臨床研修のキーワードです。医師としての基盤となる3つの資質を身につけ、伸ばすことを約束するプログラムです。

『自立』救急外来では年間約7,000台の救急車を研修医たちがファーストタッチで捌きます。

指導医は裏方の役目に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。

『責任』総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任せられます。

治療方針の決定やICも研修医の仕事です。甘えは許されません。

『信頼』地域医療研修では自ら外来枠をもちます。

患者さんひとりひとりと密接な関係性を構築することが求められます。

◎「ほどほど」「そこそこ」という研修を求めています。「徹底的に」学んでください。サポートもしっかり行います。

臨床研修管理委員会とは別に臨床研修指導者委員会を設置し、5~10年目の若手医師、看護師、メディカルスタッフが研修医ひとりひとりに目を向けて研修の様子をいつも見守っています。



研修責任者 から



プログラム責任者
黒沢 祥浩

当院の研修医たちのゴールは「たくましさ」です。未来の自分が、どのような苦境にも負けることなく、周囲からの信頼を得て医療を遂行するためのスキルです。そして、それは生涯にわたって彼らを助けてくれることでしょう。

私たち指導医は彼らの「たくましさ」の獲得を援助します。「自ら考え行動する」という研修医の姿勢を見守り、ときに手を差し伸べるのが私たちの大切な役割です。研修医たちはもがきながら多くを学び、成長し、そして答えをみつけたときに達成感と明日へのモチベーションが生まれていきます。救急科研修でくじかれ、総合診療科研修で悩み、離島へき地研修で新たな発見をしていく。ダイナミックな研修プログラムです。

先輩研修医 から



研修医 1年目 鮎井 千佳乃

「自分もこんな先輩方のように自分で考え動く研修医になりたい!」学生の時に上尾中央総合病院の救急見学で一人前の医師として患者さんの治療にあたる研修医の先生を見て強く思い、自分もこの病院で働きたいと思ったことが当院を志望した理由でした。マッチングでの採用の通知が来た時は非常に嬉しく、自分も先輩のようにバリバリ働く研修医になるぞと意気込み、働き始める日を心待ちにしていました。しかし、採用して頂いて働き始めて1ヶ月が経った時点では大分みなさんと同じようにその想像は大きく打ち砕かれました。医学的な知識はおろか、病棟のオーダーやカルテの使い方も戸惑い時間がかかってしまい、上級医や先輩研修医の足を引っ張っていることに日々自省する毎日を送っていました。

ただ、こんな私に対しても「自分も働き始めの時は何もわからなかったし気になっていいよ。」といった優しい声や、「焦らなくても大丈夫。2年間かけて医師としての基本を学んでいってもらえるよう指導するから大丈夫だよ。」という励ましの声に毎日救われています。当院の研修では研修医が率先して手技や診察を行う体制であるため環境としてはどちらかといえばハードなものであると思います。しかしながら優しく教え導いてくださる上級医や、困ったことに対して親身に相談のってくださる先輩研修医、そして個性豊かなが皆熱意を持って日々励まし支え合いながら切磋琢磨していきける同期に囲まれた環境でもあります。この恵まれた環境で日々着々と研鑽を積み重ねていけばきっと良い一人前の医療者となれどと確信しています。これからの研修医生活で大きな壁に直面し、挫折や無力感を感じることはきっと何度か訪れると思います。一つ一つつらりと向き合って乗り越えて、より良い研修医、ひいては一人前の医師となれるよう日々頑張っていきたいと思っています。医師としての最初の2年間をこの病院で歩み始めたいと思います。

研修医 1年目 石井 佳大

「この病院で初期研修をすれば、こんなカッコイイ医師になれるのか。」一医学科6年次、当院を見学した際に、初期研修医の先輩の方々が機軸縦横に動き動く姿を見て、自分が思ったことです。自分も先輩方のような医師を目指すべく、期待胸を躍らせながらこの病院に入職しました。入職してから1ヶ月、胸の高鳴りは止むことを知りませんが、同時に、自分の不甲斐なさに愕然とする時間もとても増えました。この病院では、救急科で初期研修医がファーストタッチし、内科では自分の患者さんを持ち、病態管理を担当したりなど、初期研修医の裁量はとても大きいですが、それに合った責任が必要となります。一つできることが増える、できないことが十あることを知り、その度に、上級医や看護師を頼ってばかりで、悔しさの中で一日が終わることも少なくありません。

当然のことですが、能動的に勉強し、積極的に診療に参加する姿勢が、初期研修医としてステップアップするためには必要不可欠です。刻一刻と変化する現場において、臨機応変に対応し、患者さんの不安や苦痛を取り除くべく、治療に当たることのできる、「カッコイイ医師」になるためには努力を欠くことはできないのです。初期研修医として当院のよいところを自分が一番に挙げれば、そのような姿勢を持っている同期の仲間が、18人もいることです。またその仲間は全国各地から入職してくるので、医学科6年間で学んだ千差万別の知識を共有し、ディスカッションしながら、切磋琢磨して医療に従事することができます。辛いことは多々ありますが、このような仲間と共に歩むことで乗り越えることができるだろうと感じています。「明日も仕事か。」入職してからしばらく、毎夜毎夜そう思いながら眠りについていました。ただ、この前できなかったことが今では少しずつできるようになり、確実に先月の自分より一歩成長している実感を味わえてきています。最近では、この日々の微細な成長に、自分の向上心を掻き立てられ、毎夜毎夜「明日も頑張ろう。」と思うように変化してきました。これから幾度となく、壁にぶち当たるとは思いますが、その度、この素晴らしい環境で、素晴らしい仲間と、「カッコイイ医師」を目指し、日々精進していきます。



女性医師 支援コーナー



当院では、女性医師の働きやすい環境を整えるため、以下の規定があり、ひとりひとりの研修医にそれぞれの働きやすい環境を提供できるようにサポートします。

- 妊産婦への配慮 -
- 【妊娠中】母体保護の観点から、妊婦中の研修医は原則として当直研修を行わない。ただし、本人より当直以外の時間外勤務の希望があれば臨床研修センター長 および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、土曜日の午後や日祝日の日中等に研修を行っても良いこととする。
- 【育児中】育児中の当直は研修医および児の状況を勘案し、臨床研修センター長および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、当直研修実施の有無および回数を決することとする。
- ・短時間勤務制度・院内保育の設置・当直免除
- ※ 実績あり。現在も当院で勤務しています。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【見学】ホームページ上の初期臨床研修、見学申し込みはフォームよりお申込みください。
【2023年度・初期臨床研修プログラム 説明会】2023年3月25日(土) 14:00~17:00(予定)
※医学生もご参加いただけますのでお気軽にお問い合わせください。

| | |
|--------|-----------------------------|
| 連絡先 | 上尾中央総合病院 人事課 秘書係(臨床研修担当) |
| 住所 | 〒362-8588 埼玉県上尾市柏座1-10-10 |
| TEL | 048-773-1111(代表) |
| FAX | 048-773-2952 |
| E-mail | ishi_jinji@ach.or.jp |
| URL | http://www.ach.or.jp |
| アクセス | JR高崎線 上尾駅西口より徒歩3分 |





23

北里大学メディカルセンター

医師数(研修医除く) 82名(うち指導医数25名)
 病床数 372床
 研修医数 1年目8名 2年目6名
 昨年度マッチング受験者数 41名
 研修医の主な出身大学 北里大学、名古屋大学、信州大学、獨協医科大学、秋田大学、新潟大学、日本大学、中国大連医科大学
 診療科 内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科(全27科)
 1日平均外来患者数 684.6名
 1日平均入院患者数 213.9名
 主な認定施設 災害拠点病院、埼玉DMAT・埼玉SMART(特別機動援助隊)指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、地域医療支援病院 ほか

研修プログラムの特色



臨床研修医が2年間に習得する必要がある「臨床研修の到達目標」を満たすとともに、各診療科の臨床研修の到達目標を定め研修医による自己評価と指導医による評価を行い適切、かつ、高質な研修を提供できるよう配慮しています。また、少人数制による密度の高い指導体制を敷いています。
 専門分化した医療技術を習得する前段階として、全人的な初期治療のできる臨床医を育成することを目標としており、特にプライマリ・ケアに重きを置き、救急医療疾患に広く対処できるような医師を目指します。また、法人の取り組みとしてのチーム医療教育ができるプログラムです。
 2年次には自由選択枠があり、将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自で組み立てることができます。

北里大学メディカルセンター臨床研修プログラム(募集定員8名)

| プログラム例 | 1~4週 | 5~8週 | 9~12週 | 13~16週 | 17~20週 | 21~24週 | 25~28週 | 29~32週 | 33~36週 | 37~40週 | 41~44週 | 45~48週 | 49~52週 |
|--------|--------------|------|-------|--------|--------|--------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科(外来研修8週含む) | | | | | | 救急(うち麻酔科4週) | 麻酔科 | 外科 | 産婦人科 | 小児科 | | |
| 2年目 | 精神科 | 自由選択 | | | | | | | | | 地域医療 | | |

《1年次》内科24週、救急部門12週(うち麻酔科4週)、麻酔科(4週)、外科(4週)、産婦人科(4週)、小児科(4週)
 《2年次》精神科(4週)、地域医療(4週)、自由選択(40週)
 自由選択枠については、当院を含め北里大学病院、北里大学北里研究所病院及び東京ベイ浦安市川医療センターの各診療科において、希望の診療科と調整の上決定します。将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自選択することができます。

研修医の処遇

給与 1年次 約300,000円/月 2年次 約330,000円/月
 諸手当 時間外手当、住宅手当、宿日直手当、救急手当等
 保険 組合健保(私学共済)、共済組合(長期給付)、雇用保険あり、労災保険・公務災害適用、厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険(病院において加入しているが個人でも強制加入)
 勤務時間 8:30~17:00
 当直 あり(3~4回/月)
 休暇 有給休暇(1年次:12日、2年次:16日)
 宿舎 あり
 その他 奨励金:年2回支給 1年次 約100,000円 2年次 400,000円

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 北里大学病院
- 北里大学 北里研究所病院
- 埼玉県済生会鴻巣病院
- 東京ベイ・浦安市川医療センター
- 渡辺医院
- サンビレッジクリニック鴻巣
- 春日部在宅診療所ウエルネス

POINT! 当院の魅力

スキルアップ支援とコミュニケーションの充実

当院では医師を中心に様々なメディカルスタッフの協力により、研修医のスキルアップに重要な勉強会を多数開催しています。職種間の垣根も低いので多職種とのコミュニケーションがとりやすい環境です。

- 例) 輸液療法・ルート・ポンプの扱い方(主催:看護部)
- 日本肝癌研究会提唱の肝細胞癌診断アルゴリズム(主催:放射線部)
- 検査技師による採血指導、血液像の読み方(主催:検査部)・・・等々

また、全診療科が同じ医局を使用しており、そこに研修医の机を配置することで、診療科の垣根を越えたコミュニケーションがとりやすい環境です。上級医との信頼関係も築きやすく、「相談しやすい・コミュニケーションがとりやすい」と研修医から好評です。医局とは別に「臨床研修医室」も設けているため研修医だけの環境もあり、適宜自分の時間を確保できるよう配慮しています。



研修責任者から



臨床研修センター長
長場 泰

大学病院 VS 市中病院、多くの医学生がまず最初に悩むことです。北里大学メディカルセンター(地域支援病院)は、埼玉県県央地区の中核的医療施設として機能しており、北里大学の分院として、大学病院(特定機能病院、相模原市)と北里研究所病院(都市型救急病院、東京白金)との連携を行い大学病院的な医療と地域医療をバランスよく研修することが可能なプログラムを提供しています。3病院の自由選択期間(2年目の6か月間)を設けることにより、プライマリケアから高度先進医療まで、希望する研修を行うことが可能です。また北里大学は薬学部、看護学部、医療衛生学部などを有する医療系総合大学であり診療科や職種を超えたチーム医療を重視しています。「市中病院も大学病院もどちらも経験できる研修プログラム」そんなうまい話かと思ったあなた、ぜひ当院へ見学に来てください。

先輩研修医から

研修医1年目 井上 真希

私が北里大学メディカルセンターで初期研修をしていて魅力と感じている点は研修医が少人数なので個人の能力や性格に合った研修が行えるところです。自分に合った学び方で臨床現場に必要な知識を身につけながら判断力を磨くことができます。また、当院は市中病院ではありますが上級医の先生方は大学からいらっしやっている方も多いため基本的なことから専門的な最新治療までご指導頂ける環境です。北里大学の系列ということもあり3年目以降の進路も幅広く選択できるのでぜひ一度見学にいらしてください。



研修医1年目 藤野 真子

当院の特徴は市中病院と大学病院のいい所を両方経験できる点です。1年目は地域に根付いた中規模病院である当院でcommon diseaseをしっかりと学ぶことができます。指導体制も厚く、また1学年が少人数であるため、一人一人への指導がとても充実しています。一方2年目は神奈川県にある北里大学病院での研修を選択でき、大学病院における最先端医療を学ぶことができます。市中病院及び大学病院での初期研修にはそれぞれメリット、デメリットがありますが、当院のプログラムでは両方のいい所取りができるものとなっています。少しでも興味がありましたら、ぜひ見学にいらしてください。当院の良いところを感じていただけたらと思います。



女性医師支援コーナー



保育園「オレンジハウス」
 豊かな自然環境を背景に自由保育思想を取り入れ、のびのびと子供の個性を育む保育園「オレンジハウス」。
 子供の成長に合わせた教育システムや多彩な年間行事も充実。仕事と家庭生活の両立を図る当院スタッフの力強い支えとなっています。
 夜勤の仕事に携わる職員の要請に応じ、週2回の夜間保育も実施。安心して仕事が継続できるよう、バックアップ体制も万全です。
 ・病児保育室あり 定員:3名

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

※病院見学 随時受付中です。
 いつでもお気軽にご連絡下さい。

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 連絡先 | 北里大学メディカルセンター 人事課 人事・教育研修係 |
| 住所 | 〒364-8501 北本市荒井6-100 |
| T E L | 048-593-1215(人事課直通) |
| F A X | 048-593-1239 |
| E-mail | k-rinsho@kitasato-u.ac.jp |
| U R L | http://www.kitasato-u.ac.jp/kmc-hp/ |
| アクセス | JR高崎線北本駅からバス約15分位 |





24

小川赤十字病院

医師数（研修医除く） 30名（うち指導医数10名）
病床数 302床
研修医数 1年目2名 2年目1名
昨年度マッチング受験者数 3名
研修医の主な出身大学 宮崎大学、日本医科大学、聖マリアンナ医科大学、群馬大学、昭和大学、東北大学、杏林大学、千葉大学、東京大学、帝京大学
診療科 内科、循環器科、呼吸器科、リウマチ科、神経内科、血液内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、精神科、外科、乳腺・内分泌外科、消化器科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科
1日平均外来患者数 374名
1日平均入院患者数 176名
主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、地域医療支援病院、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本リウマチ学会教育施設、日本血液学会認定血液研修施設

研修プログラムの特色



地域の中核的な役割を担う公的病院であり、初診から最終転帰に至るまで当院で一貫して診察を行うケースも多く、全人的な医療、プライマリ・ケアを研修することに適している環境にあります。赤十字病院として災害救護訓練を行っています。1年目は内科、外科の研修にて基礎力を磨き、2年目は研修医の希望により柔軟な対応が可能となっております。小川赤十字病院での臨床研修の目標は、赤十字の使命である「人道」に基づき展開される全人的医療を行う中で、医療機関・医師の社会的役割について十分な認識を深め、将来にわたり必要となってくる基本的診療能力（知識・技能・基本的態度）及び医師としての人格の涵養です。

小川赤十字病院医師臨床研修プログラム（募集定員3名）

| プログラム例 | 1～4週 | | 5～8週 | | 9～12週 | | 13～16週 | | 17～20週 | | 21～24週 | | 25～28週 | | 29～32週 | | 33～36週 | | 37～40週 | | 41～44週 | | 45～48週 | | 49～52週 | | | | | |
|--------|----------|----------|-----------|---------|----------|-----------|---------|--|--------|--|--------|--|----------|---------|-----------|--|--------|--|-----------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--|--|--|--|
| | 1年目 | 内科 (24週) | | | | | | | | | | | 精神科 (8週) | 外科 (8週) | 選択科 (12週) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年目 | 選択科 (4週) | 小児科 (4週) | 産婦人科 (4週) | 救急 (8週) | 麻酔科 (4週) | 地域医療 (4週) | 外来 (4週) | | | | | | | | | | | | 選択科 (20週) | | | | | | | | | | | |

地域医療はさつき内科クリニック、大野クリニックから選択する。
 必修科目のうち小児科、産婦人科、救急医療（うち8週）、精神科は埼玉医科大学病院で実施する。
 選択科目はリウマチ科、循環器、消化器、内分泌・糖尿病、神経、血液、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、地域保健（日本赤十字社埼玉県支部特別養護老人ホームひなた荘、小川町保健センター）から選択する。

研修医の処遇

給与 1年次：約40万円/月、2年次：約45万円/月
 賞与別途支給あり
諸手当 時間外手当、当直手当、通勤手当、住居手当（賃貸の場合）、勤労手当（年2回）
保険 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険、厚生年金基金等企業年金なし、医師賠償責任保険（病院において加入）
勤務時間 月～金 8時30分～17時15分
当直 あり（3～4/月）
休暇 有給休暇（1年次：年15日、2年次：年21日）、夏季休暇
宿舎 なし（家賃補助あり最大28,500円/月）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院
- ・小川町保健センター
- ・特別養護老人ホームひなた荘
- ・さつき内科クリニック
- ・大野クリニック

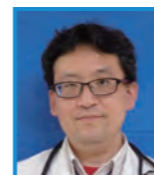


地域に密着した医療

小川赤十字病院は埼玉県西部に位置し、病棟からは外秩父が一望できる緑豊かな環境に立地しております。
 昭和14年に開設されて以来、80年以上の歴史を通じて、地域に密着した医療を続けてきました。急性期医療及び二次救急を中心としておりますが、周辺医療機関との連携や訪問看護にも取り組んでおります。
 また、赤十字病院として、救護班（医療チーム）を被災地へ派遣するなど、災害に備えた体制を整え、定期的な災害救護訓練も実施しております。



研修責任者から



臨床研修委員長
吉田 佳弘

地域の中核病院で積極的、意欲的に臨床研修をしたいと考えている方を歓迎します。全人的な医療、プライマリ・ケアの研修により幅広い臨床能力を身につけることができるはずです。災害救護のトレーニングも可能です。
 小川赤十字病院の研修プログラムは、選択枠が広く、研修医の方の希望にそうことができます。また、救急医療・産婦人科・小児科・精神科は埼玉医科大学病院での研修になります。各専門分野の指導医、専門医が揃っておりますので、ぜひ一度見学において下さい。

先輩研修医から

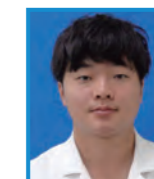
研修医2年目 阿部 幹也

当院は西部の埼玉県比企郡の中核病院として機能しています。1年目は内科を中心に病棟業務などを学びました。2年目にかけては埼玉医大で産婦人科などの研修を行いました。別の医療機関で研修を行うことで視野を広げることができました。また、少人数なので整形外科、麻酔科を交えて研修を行うなど、診療科が柔軟に設定できました。勉強の時間も確保できるので、のびのびと研修を行いたい方に適した病院だと思います。ぜひ一度見学にお越しください。



研修医1年目 沼尻 克貴

小川赤十字病院は高齢化が進んでいる比企郡の中核病院として機能しています。当院の1年目で行う内科研修では心不全、失神、肺炎等の重要疾患を経験でき、また担当患者さんを持ち、問診や身体所見をとったり、指導医の先生と相談して治療方針を考えたり、中心静脈穿刺や経鼻胃管といったような手技も経験できます。空き時間もあるため自分で勉強する時間もあります。また生活面では小川町は山々に囲まれ、自然豊かで温泉などもあり、ゆったりと生活することができると思います。ぜひ一度見学にお越しください。



女性医師支援コーナー

- ・産休・育休
- ・出産祝金（在職2年目以降）
- ・育児短時間勤務
- ・時差出勤、時間外勤務の制限、深夜勤務の免除、所定労働時間を超えない勤務
- ・子の看護休暇



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けております。日程を調整させていただきますので、総務課あて電話またはメールにて連絡をお願いします。

| | |
|--------|----------------------------|
| 連絡先 | 小川赤十字病院 総務課 |
| 住所 | 〒355-0397 埼玉県比企郡小川町小川1525 |
| T E L | 0493-72-2333 (代表) |
| F A X | 0493-72-2755 |
| E-mail | jinji@ogawa.jrc.or.jp |
| U R L | http://www.ogawa.jrc.or.jp |
| アクセス | 東武東上線・JR八高線 小川町駅 徒歩15分 |





25

社会医療法人社団 新都市医療研究会〔関越〕会 関越病院

研修プログラムの 特色



昭和49年に開院以来、地域密着医療を行ってきた急性期病院です。診療する疾患は多岐に渡ります。関越病院の理念と方針の下、1次・2次救急医療を昼夜問わずに行っています。また慢性期疾患の外来診療及び訪問診療も充実しており、地域に幅広く貢献しています。このような特徴を持つ当院の臨床研修プログラムは、地域医療を担う病院で遭遇するあらゆる疾患のプライマリ・ケアに必要な基本的な知識、技術の習得と、社会人であり、また医師であることの心構えと態度を身につけることを目的とします。研修の根幹は「多彩で豊富な症例」で研修すること。指導方針は「指導医とのマンツーマン教育」であり、実際の診療を繰り返し経験し、知識・技術を習得します。診療は「チーム医療」であり、様々な職種のパベラン職員との触れ合いは人間性を磨く絶好の機会です。

関越病院 医師臨床研修プログラム（募集定員4名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 | 49～52週 |
|--------|------------|------|-------------|--------|-------------|--------|------------|------------|-------------|--------------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科 (26.2週) | | | | | | 精神科 (4.4週) | 小児科 (4.4週) | 産婦人科 (4.4週) | 救急部門 (12.6週) | | | |
| 2年目 | 外科系 (13週) | | 地域医療 (4.4週) | | 選択科 (33.6週) | | | | | | | | |

※外科系は外科、整形外科、泌尿器科を各4週研修します。（計12週）

※地域医療研修は外来研修も含め4.4週、選択科は外来研修（0.5日/週）を含め33.6週となります。

※2年目に保健・医療行政研修が1週入ります。

研修医の 処遇

給与 1年次：40万円（税込）、2年次：45万円（税込）、賞与あり
 手当 当直・日直手当、食事手当
 保険 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
 勤務時間 8時30分～17時30分（実働8時間）
 当直 あり（4回程度/月）
 休暇 有給休暇 1年目：10日 2年目：11日
 宿舎 あり（病院より半径2km以内）
 その他 福利厚生：宿泊施設（湯沢、河口湖）あり
 提携しているスポーツジム利用可
 365日保育可能な保育園完備

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院（小児科・産婦人科・神経精神科）
- ・埼玉医科大学総合医療センター（小児科・産婦人科・神経精神科）
- ・関越クリニック（地域医療）
- ・南町クリニック（地域医療）
- ・関越腎クリニック（地域医療）
- ・埼玉県内保健所（保健・医療行政）

医師数（研修医除く） 27名（うち指導医数13名）

病床数 229床

研修医数 1年目4名 2年目3名

昨年度マッチング受検者数 18名

研修医の主な出身大学 北里大学、鹿児島大学、徳島大学、東京医科大学、信州大学、佐賀大学、日本医科大学、埼玉医科大学、昭和大学、大阪医科大学、筑波大学、琉球大学、鳥取大学、帝京大学、産業医科大学、高知大学、群馬大学、島根大学、日本大学、山形大学、大分大学、弘前大学、京都府立医科大学、山口大学、浜松医科大学、北海道大学、杏林大学

診療科 内科、外科、整形外科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、リウマチ科、アレルギー科、形成外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、脳神経外科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病内科、神経内科、人工透析内科、救急科、眼科、麻酔科

1日平均外来患者数 451.1名

1日平均入院患者数 157.7名

主な認定施設 日本内科学会認定教育関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本泌尿器科学会関連教育施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定施設など



当院の魅力

令和元年新病院がオープンしました！

当院では建物の老朽化に伴い、平成27年7月から全面的な建替工事を行っていましたが、令和元年9月に全ての工事が終了し、フルオープンを迎えました。ER部門や手術室、ICUの整備を行い、患者さんの療養環境を整えると共に医師をはじめとする職員の働く環境の改善に配慮して改築を行いました。新病院では職員用のラウンジを設置したり、地域の医療機関や福祉施設との連携を更に強化し、患者さんやそのご家族・地域関係者のご要望に幅広くお応えするために患者支援センターを新設しました。今まで以上に地域の医療介護に携わる皆様と共に連携をしっかりと行い、地域のために役立てるよう努めております。



ANYTIME. ANYWHERE. ANYONE. 5'55"
<https://www.kan-etsu-hp.ne.jp/movie>

研修責任者 から



プログラム責任者
松田 香

なぜ医師になろうと思ったか初めの気持ちを思い出してみませんか。

当院では急性期医療を担う地域の病院として、よくある疾患を経験しながら、見逃してはいけない疾患を見分ける研修が出来ます。特に当直ではどの医師も一般診療に当たりますので共に様々な経験をしましょう。

また、院内の医療チームのカンファへの参加や、勉強会を通して力をつけていく機会もあります。患者さんはご高齢で様々な背景を持っている方が多くあり、退院に向けての多職種を通してのマネジメントが必要です。その中で医療チームとしての医師の役割を実感しましょう。

2年間の研修の中で、学生時代にはないダイナミックな経験をしながら、コミュニケーション力、バランス感覚も身につきます。

初めの気持ちを行動に移すため、長い職業人生のスタートを私達と歩み出しましょう。

お待ちしております。

先輩研修医 から



研修医1年目 森谷 健慈

当院の研修の魅力は、指導医によるマンツーマンでの指導です。自ら積極的に動けば興味関心に応じた手技や経験を積むことができますし、または研修で学んだことを噛み砕く時間を確保した、メリハリのある研修を受けることも可能です。また症例勉強会やエコー手技の勉強会なども開かれるため、スキルアップの機会にも恵まれています。

当院は地域の急性期医療を担う病院であり、いわゆるコモディティーズへの対応力を養いながら着実に成長していける環境が揃っています。

研修医1年目 縄田 晴美

当院ではチーム体制とは別にマンツーマンで指導医がつきます。自分の知識も経験も十分ではない中、その時々で後ろから見守っていただけるのはもちろん、気になったことを尋ねにいくと臨床における思考過程のフィードバックがいただけます。主体性を重んじ、一つ一つの症例について腰を据えて深く勉強する時間もあります。個々人の抱える多疾患や服薬、多様な生活自立度といった背景を俯瞰し、地域社会への橋渡しを習得する機会に恵まれています。研修医の数が多いため積極性がないと経験できないような手技も、同期が少ないため手を挙げやすいです。



女性医師 支援コーナー



当院では、女性・男性分け隔てなく、仕事と家庭の両立する職員の支援を積極的に進めております。主な支援策として、①365日保育可能な保育園を敷地内に完備。平日だけでなく日直の時にもご利用いただいております。②産前産後休暇や育児休暇、復帰後の短時間勤務③日当直の免除もしくは制限の3点が対応可能となっております。またご家族の事情を勘案した働き方も相談の上、勤務を決定することも出来ます。病院見学時には保育園の見学も可能ですので、是非お申し出ください。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

当院では、初回は基本水曜日で病院見学を開催しており、学生の皆様のご都合に可能な限り合わせた形で行っております。連絡先の電話もしくはメールにてお申込み下さい。尚、病院見学が面接受験の条件となりますので、皆様のお問い合わせをお待ちしております。

| 連絡先 | 関越病院 |
|--------|--|
| 住所 | 〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市脚折145-1 |
| T E L | 049-227-6900（直通） |
| F A X | 049-286-7462 |
| E-mail | recruit@kan-etsu-hospital.or.jp |
| U R L | http://www.kan-etsu-hp.ne.jp/hospital/ |
| アクセス | 東武東上線坂戸駅下車 南口より徒歩13分 |





埼玉医科大学病院

研修プログラムの特色

3病院自由選択プログラムは、ローテーションする診療科を選択する際、自由度が高く、研修医の希望を最大限に取り入れることが出来る当院で最も人気のあるプログラムで、それぞれ特色を持つ3つの大学病院（総ベッド数2,500床）の診療科で自由に研修を行うことができる、オーダーメイドプログラムです。研究マインド育成自由選択プログラムは、3病院自由選択プログラムと臨床研修内容は同じですが、研修を行うと同時に大学院に入学し、大学院生としての講義、研究を行う充実したプログラムです。総合医育成広域連携病院自由選択プログラムは、総合医を目指す研修医に適したプログラムです。バランスよく診療科を経験でき、プライマリケア医としての対応能力に優れた総合医の育成を目指します。周産期・産科医療専門医自由選択プログラムは、将来周産期医療・産科医療を専攻する希望のある研修医を対象に、自由選択期間を最大限に活用した特別プログラムです。将来の専門医取得にも有利な、より専門的指導を行います。外科系プログラムは、外科専門医取得に重点をおき消化器外科は必須として心臓外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科での研修を選択できるプログラムです。今後の専門医に向けた後期研修にスムーズに移行できるプログラムを目指しています。

埼玉医科大学3病院自由選択プログラム（募集定員38名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 | 49～52週 |
|--------|----------|----------|-----------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|----------|--------|--------|
| 1年目 | 導入研修(4週) | 内科(24週) | | | | 救急(12週) | | | 外科(4週) | 小児科(4週) | 産婦人科(4週) | | |
| 2年目 | 精神科(4週) | 地域医療(4週) | 自由選択(44週) | | | | | | | | | | |

必修研修として内科24週、救急部門12週（4週を麻酔科へ変更可）、外科、産婦人科、小児科、精神科各々4週、2年目で地域医療研修4週、それ以外の44週は自由選択研修。研修開始4週（導入研修）および研修最終の4週は埼玉医科大学病院にて研修とする。

その他 埼玉医科大学研究マインド育成自由選択プログラム（定員5名）、埼玉医科大学総合医育成広域連携病院自由選択プログラム（定員6名）、埼玉医科大学周産期・産科医療専門医自由選択プログラム（定員4名）、埼玉医科大学病院外科系プログラム（定員2名）

研修医の処遇

- 給与** 給与：36万円/月（基本給25万円、諸手当、賞与含む平均月額給与）
賞与：前年度実績50万円/年
- 諸手当** 日・当直手当、時間外手当、住宅手当、通勤手当、扶養手当
- 保険** 日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険、労災保険、医師賠償保険（個人加入、義務）
- 勤務時間** 原則8時30分～17時30分
- 当直** あり（平均4回/月）（診療科により多少異なります）
- 休暇** 9日/月、有給休暇（1年次：10日、2年次：11日）
- 宿舎** あり（月額2万円、補助あり）
- その他** 白衣貸与（クリーニングは病院負担）、研修医個人専用の机・ロッカー、仮眠室・シャワールーム（男女別）、電子カルテ、共有PC（インターネット接続可能）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 【協力型臨床研修病院】**
 - ・埼玉医科大学病院群
 - ・埼玉県立小児医療センター
 - ・さいたま赤十字病院 他
- 【臨床研修協力施設】**
 - ・丸木記念福祉メディカルセンター
 - ・新渡戸記念中野総合病院（東京都）
 - ・たむら記念病院（千葉県）
 - ・大川原脳神経外科病院（北海道）
 - ・長崎県富江病院
 - ・鹿児島県南さつま市立坊津病院
 - ・沖縄県立八重山病院 他

医師数（研修医除く） 442名（うち指導医数142名）

病床数 965床

研修医数 1年目27名 2年目23名

昨年度マッチング受験者数 91名

研修医の主な出身大学 埼玉医科大学、岩手医科大学、山形大学、杏林大学、東邦大学、金沢医科大学、中国医科大学、東海大学、帝京大学、秋田大学、大分大学、愛知医科大学

診療科 血液内科、リウマチ膠原病科、呼吸器内科、消化器内科・肝臓内科、内分泌内科・糖尿病内科、脳神経内科・脳卒中内科、腎臓内科、総合診療内科、感染症科・感染制御科、消化器・一般外科、乳腺腫瘍科、小児外科、麻酔科、小児科、新生児科、産科・婦人科、整形外科・脊椎外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、脳神経外科、形成外科・美容外科、泌尿器科、リハビリテーション科、神経精神科・心療内科、放射線科、放射線腫瘍科、核医学診療科、中央病理診断部、輸血・細胞移植部、予防医学センター、東洋医学科、歯科・口腔外科、救急科、消化管内科、緩和医療科、ゲノム医療科、血管外科、核医学診療科

1日平均外来患者数 1,716名

1日平均入院患者数 703名

主な認定施設 特定機能病院、日本医療機能評価機構認定病院、肝疾患診療連携拠点病院、エイズ診療拠点病院、災害拠点病院、埼玉県アレルギー疾患医療拠点病院 他



当院の魅力

環境の整った施設でより良い研修を

埼玉医科大学病院は埼玉県の西部を中心とした地域の医療を担うと同時に、特定機能病院として埼玉県全域の医療も担当しています。埼玉県は東京都に隣接し人口も734万人を数え、多くの患者さんが来院されます。そのため、当院では大学病院ならではの専門性の高い疾患からプライマリケアまで、多くの疾患を経験できるという特徴があります。また、当院には専門医制度にマッチした診療科やアイセンター、てんかんセンター、難病外来等特徴のある診療科が充実しています。24時間管理人が常駐する研修医寮がリニューアルされるなど、研修医の為に施設も充実しています。豊かな自然と1時間で都内へ行けるアクセスの良さが、良い環境の中で研修することが出来ます。埼玉医科大学3病院の連携の良さは皆さんに最高の研修を提供し、皆さんはこの3病院から自分の目的に合った診療科での研修に取り組むことができます。さらに熱心な指導医が多いのも自慢です。その他、埼玉県内最大級の規模を誇る埼玉医科大学シミュレーショントレーニングセンターを利用した多くのハンズオンセミナー等に参加することができるのも魅力の一つです。



研修責任者から



研修管理委員長
山元 敏正

皆さん、是非、埼玉医科大学病院で初期研修を開始しましょう！！
研修先として最適な当院の特徴を説明します。①スタッフが教育熱心：高度なスキルを持ったスタッフが熱心に指導します。②豊富な症例：臨床医としての実践的な知識と技量を身につけるには、受け持った症例から学ぶことが最も確実です。当院では一般的な疾患から稀な疾患まで多種多様な疾患を経験できます。③ハイブリッド型の大学病院：高度な医療を提供する大学病院とプライマリ・ケアを中心とする地域病院の機能を合わせ持ち、また基礎医学の先生方との共同研究も盛んに行われています。セキュリティ完備の研修室には研修医の皆さんに専用のデスク、ロッカー、当直室、シャワールーム等が完備されています。是非、一度、病院見学に来てください。お待ちしております。

先輩研修医から



研修医 1年目 儘田 舜平

私は埼玉医科大学の3病院自由選択プログラムで研修を行なっています。このプログラムでは、特色の異なる埼玉医大の3病院の各科を自分の学びたいことや将来の進路希望に合わせて自由に選択することができます。また、当院には教育熱心な先生やスタッフが、業務中に生じた疑問点やキャリアについての悩みなどについて質問をしやすい雰囲気もあるため、各分野の専門家の意見を聞きながら成長することができる環境となっております。もし当院での研修に興味があれば、是非見学にいらしてください。

研修医 2年目 三田 桂那子

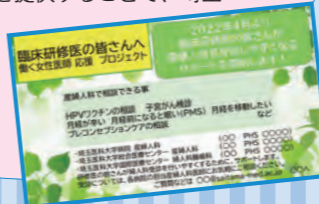


私は埼玉医科大学病院の3病院に加え、他大学病院などの協力型臨床研修病院もローテーションできる総合医育成広域連携病院自由選択プログラムで研修を行っています。同じ診療科でも3病院それぞれの特徴があるため、自分の希望に合った研修ができ、また、他病院でも研修を行うことで、より幅広く充実した研修を行うことができます。教育熱心な先生方の細やかな指導の下、研修医も診療に深く携わらせてもらえる機会も多く、着実に知識や技能を身につけることができます。ぜひ一度、見学にいらしていただき、当院の魅力の一つである整った研修施設や温かみと活気のある雰囲気も体感していただきたいと思います。

女性医師支援コーナー



当院では、女性医師ひとりひとりのワークとライフを尊重し、短時間勤務で正規雇用と同等の処遇で働ける制度や院内保育園での延長保育、女性医師就業継続支援窓口を設けるなど働きやすい環境作りに取り組んできました。2022年から、女性研修医の皆さんが産婦人科の受診を希望した時、気軽に産婦人科受診ができるようサポートが始まりました。低用量ピルによる月経困難症の治療や確実な避妊、HPVワクチンについての相談など、産婦人科を活用する事はプレコンセプションケアの一環として、未来の人生の選択肢を広げることにつながります。たくさんの選択肢を提供することで、埼玉医科大学は働く女性医師を応援しています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

当院ホームページに掲載の見学申込書をダウンロードの上、必要事項を記入し、見学希望日3週間前までに臨床研修センター事務室へE-mail（添付）又は郵送でお申込みください。

| | |
|--------|---|
| 連絡先 | 埼玉医科大学病院 臨床研修センター事務室 |
| 住所 | 〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38番地 |
| T E L | 049-276-1862（直通） |
| F A X | 049-276-2149 |
| E-mail | kenshui@saitama-med.ac.jp |
| U R L | http://www.saitama-med.ac.jp/resident/moro/ |
| アクセス | JR八高線毛呂駅から徒歩3分 東武越生線東毛呂駅からバス5分 |





27

埼玉医科大学 総合医療センター

研修プログラムの 特色



当院では病院の特性を活かし、日常的に遭遇する common disease から専門性の高い疾患のマネージメントまで幅広い研修ができるように工夫しています。研修プログラムは、研修医自身が自由にプログラムを組むことができる『埼玉医科大学3病院自由選択プログラム』、臨床研修と大学院コースを同時に学べる『研究マインド育成自由選択プログラム』、小児科・産婦人科等での研修を重視した『周産期育成プログラム』があります。4月の導入研修（オリエンテーションを含む）では、内科病棟を中心に診療に必要な基本的姿勢、手技を身につけます。内科・救急研修では、時間外外来を経験し、一次から三次まで幅広く救急医療に従事することでプライマリ・ケアに必要な基本的技能を修得することが可能です。地域医療研修では全プログラムで沖縄県での研修を選択することができます。また、2年目に高度救命救急センターでの研修を選択した場合には、希望があればドクターヘリに搭乗することも可能です。毎月1回のCPCの他に、ランチョンセミナーも定期的に開催し、必修項目に関連した講義を行っています。

埼玉医科大学3病院自由選択プログラム（募集定員44名）

| プログラム例 | 1~4週 | 5~8週 | 9~12週 | 13~16週 | 17~20週 | 21~24週 | 25~28週 | 29~32週 | 33~36週 | 37~40週 | 41~44週 | 45~48週 | 49~52週 |
|--------|----------|---------|----------|-----------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 導入研修(4週) | 内科(24週) | | | | | 救急(8週) | 麻酔科(8週) | 外科(4週) | 小児科(4週) | | | |
| 2年目 | 産婦人科(4週) | 精神科(4週) | 地域医療(4週) | 自由選択(40週) | | | | | | | | | |

必修科目 内科24週、救急8週、麻酔科8週、外科4週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週、地域医療4週（2年目）
自由選択 2年目の40週（地域医療8週の場合は36週）は、どの診療科、施設で研修するか、研修期間を含めて研修医自身が選択出来る。
 ※その他 周産期育成プログラム（募集定員4名）、研究マインド育成自由選択プログラム（定員2名）

研修医の 処遇

給与 基本給36万円/月（基本給25万円、諸手当・賞与を含む平均月額給与）
 賞与：前年度実績50万円/年
諸手当 宿日直手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、扶養手当
保険 日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険、労災保険
勤務時間 原則8時30分～17時30分
当直 あり（平均4回/月）
休暇 有給休暇（初年度10日）
宿舎 あり（月額2万円、補助あり）

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院
- ・埼玉医科大学国際医療センター
- ・沖縄県立北部病院（附属診療所含む）
- ・沖縄県立宮古病院
- ・帯津三敬病院
- ・恵愛病院
- ・東松山市立市民病院
- ・赤心堂病院
- ・秩父病院
- ・霞ヶ関南病院

医師数（研修医除く） 447名（うち指導医数134名）
病床数 1,063床
研修医数 1年目33名 2年目28名
昨年度マッチング受験者数 94名
研修医の主な出身大学 埼玉医科大学、鹿児島大学、獨協医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学、新潟大学、群馬大学、杏林大学、東北大学、山形大学、東邦大学、佐賀大学、福島県立医科大学、信州大学、大分大学、弘前大学
診療科 消化器・肝臓内科、内分泌・糖尿病内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、心臓内科、呼吸器内科、腎・高血圧内科、脳神経内科、神経精神科（メンタルクリニック）、小児科、新生児科、消化管外科・一般外科、肝胆膵外科・小児外科、血管外科、プレストケア科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科・美容外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、産科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、産科麻酔科、高度救命救急センター、救急科（ER）、総合診療内科/感染症科・感染制御科、輸血・細胞治療部、病理部
1日平均外来患者数 1,997名
1日平均入院患者数 738名
主な認定施設 高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉 DMAT 指定病院、がん診療連携拠点病院、臨床研修指定病院

POINT! 当院の魅力

大学病院から離島まで

埼玉医科大学総合医療センターは、最先端の設備の中で平成19年には埼玉県よりドクターヘリ基地病院、平成28年には小児救命救急センターの指定を受けた地域基幹病院として高度な医療を提供し地域医療に貢献するのみならず、埼玉医科大学病院群の中では“Super General Hospital”と位置づけられ、診療のみならず大学病院として教育、研究に関しても優れた成果をあげています。高度救命救急センター新棟を始め、外来化学療法センター、血液浄化センター、内視鏡センター、無菌室病棟などを新設し、病棟も順次改修工事を進めており、最新の設備で充実した研修を行うことが出来ます。地域医療研修では、沖縄県立北部病院（同附属診療所を含む）、沖縄県立宮古病院での研修を2ヶ月間選択することができます。（往復の交通費及び宿泊費（上限あり）の補助があります。）実際に研修した先生方からは、大学病院とは大きく異なる環境で研修することで、とても勉強になったと好評です。小江戸川越は古い街並みを残す歴史のある落ち着いた都市です。都内から近いこともあり近年多くの観光客で賑わっています。伝統と都会的な新しい感覚が混じった川越で研修医としての2年間をスタートしてみませんか。



研修管理委員長
木崎 昌弘

研修責任者 から

埼玉医科大学総合医療センターは、歴史あふれる小江戸川越に位置する病床数1,063、1日外来患者数2,000名超、36診療科に総合周産期母子医療センター、高度救命救急センター及び小児救命救急センターを有する県内最大の医療施設です。診療とともに教育、研究にも力を入れており、初期臨床研修では最新鋭の医療機器の導入による大学病院としての機能を十二分に発揮した先端医療から、common diseaseを中心とした地域医療まで幅広い疾患を学ぶことができます。私どもは、臨床研修の目標を「日常診療で頻りに遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的診療能力を身につける」ことを基本とし、その上でさらなる専門教育を行なっています。全診療科に研修指導責任者、指導医をおき、日常の悩みから効果的な研修などの適切なアドバイスを行い、研修目標が到達できるように支援しています。また、研修管理委員会に研修医や若い先生方を委員として加え、研修医の生の声を反映できるような研修システムを作るように心がけています。2年間の研修中には、人気の沖縄離島研修も組み込まれていますので、大学病院から離島までの幅広い医療の現場を体験することが可能です。私どもは研修医の先生方ひとりひとりを大切に育て、次世代の我が国の医療を担う人材を育てたいと考えています。研修医として多くの方々がわれわれの門戸を叩いてくれることを心より歓迎いたします。

研修医2年目 堀井 翼

私が当院に入職してよかったと思う点を書きたいと思います。まず、最新の先端医療から、地域に根ざした幅広い症例を経験することができることです。一つの研修病院でこれだけの症例を経験できるのはなかなかないと思います。2つ目に研修医同士の仲良さです。研修医は総勢60人程度おり、研修医室も開かれたスペースで日々の仕事の相談や疾病について共有でき、1年、2年関係なくコミュニケーションを取ることができます。一人で悩むことなどは少ないと思います。最後に教育熱心な先生が多いところです。どの診療科の指導医もきめ細かにサポートしてくれます。ぜひ、当院と一緒に楽しく実り多い研修医生活を送りましょう！お待ちしております。

先輩研修医 から



研修医1年目 福本 彩音

私が初期研修に求める条件として、手技を積み立ててもらえること・幅広い症例を経験できること、がありました。当院は大学病院としてだけでなく、市中病院としての顔も持ち合わせているため、common diseaseから専門性の高い症例まで、たくさん経験することが出来ます。また、先生は教育熱心な方々ばかりです。「手技をやりたい！」と言えば、丁寧に指導してくださるので、初めてのことが多くても不安なく行うことが出来ます。同期も温かくて頼れる仲間ばかりです。ほとんどが埼玉医大出身の中、他大学出身の私にも、気さくに優しく接してくれます。仕事が大変な時でも、みんなでも乗り越えていこうという雰囲気があります。皆さんも当院で研修して、充実した毎日を送りませんか？お待ちしております！



女性医師 支援コーナー



- ・当院では子育て支援の一環として、短時間勤務制度を設けており、女性医師の働きやすい環境を支援しています。産前産後の休暇はもちろんのこと、日直、当直の免除や短時間勤務を利用しながら、安心して子育てと研修ができるようサポートしています。
- ・院内には保育所（定員80名）を設置しており、保育士は25名以上在籍しておりますので安心して預けられます。
- ・女性医師就業継続支援窓口（医療人育成支援センター女性医師部門）を設けています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けています。当院ホームページに掲載の申込書に入力し、メールに添付してお申込み下さい。

| | |
|--------|--|
| 連絡先 | 埼玉医科大学総合医療センター 臨床研修センター |
| 住所 | 〒350-8550 川越市鴨田1981 |
| T E L | 049-228-3802（直通） |
| F A X | 049-228-3802 |
| E-mail | kensi@saitama-med.ac.jp |
| U R L | http://www.kawagoe.saitama-med.ac.jp/resident/ |
| アクセス | 東武東上線、JR川越線 川越駅からバス25分 |





28

独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院

医師数 (研修医除く) 48名 (うち指導医数 8名)
病床数 325床
研修医数 1年目 3名 2年目 2名
昨年度マッチング受験者数 8名
研修医の主な出身大学 昭和大学、信州大学、千葉大学、東海大学、浜松医科大学、藤田保健衛生大学、徳島大学、北海道大学、山口大学、福井大学
診療科 総合診療内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、代謝・内分泌内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科、麻酔科、リハビリテーション科
1日平均外来患者数 375名
1日平均入院患者数 174名
主な認定施設 地域医療支援病院、日本外科学会専門医研修施設、日本内科学会認定医教育関連施設、日本整形外科学会専門医研修施設、小児科専門医研修施設、日本産科婦人科学会専門医研修指導施設

研修プログラムの 特色



募集定員は3名、少人数ならではのきめ細かく手厚い研修を目指しています。規模の大きい病院ですが、その分、指導するスタッフに相談しやすく、研修医同士の距離は近く、アットホームな環境といえましょう。市中病院ということもあり、common diseaseを多く経験できることは特色の一つです。具体的なプログラムについては下記を参照してください。スケジュールの調整は状況に応じて可能ですので相談してください。当院では研修できないが近隣や国立病院機構の他施設にご協力いただける分野に関しては、院外研修としています。例年、基本手技を学ぶ講習会を院内で開催しています。

西埼玉臨床研修プログラム (募集定員 3名)

| プログラム例 | 1~4週 | 5~8週 | 9~12週 | 13~16週 | 17~20週 | 21~24週 | 25~28週 | 29~32週 | 33~36週 | 37~40週 | 41~44週 | 45~48週 |
|--------|--|--------------------|-------|------------------|------------------|--------|---------------|--------|--------------|------------|-----------------|-----------------|
| 1年目 | 内科(28週) (循環器8週・消化器8週・総合診療4週・代謝/内分泌4週・呼吸器(院外)4週) | | | | | | | | 産婦人科 (4週) | 外科 (8週) | 麻酔科 (院外)(4週) | 精神科 (院外)(4週) |
| 2年目 | 小児科 (4週) | 救命救急科 (院外)(12週) | | 放射線科 (院外)(4週) | 地域医療 (院外)(4週) | | 選択 (32週) ※ | | | | | |

病院内必修 消化器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、外科、小児科、産婦人科
病院内必修 救急科 (国立病院機構災害医療センター)、精神科 (国立病院機構下総精神医療センター)
病院内必修 麻酔科 (国立病院機構埼玉病院)、地域医療 (わかさクリニック)
選択科目 ※
 【院 内】整形外科、放射線科、麻酔科、耳鼻咽喉科、泌尿器科
 【院 外】神経内科 (国立病院機構東埼玉病院) 放射線科 (国立病院機構災害医療センター)

研修医の 処遇

給 与 約40万円/月
諸 手 当 通勤手当、超過勤務手当、宿日直手当等
保 険 厚生労働省第二共済組合、厚生年金保険、雇用保険
勤務時間 8:30~17:15
当 直 あり(4回/月)
休 暇 有給休暇年間10日付与
宿 舎 あり
そ の 他 健康診断(年2回)、インフルエンザ予防接種無料

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・国立病院機構埼玉病院
- ・国立病院機構東埼玉病院
- ・国立病院機構災害医療センター
- ・国立病院機構下総精神医療センター
- ・わかさクリニック

POINT! 当院の魅力

心の通う医療をめざして

埼玉県の南西部で東京都に隣接する所沢市に当院は立地します。施設周辺には、武蔵野の面影を色濃く残す林や畑が広がっており、緑豊かで心癒される環境です。「病む人に心の通う質の高い医療をめざします」の基本理念のもとに、安全で質の高いより良い医療を提供し、信頼され安心して受診できる病院を目標としています。そのために「職員は常に研鑽に励み、安全な医療を提供すること」「医療を受ける権利を尊重し、心のこもった支援をめざすこと」「周辺の医療機関と連携し、安定した医療をめざすこと」を方針として掲げ、職員皆で実現に向けて力を合わせています。
 また、当院は二次救急を担う一般急性期中核病院です。2018年からNICUを再開し、近隣から積極的な受け入れを行っております。



研修責任者 から



プログラム責任者
二上 敏樹

多くの同期生で競い合うような研修環境とはいえませんが、少人数ならではの良さがあると考えています。どちらかというと他人のペースにあまり影響されずじっくりと歩みを進めていきたい、というようなタイプの人にも、当院での研修はマッチするのではないのでしょうか。
 初めは分からないことばかりだと思います。遠慮なく周りのスタッフに相談してみてください。快く対応してくれるはずですよ。
 医師という仕事をしていくうえで基本となる考え方を少しずつ身につけて、今後の方向性を模索していく、有意義な2年間が過ごせるように願っています。
 四季の移ろいを感じ取れる豊かな緑に囲まれた当院で、私たちと一緒に仕事をしましょう。お待ちしております。

先輩研修医 から

研修医 2年目 **中野 心優**

当院は研修プログラムの柔軟さが特徴です。必修は内科からローテーション、選択は個人希望が重視され、柔軟な調整が可能です。院内と院外研修のバランスが良くとれています。また研修医の人数が少ないので手技を学ぶ機会が多くあります。特に救急外来では初期研修医がファーストタッチでき、上級医の先生方が手厚く指導してくださるので、多くの症例を経験でき、救急対応の実戦力も向上します。アットホームな雰囲気の中ストレスフリーで研修生活を送れることも当院の魅力です。是非一度見学に来てください。



研修医 1年目 **佐々木 勇紀**

西埼玉中央病院は比較的規模の小さい病院ですが、指導医の先生は皆指導熱心で、やる気次第で様々な経験を積ませてもらえます。コメディカルの方々も親切で、患者さんについて質問しやすいのは大きなメリットだと思います。院内で経験が難しい科や三次救急は連携している他の病院での研修を含めてカリキュラムが組まれており、希望すれば2年目も回ることができます。是非、病院の雰囲気・研修医の働き方を見学しに来てください!



女性医師 支援コーナー



- ・子の看護休暇
- ・生理休暇
- ・妊娠中の職員の通勤緩和
- ・深夜勤務、時間外勤務の制限
- ・院内保育所の設置等

当院ではワークライフバランスのとれた研修生活を送れるよう積極的に女性医師を支援しています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【病院見学】随時募集中
 お気軽にご連絡ください。
 詳細につきましては、当院 WEB サイトをご参照ください。

| | |
|--------|---|
| 連絡先 | 独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院 管理課 給与係長 町田 |
| 住所 | 〒359-1151 埼玉県所沢市若狭2-1671 |
| T E L | 04-2948-1111 (代表) |
| F A X | 04-2948-1121 |
| E-mail | 208-jinji@mail.hosp.go.jp |
| U R L | https://nishisaitamachuo.hosp.go.jp/profession/cnt0_000087.html |
| アクセス | 西武池袋線小手指駅から徒歩20分 |





29

社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院

医師数（研修医除く） 133名（うち指導医数 79名）
病床数 450床
研修医数 1年目 10名 2年目 9名
昨年度マッチング受験者数 54名
研修医の主な出身大学 岩手医科大学、九州大学、埼玉医科大学、産業医科大学、信州大学、聖マリアンナ医科大学、東京女子医科大学、徳島大学、獨協医科大学、鳥取大学、新潟大学、日本大学、三重大学、山梨大学、琉球大学
診療科 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、神経内科、感染症内科、人工透析内科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科（33診療科）
1日平均外来患者数 132名
1日平均入院患者数 414名
主な認定施設 地域医療支援病院、日本病院機能評価認定施設

研修プログラムの 特色



患者中心の医療を行い地域社会に貢献する医師となるべく、医師としての良識とチーム医療を実践できる能力を身に着けること。そして将来専門とする分野にかかわらず、医師として必要な診療に関する基本的知識、技術、問題解決力を習得することを研修の理念としています。
 初期臨床研修とは「医者の基本」を学ぶための研修です。「幅広い初期救急対応能力の習得」と「頻りに遭遇する Common disease に対する診療能力を身に着ける」。当院ではこの2つの目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても必要となる基本的臨床能力の指導に力を入れております。当院は地域の中核的な超急性期病院であり、救急患者や緊急入院が多く、また複数の医学的問題を抱えた高齢者の入院が多いことが特徴の一つです。臓器にとらわれない「Generalistの視点」で救急から入院初療、退院まで一貫して関わり、退院後のケアや患者家族の心情までも配慮できる「主治医としてのマネジメント能力」の礎となる研修を行っています。

埼玉石心会病院臨床研修プログラム（募集定員 10名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 |
|--------|-----------|-----------|----------|-----------|---------|----------------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科（32週） | | | | | | | | | | | |
| | 総合診療科（8週） | 消化器内科（8週） | 腎臓内科（8週） | 循環器内科（8週） | 救急科（4週） | 外科（12週） | | 麻酔科（4週） | | | | |
| | 救急科（4週） | 地域医療（4週） | 小児科（4週） | 産婦人科（4週） | 精神科（4週） | 選択ローテーション（32週） | | | | | | |

- ①内科 32週：総合診療科（※）8週、腎臓内科 8週、消化器内科 8週、循環器内科 8週が必須 ※総合診療科（主に内科領域、神経、呼吸器、内分泌、糖尿病内科を研修する）
- ②救急 12週：1年次に4週、2年次に4週必須 ※麻酔科、救急当直（月に数回）と毎週半日の救急研修を合わせて合計12週以上とカウントする
- ③外科 12週：消化器外科+乳腺内分泌外科 12週（または消化器外科+乳腺・内分泌外科 8週+外科系 4週）が必須 ※外科系：外科（消化器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科）
- ④麻酔科（救急）：4週必須
- ⑤小児科：2年次に4週必須 研修協力施設：埼玉医科大学病院/西埼玉中央病院/済生会川口総合病院（8週） ※一般外来研修を含む
- ⑥産婦人科：2年次に4週必須 研修協力施設：埼玉医科大学病院/西埼玉中央病院/埼玉病院
- ⑦精神科：2年次に4週必須 研修協力施設：埼玉医科大学病院/川越同仁会病院/高月病院
- ⑧地域医療：2年次に4週必須 研修協力施設：町立小栗野中央病院/南魚沼市民病院/さやま総合クリニック/知床らうす国民健康保険診療所/宮古島徳洲会病院 ※一般外来研修および在宅医療研修を含む
- ⑨選択ローテーション：合計32週
 以下の診療科から選択ローテーション（各科は原則として最低4週以上から選択可）
 既にローテートした必修科を繰り返し選択可（必修科と選択ローテーションを分けて必修科を延長することも可）
 総合診療科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、外科（消化器外科、乳腺・内分泌外科）、整形外科、脳神経外科、救急科、心臓血管外科、形成外科、麻酔科、泌尿器科、集中治療科、リハビリテーション科

研修医の 処遇

給与 1年目：40万円/月、2年目：45万円/月
 ※基礎給与及び業務加算手当
諸手当 通勤手当、当直手当
保険 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険あり
勤務時間 8:30～17:00（土曜日 8:30～13:00）
当直 あり（4～6回/月）
休暇 土曜日午後、日曜、祝日、年末年始（12/30～1/3）、有給休暇（1年次10日、2年次11日）、慶弔休暇
その他 当直明け 半休あり

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院（小児科、産婦人科、精神科）
- ・済生会川口総合病院（小児科）
- ・西埼玉中央病院（産婦人科、小児科）
- ・埼玉病院（産婦人科）
- ・川越同仁会病院（精神科）
- ・高月病院（精神科）
- ・町立小栗野中央病院（地域）
- ・南魚沼市民病院（地域）
- ・知床らうす国民健康保険診療所（地域）
- ・宮古島徳洲会病院（地域） 他



当院の魅力

教育のあるところに人は集まる！

埼玉石心会病院は研修医教育に力を入れています。「幅広い初期救急対応能力の習得」と「頻りに遭遇する Common disease に対する診療能力を身に着ける」この二つの目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても必要となる基本的臨床能力の指導をしていきます。
【バランスのとれた研修内容】
 救急車の受け入れ台数は年間9,000台以上。救急患者や重症患者が多いため、気管挿管、胸腔ドレナージ、中心静脈路確保などベッドサイド手技の件数が圧倒的に多いです。しかしそれだけではなく、Attitude（患者との接し方、問題解決能力）・Skill（手技）・Knowledge（知識）をバランスよく指導していきます。
【救急研修の工夫】
 1年次と2年次の2回に分けて救急ローテーションを行い、安全性ときめ細かいフィードバックがもらえる屋根瓦式診療体制を整えています。また救急ローテーションとは別に、毎週半日の救急研修を2年間継続して行います。診療の振り返りを行いながら課題を見つけ、ステップアップ式に初期救急対応能力を身に着けることができます。



研修責任者 から



プログラム責任者
 研修管理委員長
元 志宏

初期研修とは「医者の基本」を学ぶための研修です。「幅広い初期救急対応能力の習得と頻りに遭遇する Common disease に対する診療能力を身に着けること」、当院ではこの2つの研修目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても最低限必要となる基本的臨床能力を鍛えるための研修に力を入れています。ベッドサイドの手技の件数が多いことも魅力の一つですが、当院は急性期医療を担う中核病院であるとともに在宅医療にも力を入れており、「地域完結型医療」を研修することが出来ます。2年間の初期研修終了後には、「医者の基本」を十分に習得できていることで、ぜひ一度埼玉石心会病院に見学に来てください。お待ちしております。

先輩研修医 から



研修医1年目（2022年度入職）**西野 開**

当院では、研修医が実施できる手技が多いことが魅力の一つです。CV挿入、気管挿管、Aライン、胸腔穿刺、腹腔穿刺など基本的な手技はもちろん、侵襲度の高い処置や手術の執刀も上級医指導のもと行う事が可能です。また、指導医から言われた診療をするだけでなく、その都度フィードバックを受けながら治療方針の決定にも積極的に関わる事ができます。Common diseaseを見たい、手技を多くやりたいと考えている医学生の方、当院での研修を検討してみたいかたがどうか。見学に来て他職種との関わり方や雰囲気を見てみてください。

研修医1年目（2022年度入職）**野村 聡子**



私は初期研修中に救急での初期対応や手技をできるだけ身につけたいと考えて病院を探していました。私以外にもそのような人は多いのではないのでしょうか。埼玉石心会病院では、どの科を回っていても週に半日の救急当番があり、救急から離れられないようになっています。しんどいと思うときもありますが、できることも増えてきて楽しいです。また手技も、救急外来や病棟で経験できる機会が多いと感じます。ぜひ一度見学にお越し下さい！

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【病院見学】 訪問見学・オンライン見学 随時受付中。
 【採用試験】 例年、8月に3日間実施。
 ※「訪問病院見学」「オンライン病院見学」「(当院主催) オンライン病院説明会」のいずれかに参加した方のみ、受験可能。詳細は当院WEBサイトをご参照ください。

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 連絡先 | 社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院 医師人事部 研修管理課 |
| 住所 | 〒350-1305 埼玉県狭山市入間川2-37-20 |
| TEL | 04-2953-0909（直通） |
| FAX | 04-2953-8040 |
| E-mail | sayako-iwata@saitama-sekishinkai.org |
| URL | https://www.saitama-sekishinkai.jp |
| アクセス | 西武新宿線「狭山市駅」徒歩10分 |





30

埼玉医科大学 国際医療センター



卒後臨床研修評価機構認定病院

研修プログラムの 特色

優れた人材と豊富な医療資源に裏打ちされた高度専門医療機関で、全国屈指の手術件数、豊富な症例数を活かし、将来ジェネラリストとしてもエキスパートとしても活躍できる医師を育てます。

研修医のうちから他の病院では対応できない困難な疾患や症例に対して「どのような検査・治療がベストか」を学ぶことができます。また、地域の特性から埼玉県西部の医療を広く担っており、専門性の高い疾患以外にも多くのcommon diseasesを経験できます。

2022年には新病棟がオープンし、日本でも最先端の放射線治療機器(MRリニアック)と最大級の外来化学療法センターが稼働しました。また、心臓病手術にも適応のあるロボット支援外科手術にも力を入れており、ダビンチ、センハンスの2タイプのロボットを設置するなど、常に進化しています。3つのプログラムすべてで埼玉医科大学だけに限らず、連携する施設の診療科を自由に研修できるので、それぞれの病院のストロングポイントを「いいとこ取り」できるお得感満載のプログラムです。

3病院自由選択プログラム：将来像にあわせて自由に研修科を選べる。

特設外科系プログラム：最短で外科専門医を取得できるよう、適切な判断ができる外科系医師を育成する。

研究マインド育成自由選択プログラム：臨床研修と大学院を同時に学び、学位を卒業4年目または5年目終了時に取得する。

埼玉医科大学3病院自由選択プログラム(募集定員12名)

| プログラム例 | 1~4週 | 5~8週 | 9~12週 | 13~16週 | 17~20週 | 21~24週 | 25~28週 | 29~32週 | 33~36週 | 37~40週 | 41~44週 | 45~48週 | 49~52週 |
|--------|---------|---------|-------|--------|----------|---------|---------|--------|----------|--------|---------|--------|--------|
| 1年目 | 導入(4週) | 内科(24週) | | | | 救急(12週) | | | 産婦人科(4週) | | 小児科(4週) | | 外科(4週) |
| 2年目 | 精神科(4週) | 自由(12週) | | | 地域医療(8週) | | 自由(28週) | | | | | | |

必修研修 内科24週、外科4週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、救急12週(救急8週+麻酔4週の組み合わせも可)、地域医療8週(一般外来4週含む)

自由選択 自由選択44週。当院および協力型臨床研修病院、臨床研修協力施設から研修医自身で選択。

その他 埼玉医科大学国際医療センター特設外科系プログラム(定員2名)、埼玉医科大学国際医療センター研究マインド育成自由選択プログラム(定員2名)

研修医の 処遇

給与 給与:36万円/月(基本給25万円、諸手当、賞与含む平均月額給与)
賞与:前年度実績50万円/年
諸手当 日・当直手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、扶養手当
保険 日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険、労災保険、医師賠償保険(個人加入)
勤務時間 8時30分~17時30分
当直 あり:4回/月(診療科により、多少異なります)
休暇 9日/月(変形労働時間制)。有給休暇(1年次:10日、2年次:11日)
宿舎 あり(月額2万円、光熱水費、駐車場代、リネンサービス込)
その他 白衣貸与(クリーニングは病院負担)、研修医室あり

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- 【協力型臨床研修病院】**
 - ・相澤病院
 - ・国立病院機構埼玉病院
 - ・さいたま市立病院
 - ・熊谷総合病院
 - ・新久喜総合病院
 - ・太田記念病院
 - ・足利赤十字病院
 - ・横浜市立市民病院 他
- 【臨床研修協力施設】**
 - ・宮古島徳洲会病院
 - ・たんぼぼクリニック(愛媛県) 他

医師数(研修医除く) 302名(うち指導医数125名)

病床数 778床

研修医数 1年目5名 2年目5名

昨年度マッチング受験者数 16名

研修医の主な出身大学 埼玉医科大学、岩手医科大学、帝京大学、日本医科大学、東京大学、大阪医科大学、産業医科大学、大分大学、熊本大学

診療科 脳脊髄腫瘍科、小児腫瘍科、小児外科、造血器腫瘍科、婦人科腫瘍科、泌尿器腫瘍科、乳腺腫瘍科、皮膚腫瘍科、骨軟部組織腫瘍科、頭頸部腫瘍科、形成外科、支持医療科、精神腫瘍科、放射線腫瘍科、病理診断科、消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、呼吸器外科、心臓内科、不整脈科、心臓血管外科、小児心臓外科、小児心臓科、心臓リハビリテーション科、救命救急科、地域医療科、脳卒中内科、脳卒中外科、脳血管内治療科、画像診断科、核医学科、運動・呼吸器リハビリテーション科、麻酔科、集中治療科

1日平均外来患者数 762.2名

1日平均入院患者数 636.2名

主な認定施設 JCI認定施設、日本医療機能評価機構認定病院、心臓移植実施施設、がん診療連携拠点病院、埼玉県災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉DMAT指定病院 他



当院の魅力

大学病院と市中病院の「いいとこどり」ができる

埼玉県西部を中心に埼玉県全域を守備範囲とした、がん・心臓病・脳卒中・救急が得意な病院です。研修医には早い段階から多くの選択ができるよう、1年次から3つのプログラムすべてで埼玉医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センター、その他12の協力型臨床研修病院(市中病院)で研修できるようになっています。特色の異なる病院で働くことで、大学病院の良さ、市中病院の良さをそれぞれ実感できると好評です。

また、当院だけの特徴として、当院での研修は最短9ヶ月でも可能、毎週水曜日はランチョンセミナーを実施、ローテーション変更は何回でも可能、研修終了後の海外留学制度あり、上級医も研修医も学問がないことが挙げられます。



研修責任者 から



研修管理委員長
林 健

当院は、がん、心臓病、脳卒中を含む救命救急の診療に特に力を入れており、全国屈指の症例数と高度医療の提供を行っております。ICU/HCUが96床あることからわかるように、重症患者が多く、初期研修で特に重要な重症患者の全身管理を学ぶのに適した環境にあります。また、救急の応需率はほぼ100%で、断らない救急を経験して力をつけるのにぴったりです。

高度な医療を経験するとともに、多くの施設と協力してcommon diseaseを経験する場も十分確保しています。病院全体が研修医を育てて行こうという空気に満ちています。

国際水準の高度医療を提供する、いわば「世界を知る病院」です。若い時からこのような施設で研修することは、そのキャリアに必ず役に立つと思います。専門医取得からその先、さらに海外留学等まで見据えて育てていきます。当院には是非いらしてください。

先輩研修医 から



研修医1年目 **井上 恵輔**

当院は症例数が多いので、それに伴って症例経過ごとに治療を考えます。このため、より多くの実臨床の経験を積むことができていると思います。少数数制のため、質問をしても丁寧なフィードバックを受けられますし、手技等の指導も手厚いです。研修施設は1年次から埼玉医科大学の3病院と協力型臨床研修病院から選ぶことができますので、より自分に必要と感じた経験を得られるようになっています。ローテーションの変更も融通が利くので、研修を進めながら興味次第で方針を変えることも可能です。

研修医1年目 **杉藤 梨沙**

指導医や上級医に教育熱心な方が多く、早い段階から手技をさせて頂くことができ、基本的な検査結果の見方や処方の方、患者さんの治療経過を見ていく上で大切なことを教えていただけます。さらに、困ったことや疑問などがあればすぐに指導医や上級医に相談することができるので安心できます。患者さんの治療にあたって、専門性の高い知識だけでなく、基礎的な疾患に対する知識を求められることも多いのでとても勉強になります。

また、光熱水費込みで寮費の補助があるなど研修医に対する福利厚生がしっかりしている所も当院の魅力だと思います。



女性医師 支援コーナー



産前・産後並びに育児休暇の取得後、一定の育児期間中は当直の免除や短時間勤務など柔軟に働くことが可能です。また、院内託児所も整備されており、子供を預けながら臨床業務や研究に集中して取り組むことができます。

さらに、医師として働き続けたい女性をサポートする目的で女性医師就業継続支援窓口(医療人育成支援センター内)を設け、出産、育児、介護のために休業予定の医師に対して復職に必要な情報等の提供を行っています。研修医の婦人科受診サポート体制があります。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時可能です。臨床研修センターのHPより見学申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、見学希望日の2週間前までに臨床研修センターへE-mail(添付)でお申し込みください。見学希望日2週間前を過ぎた場合は、臨床研修センターへ電話してください。

| | |
|--------|--|
| 連絡先 | 埼玉医科大学国際医療センター 臨床研修センター |
| 住所 | 〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1 |
| TEL | 042-984-0079(直通) |
| FAX | 042-984-0594(直通) |
| E-mail | imckensh@saitama-med.ac.jp |
| URL | http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/kenshu/ |
| アクセス | JR川越線・八高線 高麗川駅(路線バス約10分) 東武越生線 東毛呂駅(路線バス約15分) |





31

社会医療法人壮幸会 行田総合病院

研修プログラムの 特色



埼玉県北部の中核病院の為、症例が集まり、採用する研修医は少人数の為、一人一人が多くの手技を経験できる環境にあります。また、外科系の指導医や専門医が多数在籍しているため多角的な視点で指導を受けられます。

その他、内科系も各専門医が揃っております。「身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療」プライマリ・ケアを経験することができます。

地域医療の基幹病院として、一般診療、救急外来をとおして、プライマリ・ケアを中心に幅広い診療能力を身に付け、チーム医療の一員としての役割を自覚し、医師として必須の人格を涵養することを目指します。

標準コースプログラム（募集定員5名）

| プログラム例 | 1～4週 | | 5～8週 | | 9～12週 | | 13～16週 | | 17～20週 | | 21～24週 | | 25～28週 | | 29～32週 | | 33～36週 | | 37～40週 | | 41～44週 | | 45～48週 | | 49～52週 | |
|--------|------|-----|------|-----|-------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
| | 1年目 | 2年目 | 1年目 | 2年目 | 1年目 | 2年目 | 1年目 | 2年目 | 1年目 | 2年目 | 1年目 | 2年目 | 1年目 | 2年目 | 1年目 | 2年目 | 1年目 | 2年目 | 1年目 | 2年目 | 1年目 | 2年目 | 1年目 | 2年目 | 1年目 | 2年目 |
| | 内科 | | | | | | | | | | 救急 | | | | その他必修科目 | | | | | | | | | | | |
| | 地域医療 | | 選択科目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※内科研修は、呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・総合内科・腎臓内科をローテーションします。

※産婦人科・精神科は協力病院にて研修を行います。

研修医の 処遇

給与 1年目：年俸700万円 2年目：年俸750万円
手当 年俸に含む
保険 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり
 厚生年金基金等企業年金なし、医師賠償責任保険（病院において加入）
勤務時間 9時00分～18時00分
当直 あり（4回/月）
休暇 日曜日、祝祭日、有給休暇（年10日）、年末年始（4日間）
寮 あり
その他 就業規則に準ずる

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院
- ・埼玉医科大学国際医療センター
- ・済生会鴻巣病院
- ・順天堂大学医学部附属練馬病院
- ・埼玉県立精神医療センター
- ・行田クリニック
- ・ハートフル行田



働きやすく積極的に手技を学べる環境

当院は地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療指定病院、埼玉県救急搬送困難事案受入病院の指定を受けています。医局は、大学からの派遣はなく総合医局制度を敷いているため、診療科の横断的なコミュニケーションが可能でやりたい治療を実践できる環境です。

救急は、北部メディカルコントロール（MC）の埼玉県救急搬送困難事案受入病院に指定され、埼玉県北西部・北部の救急搬送の広域を担っているため、受け入れ件数は地域No.1（年間5,000件以上）であり多様な症例を経験することができる病院です。また、地域のかかりつけ医として感冒や各種諸症状の初期診療の体制も充実、ケアミックス型の病院で、急性期から慢性期まで完結型の医療を行っています。



研修責任者 から



病院管理者
林 暁

当院は医療過疎地域である埼玉県北部において最大規模を誇る地域の中核を担うケアミックス型の総合病院です。地域からの信頼も厚く、紹介件数や救急搬送件数も年々増加しており、生活習慣病から貴重な手術症例などを広い範囲で経験することができます。また、「どれだけ手技を多く経験できるか？」という点については、他の研修病院と比較しても抜きん出ています。「順番がまわってこない……」ということもありません。あらゆる現場に積極的に参加してください。研修中以外の診療科からも勉強になる症例・検査が発生した場合にはコールされることがあり、医局・職員全体で指導を行う体制が整っています。地域の健やかな暮らしを守るための診療能力を身につけようと考えている医学生のご応募をお待ちしております。

先輩研修医 から

研修医2年目 三津井 理公

当院の初期研修は自由なプログラムと手厚い指導体制が特徴です。興味のある診療科や学びたいことに重点を置いた研修が可能で、地域の症例が一手に集まり手技もたくさん経験できるうえ、どの科も経験豊富な指導医からマンツーマンに指導してもらうことができます。福利厚生も手厚く、自分のペースで研修を進められます。

また、コメディカルスタッフの方々も優しい方が多く、非常に研修のしやすい環境になっています。研修の雰囲気を知るためにも是非見学にお越しください！



研修医2年目 鈴木 由美

当院は地域密着型病院であり common disease を多く経験できる一方、ロボット手術など高度な治療も行っており幅広く経験を積むことができます。また研修医は1学年5人と少人数のため、指導医から1対1で指導を受けることができ、手技も豊富に経験することができます。

志望科に合わせてローテーションを比較的自由に組むことができる点や、オンオフがしっかりしている点もあり、充実した研修生活を送ることができると思います。ぜひ一度見学にお越しください！



女性医師 支援コーナー



保育室完備。定員は、30名で基本的には3歳までのお子さんをお預かりしています。

ほかに学童や幼稚園帰りの子もお預かりしています。学童保育は要望があれば6年生まで預かります。365日休まず、夜間保育も希望のある日におおむね月に14日くらい運営。何か事情があるときに単発でもお預かりしています。

子どもを預けられれば働けます、というご要望があれば、お預かりいたします。

男性医師で奥様の都合が悪い時や体調の悪い時などにも臨時でお預かりします。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時可能です。お気軽にお電話、メールにてお問い合わせください。救急センター、内視鏡室、手術室といった実際の診療現場を見学することができます。研修医や指導医と面談していただき、研修の中身について理解を深めていただきたいと思います。交通費補助もあります。

| | |
|--------|----------------------------|
| 連絡先 | 社会医療法人 壮幸会 行田総合病院 医療推進課 |
| 住所 | 〒361-0056 埼玉県行田市持田376 |
| T E L | 048-552-1111 (代表) |
| F A X | 048-552-1116 |
| E-mail | pub_info@gyoda-hp.or.jp |
| U R L | http://gyoda-hp.or.jp |
| アクセス | JR高崎線行田駅から徒歩20分またはバス5分 |





32

医師数（研修医除く） 49名（うち指導医数 11名）
 病床数 311床
 研修医数 1年目 4名 2年目 4名
 昨年度マッチング受験者数 7名
 研修医の主な出身大学 帝京大学、群馬大学、大阪医科大、筑波大学、東京医科大学、獨協医大
 診療科 内科、循環器内科、消化器内科、外科、消化器外科、心臓血管外科、小児科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、麻酔科、皮膚科、泌尿器科、漢方内科、眼科、救急科、歯科口腔外科、病理診断科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、呼吸器外科、呼吸器内科、臨床検査科、血液内科、神経内科、精神科、膠原病リウマチ科、心理療法室、鍼灸室
 1日平均外来患者数 594.5名
 1日平均入院患者数 238.5名
 主な認定施設 救急告知、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院など

医療法人徳洲会 徳洲会グループ 羽生総合病院

研修プログラムの特色



高い倫理観と豊かな人間性、また常に科学的な妥当性や探究能力、それに社会発展に貢献する使命感と責任感を持った「全人的な医師」を育成することを研修の理念としています。研修プログラムは内科や救急、地域医療の必修科目以外にも外科や小児科、産婦人科、麻酔科、精神科等を研修するスーパーローテート方式となっており、救急科の研修はローテート科と並行して2年間継続して行うことで診療能力が格段に向上します。また、画一的なものだけでなく、個人の希望や特性に応じて柔軟に対応できるようになっています。

羽生総合病院初期臨床研修プログラム（募集定員 6名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 |
|--------|------|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科 | | 小児科 | 外科 | | | 内科 | | | 麻酔 | | |
| 2年目 | 救急科 | | 産婦人科 | 精神科 | 地域医療研修 | | | 選択科 | | | | |

必修科目 救急科 12週、麻酔科 12週、外科 8週、自由選択 20週（整形外科、脳神経外科、泌尿器科等）

研修医の処遇

給与 1年次：30万円/月 2年次：40万円/月
 当直手当、休日手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、家族手当等多数
 保険 公的医療保険：協会けんぽ、公的年金保険：厚生年金、労働者災害補償保険法の適用：あり、医師賠償責任保険：あり、雇用保険：あり
 勤務時間 8時30分～17時00分（当直、準夜勤、別途確認）
 当直 あり（0～1回/週）※準夜勤へ移行
 休暇 2有給休暇（年10日）
 宿舎 病院契約にてあり、ご自身で契約も可能
 その他 [賞与] 400,000円/1年次
 640,000円/2年次

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・徳洲会グループ病院（地域医療研修：僻地病院）
- ・埼玉県済世会鴻巣病院（精神科）
- ・医療法人至信会池沢神経科病院（精神科）
- ・小児科：千葉西総合病院
- ・緩和ケア：札幌南徳洲会病院



当院の魅力

臨床医としての哲学を形成していく

羽生総合病院の研修プログラムは臨床医としての哲学形成をしてゆく事を目的としています。狭い専門領域の知識を得るのではなく、臨床医として必要とされる基本的知識・考え方・手技を身に付けることを重点に置き、さらに患者および他の医療従事者との円滑なコミュニケーションを図ります。研修は、救急医療とプライマリケアを基盤としたスーパーローテーション方式で行います。このプログラムでは内科（24週間）、救急（12週間）、地域医療研修（全国の徳洲会連携病院にて8週間）の基本研修を44週間、選択必修である外科8週間、麻酔科12週間、産婦人科、小児科、精神科を各4週間研修し、その他期間20週間を希望選択科にて研修します。



研修責任者から



プログラム責任者
副院長
高橋 暁行

羽生総合病院は小回りのきく病院で、各診療科の垣根がないのが特徴です。そのため、ある診療科にローテーションしているときに、別の診療科の医師に相談したり、質問したりすることもできます。少人数なのでフレキシブルにローテーションを変更することもでき、研修医ひとり一人の『学びたい!』をバックアップする事も可能です。マイペースで医師としての基礎を身に付けていきたいという人には、向いている病院だと思います。一緒に成長していきましょう。

先輩研修医から

研修医 2年目 藤井 鈴

当院は病床数311床に対し、研修医が1年目4人2年目4人（令和4年現在）と少人数です。そのため、必ず上級医がついた状態で丁寧な指導を受けることができます。救急対応の際も症例を取り合うことなく、検査のオーダーから鑑別、治療まで自分で考えることが可能です。また、積極的に研修したい場合は自分の研修科以外でも手技がある場合は声をかけてくれるので、cv挿入や胸腔穿刺など様々な手技の獲得に繋がります。初期研修で救急対応を学びたい方、積極的に手技を身につけたい方はぜひ一緒に働けると嬉しいです!

研修医 2年目 長橋 祐矢

私が4月から働き始めて感じた事は自主性のある方が当院には向いていると思います。学べる手技はたくさんあり、指導医の先生方は質問や相談に熱心に応じてくれます。研修医が少人数の為、1人1人にきめ細かい指導があります。当直は月に4～5回あり、ファーストタッチや検査オーダーを1年目から行わせていただけます。指導医の先生にはいつでも相談できるため、判断等についても研修医1人ですることなく上級医・指導医の下、実施致します。徳洲会は断らない救急を掲げていることもあり、大変多くの症例を経験することが可能です。皆さんも当院と一緒に働きませんか。



女性医師支援コーナー



産前産後休暇・育児休暇は勿論のこと、職場復帰後の短時間勤務・当直免除制度があります。また病院より車で5～6分の所に職員専用の保育所（2023年度には敷地内へ移設予定有）の利用も可能ですので、安心して勤務していただける環境が整っています。ライフワークに合わせた勤務形態が相談可能となっておりますので、ぜひ一度ご連絡下さい。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けています。（交通費：宿泊費は当院負担にて相談可）まずはお気軽に担当者まで電話かメールにてお問い合わせ下さい。

| 連絡先 | 医療法人徳洲会 羽生総合病院 |
|--------|----------------------------------|
| 住所 | 〒348-8505 埼玉県羽生市下岩瀬446番地 |
| T E L | 048-562-3003（直通） |
| F A X | 048-563-2170 |
| E-mail | resident_doctor@fureaihosp.or.jp |
| U R L | https://www.hanyu-resident.com/ |
| アクセス | 東武伊勢崎線羽生駅から徒歩18分・バス5～6分 |





33

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 かぞ 埼玉県済生会加須病院

(旧：埼玉県済生会栗橋病院)

研修プログラムの 特色



当院では、5人/年の研修医枠しかありません。病院の規模に対して、少ない研修医枠です。この5人枠が絶妙です。内科は各サブスペシャリティ6診療科、外科が各サブスペシャリティ6診療科など各専門領域に分かれるため、2年間のほとんどの期間、各診療科を一人でローテーションすることになります。各診療科の専門医・指導医を独り占めできることが、大きな特徴です。

また、三次救急指定病院であり、指導医の下、早くから救急診療に携わることになります。

1年次前半に内科、外来診療、2年次とペアでの夜間救急を経験することで医療面接・診察・カルテの作成ができるようになった後、1年次後半から外科、救急をローテーションし、外科系の診療科で手術や手技に集中して取り組みます。そして当院の状況を十分に理解した2年次に、産婦人科、精神科、地域医療と他施設での研修を行うことで、病院ごとの違いも体験していただきます。

済生会加須病院臨床研修プログラム (募集定員5名)

| プログラム例 | 1～4週 | | 5～8週 | | 9～12週 | | 13～16週 | | 17～20週 | | 21～24週 | | 25～28週 | | 29～32週 | | 33～36週 | | 37～40週 | | 41～44週 | | 45～48週 | | 49～52週 | |
|--------|------|----|------|--|-------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|--------|--|
| | 1年目 | 内科 | | | | | | | | | | | 外科 | | | | 麻酔科 | | 救急科 | | | | | | | |
| 2年目 | 小児科 | | 救急科 | | 精神科 | | 産婦人科 | | 地域医療 | | 選択科 | | | | | | | | | | | | | | | |

- 1年次** ①内科研修(循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病内科、脳神経内科、血液内科の中から)36週以上必修
②外科研修(外科・脳神経外科・泌尿器科・整形外科の中から)8週以上必修
③救急・麻酔科研修(救急外来・夜間救急・集中治療室・麻酔科(手術室)において)8週以上必修
- 2年次** ①救急科研修4週以上必修 ②小児科研修4週以上必修 ③精神科研修(協力型病院において)4週以上必修
④産婦人科研修(協力型病院において)4週以上必修 ⑤地域医療研修(協力施設において)4週以上必修
⑥選択科研修(当院診療科の中から)32週以上の自由選択研修

なお、希望により1年次、2年次の研修科入れ替えも可能です。(研修科による)

研修医の 処遇

- 給与** 1年次(税込) 約540万円/年 2年次(税込) 約630万円/年
※賞与・当直手当を含むものとする
- 諸手当** 住宅手当・時間外手当・通勤手当など
- 保険** 組合健保(組合名:埼玉県医師会健康保険組合)、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険あり、医師賠償責任保険(病院において加入)
- 勤務時間** 9時00分～17時30分
- 当直** あり(4～5回程度/月)
- 休暇** 土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)・有給休暇
1年次10日間(夏季休暇含む) 2年次17日間(夏季休暇含む)
- 宿舎** あり(単身用ワンルームを有償貸与)
- その他** 職員用駐車場あり

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・久喜すずき病院
- ・済生会鴻巣病院
- ・東京女子医科大学病院
- ・済生会川口総合病院
- ・獨協医科大学埼玉医療センター
- ・岩手県済生会岩泉病院
- ・済生会今治病院
- ・相沢内科医院
- ・中田病院
- ・ふたば在宅クリニック 他

POINT! 当院の魅力

豊富な症例を丁寧に経験できる当院へ

当院は埼玉県の北東部に位置し、7市2町からなる利根医療圏に属しています。当地域は医師偏在化指数において最も低い地域であります。当院はその中で中核病院として地域医療の最も重要な担い手です。従って、あらゆる疾病をその最初から治療による変遷、効果まで見届けることのできる環境にあります。勿論臨床研修では一人ひとりの患者さんの病態生理にどれだけ肉薄できるかが問われていますから、上級医と議論しながらこのプロセスをどれだけ深化させられるかが重要です。当院ではそれが可能です。手技的な習得は本人の積極性にもよりますが、救命救急センターも設置していますのでCVカテーテルの挿入や挿管等は基本的なこととして習熟できるでしょう。

また地域医療や選択科でも研修医の希望を取り入れて、実習先を拡充してきましたので、さらに様々な経験が積めると思います。研修医からのアイデアや希望で各科医師との茶話会や抄読会も行われるようになりました。当院では皆さんの要望にフレキシブルに対応できるようになっていますから、自分達で研修をより充実したものにするのが可能です。研修の成果は、院内はじめ様々なところでの症例発表として報告することを推奨しています。他流試合が皆さんをさらに磨き上げるでしょう。できれば英語論文作成までいけるように期待しています。皆さんのいらっしゃるのを心待ちにしております。



研修責任者 から



プログラム責任者
臨床研修管理委員長
杉浦 秀和

研修医のあなたが主役です。2022年度は、年度の最初に診療科ごとに研修医との茶話会を行いました。研修医からの発案です。ローテーション前に学ぶ内容を知り、レクチャーを受け、指導医と顔見知りになり、コンサルト等、行いやすくすることなどを目的としました。そして、大成功でした。また、研修医入職時のオリエンテーションは、2年次の研修医が内容を吟味し、遂行し、臨床研修センターがサポートする形で行っています。研修医自身が主体となることで、より洗練され、より充実した研修に変わっていきけるよう、日々取り組んでいます。取り組みが実を結び、うれしいことに年々当院を希望する研修医候補が増えています。嘘だと思ふ方、是非、見学にいらして当院研修医とお話してください。

先輩研修医 から

研修医2年目 鈴木 綾乃

研修医が少人数ということで自由度の高い研修を選べると思いここでの研修を選びました。当院は研修期間にやりたいことや一人ひとりの希望に対してオーダーメイドなプログラムを組むことができますし、プログラムの枠にとらわれずに各科の専門性や特性などを幅広くみられます。また、入職して始めて研修医との交流会を開いてくれたり、医局も上級医の先生方と一緒になので、経験豊富な先生方と話せる機会が多く、とにかく相談やコンサルトがしやすい環境です。雑談のなかでも多くのことが学べたり、吸収できることは当院の特徴だと思います。興味関心や意欲の高い方にとっては、とても良い環境だと思います。当院は内科系が充実しており、特に消化器内科や循環器内科は症例数も多く、また救命救急センターもあるので、実践のなかで多くの経験が積める環境があります。ぜひ当院に見学にいらしてください。



研修医1年目 高橋 秀匡

私は将来、外科系に進みたいと考えていたので、志望する専門の知識を深く学びたいという思いと、研修医の今だからこそ、いろいろなことに触れて経験を積みみたい、という二つの思いで研修病院を探していました。当院は救命救急センターも開設し、Common Disease から希な疾患まで幅広い症例をみられて、また、各科専門的治療を行っているため、研修期間に各科の特性にも触れられることがとても魅力的でした。希望する研修条件や見学時の病院の雰囲気など、自分の性格に合っていると思い当院を研修先に選びました。実際の研修では4月の段階でCVの挿入を経験できたり、内視鏡に触れたり、上級医の先生のもとで実践的に学ぶことができました。

看護師さんをはじめ、メディカルスタッフの方々も優しく、検査技師さんに教わった内視鏡の使い方はとても勉強になりました。病院全体で私たち研修医を大切に育ててくださっていることを実感しています。休日はしっかり休めて、オンコールや残業もほとんどありません。その分勉強やプライベートの時間をしっかり確保できて、先日は上級医の先生と一緒に趣味の釣りに行きました。病院見学にいらした際は、ぜひ当院の雰囲気をぜひ感じ、ここでの研修をイメージしてみてください!



女性医師 支援コーナー



当院女性医師の声～当院で働くメリット～

- ①嘱託医でも、専門外来を受け持つことができます。「当院には、嘱託勤務制度があり、一般の医師より少ない勤務日数で働くことが可能で、当直等も免除されます。専門医を取得し、子育てと仕事をうまく両立しています。」
- ②院内保育所を完備しており、病児保育も利用できます。「当院には、院内保育所があり、病気の時でも子どもを預かってくれるので、安心して働けます。」
- ③転動がないため、同じ患者を長期にわたって継続して診ることができます。「糖尿病のような慢性疾患は、長期間、継続して診ることに意味があると思うので、中断されずに担当できます。」
- ④産休、育休が取りやすいことや、急に出勤できない時にも手厚いフォローができます。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時行っています。
まずは電話やメールで、お気軽にお問い合わせください。

| | |
|--------|----------------------------|
| 連絡先 | 埼玉県済生会加須病院 臨床研修センター 事務局 |
| 住所 | 〒347-0101 埼玉県加須市上高柳1680番地 |
| T E L | 0480-70-0888 (代表) |
| F A X | 0480-70-0889 |
| E-mail | rinken@saikazo.org |
| U R L | https://www.saikazo.org/ |
| アクセス | 東武伊勢崎線加須駅南口から徒歩で約10分 |





34

医師数（研修医除く） 84名（うち指導医数 20名）
 病床数 391床
 研修医数 1年目 10名 2年目 7名
 昨年度マッチング受験者数 36名
研修医の主な出身大学 産業医科大学、福島県立医科大学、秋田大学、埼玉医科大学、筑波大学、新潟大学、旭川医科大学、群馬大学、帝京大学、山梨大学、金沢大学、長崎大学、東京女子医科大学、千葉大学、島根大学、福岡大学、岐阜大学、金沢医科大学、東北大学、獨協医科大学、日本大学、順天堂大学、昭和大学、聖マリアンナ医科大学、広島大学、弘前大学、岩手医科大学、信州大学、大分大学
診療科 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、代謝・糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、外科、消化器外科、肛門外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、乳腺外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科、リウマチ科
1日平均外来患者数 402.1名
1日平均入院患者数 380.3名
主な認定施設 救急告示病院、地域医療支援病院、埼玉県がん診療指定病院、埼玉県立がんセンター医療連携施設、災害拠点病院、埼玉県 DMAT 指定医療機関

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

研修プログラムの 特色



当院の研修医は雑用ではなく医師としての仕事を行います。プライマリケアの基本的診療能力を習得し、よくある疾患の中から見逃してはいけない疾患を見分ける力がつくように多くの症例を経験します。2年間の経験で1人で診療を行い対応できる能力を身に付け、ジェネラルの対応を求められる場面でも初期診療を行える医師を目指して頂きます。また、選択科目の期間に研修医の希望によって専門の診療科での研修も行える環境です。内科・外科においては新専門医制度の基幹施設、形成外科・脳神経外科・整形外科・救急科・放射線科は連携施設として3年目以降を見据えた研修も可能です。救急やベッドサイドなど現場を中心として研修医自身が経験でき、よりよい研修となるように取り組んでいます。

新久喜総合病院卒後臨床研修プログラム（募集定員 10名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 |
|--------|------|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科 | | | 救急科 | | | 病院必修 | | 外科 | 麻酔科 | 精神科 | |
| 2年目 | 内科 | 地域医療 | 産婦人科 | 小児科 | 病院必修 | | | 選択科目 | | | | |

必修 内科 24週、救急科 12週、外科 4週、麻酔科 4週、精神科 4週、地域医療 4週、産婦人科 4週、小児科 4週
選択 新久喜総合病院もしくは協力病院・協力施設にて手技の習得や専門科の経験を目的とし研修医が選択する。

研修医の 処遇

給与 約 46万円/月
諸手当 当直手当別途支給
保険 組合健保（巨樹の会健康保険組合）、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険あり、確定拠出年金あり、医師賠償責任保険（病院において加入）
勤務時間 8時00分～17時00分
当直 あり（6回/月）
休暇 有給休暇（年10日）、他リフレッシュ休暇あり
宿舎 あり
その他 学会参加について病院補助あり

主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・久喜すずのき病院
- ・土屋小児病院
- ・所沢明生病院
- ・鴻巣病院
- ・熊谷総合病院
- ・羽生総合病院
- ・深谷赤十字病院
- ・丸山記念総合病院
- ・芳賀赤十字病院
- ・東京品川病院
- 他、関連病院等

POINT! 当院の魅力

実践の医療を経験し実力がつく研修

当院では研修医自ら前面で基本的な手技や診察を行い、それを上級医・指導医が後方から指導します。研修医が自ら経験できる環境です。

多くの症例に接し、各専門診療科での研修では3年目以降の進路に沿った専門的な指導も行っています。

朝のカンファレンスでは研修医が対応した救急症例を振り返り、幅広い common disease に対応できる力を身に付けます。2年間で自分自身の力で診療する能力を身に付けます。

- ・初期研修に力を入れており、教育熱心な指導医のもと実践の医療を経験できます。
- ・一般的な症例から専門領域まで研修医の希望や特性に沿った研修を行います。
- ・初期研修医の裁量も大きく、経験を積みたい研修医が様々な大学から集まります。
- ・上級医、指導医と日々のコミュニケーションがとれているため相談しやすい環境です。
- ・症例数も豊富で積極的に手技が学べます。



研修責任者 から



プログラム責任者
信太 薫

新久喜総合病院は、断らない医療を実践しています。研修医の皆さんには、まず、generalist として、救急の現場でご活躍いただきます。第一線の救急の現場で、様々な患者さんと出会い、指導医とともに、多くの経験を積んでいただきます。

当院の指導医は、specialist として、各々、専門領域で活躍していますが、救急当番の際には、generalist として活躍できる素養を持っています。研修医の皆さんとともに治療にあたり、様々な臨床現場での判断を指導、サポートします。研修医の皆さんは、研修期間が終わる頃には多くの様々な救急症例を経験し、救急現場で、ある程度判断、治療できる力がつくようになります。

埼玉県利根医療圏は、人口当たりの医師数が大変少ない医療圏です。地域の皆さんのために、利根医療圏の救急医療をともに支えていきましょう。研修医の皆さんの限りなき情熱が新久喜総合病院の活力となり、地域医療を支える原動力となっていきます。研修医の皆さんは、救急チーム医療の、そして、新久喜総合病院のかけがえのないメンバーです。

先輩研修医 から

研修医 1年目 渡邊 芳郎

見学した際に、とても雰囲気がよく、研修医の先生方が多くの経験を積んでいることに驚き、このような研修がしたいと感じたため、この病院に研修先を決めました。症例数や手技も多く、日々熱心な指導も頂いています。病院見学に行った際には自分に合う病院なのかどうか、目指している将来像に沿った病院なのかどうかを感じることが大事だと思います。興味がある方はぜひ見学にお越しください。



研修医 2年目 山下 達也

当院の初期研修は実践的で、自ら初療にあたることで医師としての能力向上に繋がっていると感じています。同期も全国から集まっています。皆バラバラの大学ですが、切磋琢磨しながら情報を共有するため、研修医同士の仲も良好です。1年前は先輩のようにできるようになるかどうか不安でしたが、よく指導やフィードバックも頂き、少しずつ自信がつかってきました。新たに1年目の研修医も入り、自分が学んできたこと、経験したことを伝えていきたいと思っています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 【病院見学随時受付中】
- ・申込みは当院 HP の初期研修採用ページ「お問い合わせフォーム」、もしくは E-mail から申込み下さい。
 - ・交通費支給（上限あり）
- 【インターンシップ受付中】
- ・申込みは当院 HP の初期研修採用ページ「お問い合わせフォーム」、もしくは E-mail から申込み下さい。
 - ・実践型インターンシップ

| | |
|--------|---------------------------|
| 連絡先 | 新久喜総合病院 臨床研修担当 松永 |
| 住所 | 〒346-8530 久喜市上早見町418-1 |
| TEL | 0480-26-0033 (代表) |
| FAX | 0480-44-8026 |
| E-mail | kukijinji@shinkuki-hp.jp |
| URL | http://www.shinkuki-hp.jp |
| アクセス | バスで約10分 |



女性医師 支援コーナー



院内保育所を設置しています。女性専用スペース（仮眠室・当直室等）あり。他、産休等。



35

社会医療法人 熊谷総合病院

医師数 (研修医除く) 45名 (うち指導医数 29名)
病床数 310床
研修医数 1年目 6名 2年目 5名
昨年度マッチング受験者数 37名
研修医の主な出身大学 金沢大学、群馬大学、埼玉医科大学、順天堂大学、信州大学、帝京大学、東京医科歯科大学、獨協医科大学、浜松医科大学、和歌山県立医科大学 (五十音順)
診療科 内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、神経内科、総合診療科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、形成外科、眼科、放射線科、麻酔科、遺伝性腫瘍科
1日平均外来患者数 535名
1日平均入院患者数 271名
主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院、二次救急病院輪番体制参加病院、救急告示病院、地域医療支援病院、埼玉県急性期脳卒中治療ネットワーク基幹病院、埼玉地域 DMAT 指定病院等

研修プログラムの 特色



あらゆる疾患の患者さんと接触する職業であるとの認識を踏まえ、幅広い社会性と温かい人間性を養えるよう研修を企画すると共に、各診療科では、医師として基本的な診療能力を習得できるプログラムを目指しています。同時に、将来の希望を見据えた選択科目の研修期間も十分取れるようにしています。また、医師としての基盤形成の時期である初期研修時期において、患者さんを全人的に診ることができる基本的な診療能力を習得することにより医師としての資質の向上を図り、医師にふさわしい人格を涵養することを目的としています。

熊谷総合病院臨床研修プログラム (募集定員 6名)

| プログラム例 | 1年目 | 2年目 |
|--------|---|----------------------|
| | 1~4週 5~8週 9~12週 13~16週 17~20週 21~24週 25~28週 29~32週 33~36週 37~40週 41~44週 45~48週 49~52週 | |
| | 内科 | 救急部門 外科 小児科 産婦人科 精神科 |
| | 地域医療 | 選択科目 |

※協力型病院・施設での研修もあります

選択科目 内科、救急部門、外科、麻酔科、産婦人科、小児科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、放射線科、皮膚科、耳鼻咽喉科、精神科、地域医療、保険・医療行政

研修医の 処遇

給与 1年次：42万5千円/月 2年次：45万円/月
 ※医員特殊手当を含む
 賞与 (1年次：約80万円/年 2年次：約90万円/年)
 ※業績により支給
諸手当 通勤手当、家族手当、時間外手当、日当直手当
保険 健康保険 (埼玉県医師会健康保険組合)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、厚生年金基金等企業年金なし、医師賠償責任保険 (病院において加入)
勤務時間 8時30分～17時30分
当直 あり (4回程度/月) ※土曜日・日曜日を含む
休暇 土曜日・日曜日・祝日・年末 (12/29~1/3) 有給休暇 (1年次：10日 2年次：11日) リフレッシュ休暇 2日 (通年)
宿舎 あり (医師住宅：家賃半額補助上限6万円まで)

主な臨床研修 協力病院・協力施設

深谷赤十字病院
 上尾中央総合病院
 新久喜総合病院
 埼玉医科大学病院
 行田総合病院
 羽生総合病院
 西熊谷病院
 松本病院
 十勝リハビリテーションセンター
 福祉医療センター 太陽の園 他

POINT! 当院の魅力

研修しやすい環境づくりを目指しています

当院の魅力はなんといっても研修医が①積極的に治療に関わり②手技の研修が豊富で③伸び伸び研修できる環境にあることでしょう。

①では救急は全科当直のスタイルをとっており、適切な指導医のフォローアップの下、研修医がファーストタッチを行います。各科カンファレンスでは自由に発言でき、研修医も積極的に治療方針に関して意見を述べる事が出来ます。

②では内科系では血液ガス分析、血液培養、心・腹部エコー、CV挿入、PICC、内視鏡など、外科系では腰椎穿刺、cvポート設置、小手術、開腹手術や腹腔鏡手術まで執刀する機会があります。当院では研修医全員が必要な手技をもちろなく適切に学べるよう、システム化された教育体制を整え、主に4月～5月の間に多くの講義や実習を行うスケジュールを組んでいます。

③ではそれぞれの希望や知識量にあったスケジュールを設定し、メリハリをもって勤務にあたる事が出来ます。また一人一人の個性や適性に合わせた研修を上級医の先生方や病院スタッフが考えて下さり、学会発表なども地方会から海外まで、筆頭演者で発表する機会もあります。

もしこの文章を読んで「ここで研修しよう!」と思った方は是非、見学に来て下さい。大歓迎します。



研修責任者 から



プログラム責任者
齋藤 雅彦

当院は埼玉県北の中核基幹病院ということで、プライマリー・ケアを中心に多くの症例を経験できる研修施設です。希望とやる気があれば、より専門的な診療への参加も可能です。大学病院などとは異なり、科ごとの垣根が低く、複合的な疾患の診療がしやすくなっております。また、メディカルスタッフとの人間関係も良好で、研修医の先生が働きやすい環境が備わっていると思います。ご連絡をお待ちしております。

先輩研修医 から

研修医2年目 新島 宏人

熊谷総合病院は指導医だけでなくメディカルスタッフの方々も親身になって指導してくださるので多くの臨床経験を積むことができます。外科系の研修では開腹手術や骨折の整復術、CV挿入など数多くの手技を経験できました。必修科以外は自分で研修科を選択することができるので、志望科や興味のある科でじっくりと研修ができるのも魅力です。誰でも相談がしやすく、病院の雰囲気はとても良いと思います。ぜひ当院で充実した研修生活を送りませんか?



研修医1年目 田島 諒

当院は1学年6人と少人数の研修になっており、豊富な症例を経験豊かな指導医のもと経験することができます。研修医が少人数のため全員と仲良くなれますし、ローテーション以外の場合でも指導医にご指導頂く機会が多くあるため、どの先生にも相談しやすい関係になれます。メディカルスタッフも優しい方ばかりで、わからないことも積極的に教えて頂けます。建替えばかりの新しい病院で相談しやすいスタッフと共に、メリハリのある研修ができることが当院の魅力だと思います。興味を持ってくれた方、是非見学にいらして下さい。お待ちしております!



女性医師 支援コーナー



2022年4月に保育所がリニューアルオープンしました。定員は30名で、生後8週から3歳までお預かりします。24時間保育を行っており、臨時で引き受けることも可能です。病児保育は行っていませんが、少くらの熱であればお預かりできます。当院の小児科受診も出来ますので、職員には安心して働いてもらえる環境が整っています。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付 (申し込みは当院 HP より)

| | |
|--------|---------------------------------|
| 連絡先 | 社会医療法人 熊谷総合病院 総務課 医局秘書 |
| 住所 | 〒360-8567 熊谷市中西4-5-1 |
| TEL | 048-521-0065 (代表) |
| FAX | 048-523-5928 |
| E-mail | kumasou@kumasou.or.jp |
| URL | http://www.kumasou.or.jp/ |
| アクセス | JR高崎線・上越新幹線・秩父線 熊谷駅北口から徒歩15分 |





36

深谷赤十字病院

研修プログラムの特色



深谷赤十字病院は、埼玉県北部の三次救急を担う地域基幹病院です。当院の研修プログラムの特徴は、第一に「病院規模に対して研修医定員枠が少ないため、臨床経験を多く積めること」です。同時期に診療科や指導医（上級医）が被らないようローテーションを組むため、症例の譲り合いが起りません。また、当院は研修医に実践してもらうことを原則にしているため、救急当直でのファーストタッチをはじめ、2年間で多くの臨床経験を積むことができます。

第二に「研修医の要望に応じ融通性のある研修スケジュール・科目を組むことができる（＝自由度が高い）こと」です。2年間のうち、厚労省が定める必須研修を除いた期間は、将来の希望に合わせて自由に選択できます。また、当院は研修プログラム責任者が院長であり、臨床研修にはとても熱心に取り組んでいることから、指導体制や研修環境は十分に整っております。

深谷赤十字病院臨床研修プログラム（募集定員 8 名）

| プログラム例 | 1～4週 | 5～8週 | 9～12週 | 13～16週 | 17～20週 | 21～24週 | 25～28週 | 29～32週 | 33～36週 | 37～40週 | 41～44週 | 45～48週 | 49～52週 |
|--------|------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|--------|--------|--------|--------|
| 1年目 | 内科 | | | | 外科 | | | | 非必修科 ローテ | 小児科 | 麻酔科 | 救急診療科 | |
| 2年目 | 産婦人科 | 自由選択科 | | | 精神科 | 自由選択科 | | 地域医療 | 自由選択科 | | | | |

必修科目

内科：24週（一般内科、消化器科、循環器科、腎臓内科、血液内科、内科外来を各4週）
 救急：12週（2年間の救急外来当直で4週分相当含む）
 外科：8週、小児科：4週、産婦人科：4週、精神科：4週、地域医療：4週（臨床研修協力病院もしくは協力施設での研修）

研修医の処遇

給与 1年次：35万円/月（賞与10万円/年）
 2年次：40万円/月（賞与30万円/年）
諸手当 時間外手当、宿直勤務手当：1.8万円/回（1年次10月から支給し、6月から9月までは半額を支給）、住居手当：最高2.85万円/月
保険 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険あり、労災保険適用、厚生年金基金等企業年金あり、医師賠償責任保険（病院において加入）
勤務時間 8時30分～17時00分
当直 あり（4～5回/月）
休暇 土曜・日曜・祝日・創立記念日（11月1日）・年末年始（12月29日～1月3日）・年次有給休暇（1年次13日・2年次14日）
 ※その他の休暇は病院嘱託・臨時職員就業規則の定めによる
宿舎 なし

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・小川赤十字病院（比企郡小川町）
- ・原町赤十字病院（群馬県吾妻郡）
- ・佐々木病院（深谷市）
- ・桜ヶ丘病院（深谷市）
- ・内田ハートクリニック（深谷市）
- ・井上こどもクリニック（深谷市）
- ・おおしまクリニック（深谷市）
- ・皆成病院（深谷市）
- ・埼玉よりい病院（大里郡寄居町）
- ・秩父病院（秩父市）



当院の魅力

充実した指導環境

- ①多様な症例を経験できる環境。
 第三次救命救急センターがある当院の病床数は474床、研修医募集定員数8名。同規模の臨床研修病院と比較しても研修医数は少ないです。そのため多くの症例を学べて、且つ研修医一人一人に対して指導が行き届く環境です。
- ②英文抄読会を月1回研修医が持ち回りで行う。
 市中病院においては英語論文を読む機会が少ないため、日時を決めて研修プログラム責任者と研修医で英文抄読会を行っています。
- ③研修医同士の仲が良い。
 国立・私立など全国の大学から集まるため、すぐに仲良くなります。研修医室の雰囲気也非常に良いです。
 このように、研修医一人一人が自ら考え、学び、主体的に行うことで基本的な臨床能力と態度・習慣が身につきます。



研修責任者から



プログラム責任者
 院長
伊藤 博

当院は地域の基幹病院として高い専門性と一般性を有し、比較的少ない研修医数という事もあり、豊富な臨床経験を積むことができます。

初期臨床研修は、将来何科に進むにせよ、診療の基本的知識・技能と臨床医として必要な態度・習慣を学ぶ大切な期間であります。

当院では、研修医に実践してもらうのを原則にしていますので、技術的SKILL UPが体感できると共に、研修医一人一人に応じた融通性のあるプログラムなど、一言でいえば温かみのある研修環境を目指しています。

初期臨床研修は単なる専門医への前段階でなく、臨床医としての心構えを形成する大事な期間です。当院での研修を通じ、患者さんを中心にメディカルスタッフも含めたチーム医療のできる心温かい医師に成長してくれる事を願っています。

先輩研修医から

研修医2年目 **山藤 宥輝**

当院の研修プログラムは自由度がとても高く、研修医一人ひとりの意欲や適性に見合った研修生活を送ることができるのが大きな特長で、2年目に希望選択科を多く選ぶことができるため、将来希望する診療科が定まっている人も、まだ絞り切れておらず研修生活の中で決めていきたい人も融通を利かせられるプログラムであることが特長です。ぜひ一度見学いらして、当院の雰囲気や研修生活を実際に体験してみてください。お待ちしております！



研修医1年目 **鄭 善仁**

当院は埼玉県北部の基幹病院であり診療科や病床数が多い一方、規模に対して研修医の定員が少ないため、研修医一人あたりが経験できる症例や手技が豊富にあります。また、救急当直では1次救急から3次救急まで研修医がファーストタッチで診察し、上級医の指導のもと主体的に診断や治療を完結することができるため、日々実践的な力が積み重ねられていくことが実感できます。病院スタッフの方もみな温かく接していただき、アットホームな雰囲気の中で研修できるのも魅力の一つなので、是非一度見学に来てみてください！



女性医師支援コーナー



当院は、女性職員への支援制度として以下の特別有給休暇制度を就業規則で定めています。

- ・産前産後休暇（母子保健法の定めによる勤務免除含む）
- ・生理休暇
- ・育児休業（育児短時間勤務含む）
- ・子の看護のための休暇
- ・院内保育園

※院内保育所（利用対象は、生後2ヶ月から満3歳を迎えた年の年度末まで）があり、職員であれば、どなたでも利用可能なため、子育て中の職員が安心して仕事に専念できます。

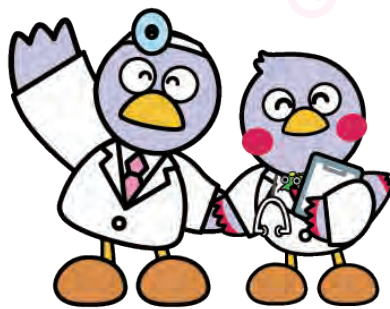
その他の福利厚生については、お問い合わせください。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受付中ですので、お気軽にお問い合わせください（HPから申込みができます）。プログラム責任者が直接、丁寧に当院の研修プログラムの特徴をお伝えします。

| | |
|--------|----------------------------------|
| 連絡先 | 深谷赤十字病院 教育研修推進室 |
| 住所 | 〒366-0052 深谷市上柴町西5-8-1 |
| T E L | 048-571-1511 (代表) |
| F A X | 048-573-5351 |
| E-mail | kenshu@fukaya.jrc.or.jp |
| U R L | http://www.fukaya.jrc.or.jp |
| アクセス | JR深谷駅より徒歩約20分、 バス約10分、タクシー約5分 |





埼玉県のマスコット
「コバトン」「さいたまっち」

埼玉県臨床研修病院ガイドブック2023

■編集・発行

埼玉県保健医療部医療人材課 医師確保対策担当

〒330-8777さいたま市中央区新都心1-2

県立小児医療センター南玄関8階

TEL：048-601-4600 FAX：048-601-4604

E-mail：a3560-03@pref.saitama.lg.jp

ホームページ：<http://kobaton-med.jp/>

令和4年12月発行



コバトンドットメド

検索

